

令和4年度実施分  
協働事業・市民活動助成事業 報告書

～目次～			協働事業	市民活動助成事業	
ページ	事業名	団体名、事業担当課名		スタート 助成	ステップ アップ 助成
p1	発達障害・不登校等の親の会事業	あんだんて		○	
p9	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業	認定NPO法人外国人の子どものための勉強会 国際推進課	○		
p21	地域まるごとで孤育を予防する連携システム事業	まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	○		
p29	梨香台団地付近の多世代交流型居場所事業	梨っこ食堂		○	
p45	料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	○		
p55	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業	まつどのこもりかた。編集部 広報広聴課 シティプロモーション担当室	○		
p63	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらう事業	できる街プロジェクト 市民自治課	○		
p73	「食」と「コミュニケーション」によるつながりづくり事業	生きづらわーほりプロジェクト			○
p81	「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	○		
p91	冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会			○
p101	金ヶ作歴史散策まっぷプロジェクト事業	金ヶ作歴史同好会		○	
p109	ぶどうの家 ふれあいコンサート・イベント事業	特定非営利活動法人 葡萄の家		○	

p115	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会	○	
p121	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム		○
p129	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業	なないろのもり		○
p137	松戸市ご当地漫画&アニメ制作事業	超普通スタジオ	○	
p143	ときわだいらオープンアトリエ事業	特定非営利活動法人ディー・デモクラシー・センター		○
p151	松戸市民向けSDGs普及啓発促進事業	まつど地域活躍塾つながりの会	○	
p163	松戸市民も命を大切にしてみます事業	松戸地域猫スタートサポート		○

令和4年度実施分 協働事業・市民活動助成事業一覧

●協働事業

No.	区分	事業名・団体名・担当課	予算額		決算額		ページ
			総事業費	負担金申請額	総事業費	負担金確定額	
1	新規	日本語を母国語としない子どものための学習支援事業 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 国際推進課	¥1,012,411	¥500,000	¥754,068	¥500,000	p9
2	新規	地域まるごとで孤育を予防する連携システム事業 まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	¥357,000	¥321,000	¥271,590	¥242,000	p21
3	2年目	料理教室を通じた父親の意識改革事業 MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾン イザラ おやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	¥432,520	¥371,268	¥460,118	¥370,753	p45
4	2年目	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業 まつどのこもりかた。編集部 シティプロモーション担当室	¥580,020	¥500,000	¥72,180	¥55,962	p55
5	新規	町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業 できる街プロジェクト 市民自治課	¥618,614	¥500,000	¥562,044	¥500,000	p63
6	2年目	「まつどの介護」プロモーション事業 特定非営利活動法人 SmileResource 介護保険課	¥293,000	¥263,700	¥213,281	¥187,398	p81

■市民活動助成事業(スタート助成)

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	2年目	発達障害・不登校等の親の会事業 あんだんて	¥159,800	¥100,000	¥84,980	¥50,480	p1
2	新規	梨香台団地付近の多世代交流型居場所事業 梨っこ食堂	¥417,670	¥100,000	¥213,724	¥100,000	p29
3	新規	金ヶ作歴史散策まっぷプロジェクト事業 金ヶ作歴史同好会	¥213,776	¥100,000	¥171,573	¥100,000	p101
4	新規	ぶどうの家 ふれあいコンサート・イベント事業 特定非営利活動法人 葡萄の家	¥184,544	¥100,000	¥171,572	¥100,000	p109
5	新規	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業 小金原みんなでわくわくする会	¥160,000	¥100,000	¥127,964	¥80,869	p115
6	2年目	松戸市ご当地漫画&アニメ制作事業 超普通スタジオ	¥286,020	¥100,000	¥220,910	¥100,000	p137
7	2年目	松戸市民向けSDGs普及啓発促進事業 まつど地域活躍塾つながりの会	¥139,550	¥100,000	¥65,626	¥55,463	p151

■市民活動助成事業(ステップアップ助成)

No.	区分	事業名・団体名	予算額		決算額		ページ
			総事業費	助成金申請額	総事業費	助成金確定額	
1	新規	「食」と「コミュニケーション」によるつながりづくり事業	¥380,868	¥300,000	¥260,864	¥210,477	p73
		生きづらわーほりプロジェクト					
2	新規	冒険山開放に伴う見守り事業	¥208,500	¥169,650	¥160,673	¥131,780	p91
		冒険山開放委員会					
3	新規	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	¥373,540	¥300,000	¥369,448	¥300,000	p121
		エディブルウェイプロジェクトチーム					
4	2年目	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業	¥454,000	¥300,000	¥448,000	¥300,000	p129
		なないろのもり					
5	新規	ときわだいらオープンアトリエ事業	¥416,400	¥300,000	¥361,000	¥252,000	p143
		特定非営利活動法人ディーブデモクラシー・センター					
6	2年目	松戸市民も命を大切にしてみます事業	¥444,390	¥300,000	¥449,225	¥300,000	p163
		松戸地域猫スタートサポート					



## 発達障害・不登校等の親の会事業

あんだんて

# 活動状況報告書

1 事業名称 発達障害・不登校等の親の会事業

2 実施主体

■団体名： あんだんて

従事者数： 4名

団体概要： 発達障害や不登校、その他見えにくい障害を持つ子の子育てをしている保護者を対象に、毎月定期的なおしゃべり会（情報交換会）や勉強会、親子レクリエーションを行なっている。最近では発達障害を持つ子の不登校や不登園、いきしぶりなどの悩みも多く、会に参加する保護者の範囲は拡大している。発達障害やグレーゾーンの子育て、不登校や不登園、いきしぶり、ホームスクーリングについての情報提供と仲間作り、当事者同士の交流会を目的とした団体で、毎月1回おしゃべり会や不定期で勉強会などを行なっている。

3 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

①おしゃべり会（会場：さくら広場、まちかどアトリエNeiro）

日付	作業内容
4月9日	参加者4名（さくら広場）
5月12日	参加者10名（まちかどアトリエNeiro）
6月2日	参加者5名（まちかどアトリエNeiro）
6月12日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
6月18日	参加者5名（まちかどアトリエNeiro）
6月23日	参加者5名（まちかどアトリエNeiro）
6月30日	勉強会・講演会などに関する打ち合わせ（まちかどアトリエNeiro） 4名参加
7月11日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
7月19日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
8月20日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
8月23日	参加者0名（まちかどアトリエNeiro）
9月2日	チラシ送付にかかわる事務作業（まちかどアトリエNeiro） 5名参加
9月6日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
9月20日	参加者5名の予定だったが台風のため中止



10月15日	参加者6名（まちかどアトリエNeiro）
11月4日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
11月8日	参加者3名（まちかどアトリエNeiro）
11月19日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
12月2日	参加者3名（まちかどアトリエNeiro）
1月27日	参加者2名（まちかどアトリエNeiro）
2月18日	参加者3名（まちかどアトリエNeiro）
2月24日	参加者0名（まちかどアトリエNeiro）
3月10日	参加者4名（まちかどアトリエNeiro） ※発達障害児の親の会 参加者0名（まちかどアトリエNeiro） ※不登校児の親の会

②親子レクリエーションについて  
事務局スタッフの不足のため未実施

③外部講師による講演会・勉強会

日付	作業内容
6月24日	松戸市パートナー講座「特別支援教育について」講師 松戸市職員 参加者10名 会場：まちかどアトリエNeiro
7月5日	「モンテッソーリ教育を学ぶ会」講師 藤原一美氏 参加者4名 会場：まちかどアトリエNeiro
7月26日	「イェナプラン教育を学ぶ会（オンライン）」講師 漆原幸子氏 参加者3名 会場：Zoom 開催
11月19日	「アドラー心理学を学ぶ会」講師 福田シェシャドウリ育子氏 参加者 3名 会場：まちかどアトリエNeiro

④事業内容についてチラシ制作・配布

7月15日 今年度事業紹介チラシの作成のデザイン委託。

作成部数 1300部

配布先 市内の小中学校・放課後デイサービス等を中心に210箇所

(2)事業内容のふりかえり

①おしゃべり会

参加者、リピーターが増えた印象があり、初めて来た方も積極的に話しやすい場づくりができるようになって来た。幼稚園児の保護者からは就学への不安が多く聞かれ、その場にいる先輩パパ、ママの事例やアドバイスが盛んに交換されていて良い循環になっていると感じ

た。小・中学生の保護者の悩みは、担任とのトラブルや転籍についてが多く聞かれ、公教育に対する不安やぶつけどころのない悩みを吐き出せる場となっていたと感じる。

コロナの中でも情報交換やおしゃべり会の需要は高く、特に発達障害の親の会の方は「土曜に開催してほしい」「初めて参加する方だけの会を設定してほしい」「知的境界域の子の会も設定してほしい」と言った声を受け、開催日を増やした時期もあった。

## ②親子レクリエーション

当初はおしゃべり会と親子レクリエーションを会のメンバーで時期をずらして実施する予定であったが、運営を行うにあたり、スケジュール調整がうまくいかず、実施できなかった。

## ③外部講師による講演会・勉強会

勉強会については、当初4回を予定していたが、日程調整が難しく2回開催となった。

### ・松戸市パートナー講座「特別支援教育について」

毎年関心の高い講座でもあり、参加者も多かった。

特別支援学級の仕組みの説明から、各学級の目標などを聞くことにより、参加者それぞれが自分のお子さんに当てはめて具体的に考えられる機会となった。

### ・「モンテッソーリ教育を学ぶ会」

元々は障害児の子ども発達を助けるために生まれたモンテッソーリ教育を学び、家庭での子どもとの向き合い方や、子ども自身が「自分でできる」達成感を育むためのスキルを学んだ。参加者からは、「子ども目線になる大切さを学んだ」と、好評だった。

### ・「イエナプラン教育を学ぶ会（オンライン）」

講師都合によりオンライン開催となったが、オランダ教育を学ぶとともに、日本の公教育に関心の高い保護者が集まり意見を交わすことができた。発達障害や不登校児は学校教育から逸れてしまいがちでもあり、個を認めてもらう環境をどう整えるかということが、日々の悩みでもある。同じようにそんな悩みを持った講師のエピソード、オランダ教育に出会い、そこでの学びをお話いただき、さらには、日本の教育や子どもの育ちに求めることを共感しあえる時間となった。

### ・「アドラー心理学を学ぶ会」

発達障害・不登校などの親子関係に悩まれる参加者が多く、自身のメンタルケアとして、保護者向けの「アドラー心理学を学ぶ会」を開催した。

講師は不登校や発達障害に詳しく、アドラー心理学の基本と、自分で実践できる子育てのヒントを教わった。参加者からは、「自分の悩んでいることと、今起きていることと分けて考えることができるようになった」と好評だった。

#### ④チラシ制作配布

小中学校・放課後等デイサービスへチラシを送付した。小学校の先生から「こんな団体があったとは知らなかった」という声も聞かれた。

#### 予算の一部変更

対面での活動を望む声が多かったため、オンラインでのおしゃべり会は未実施。

勉強会をオンラインに切り替えた月があったため、Zoom利用料は2200円×1ヶ月分に変更。まだマスクをとっての軽食に不安があったため、お茶菓子などの提供は中止。

代わりに飲み物のみの提供に切り替えた。

会場を代表が運営する施設へ移動したため、さくら広場での開催は4月の1回のみとなった。この為会場使用料が1000円のみとなった。

### 4 事業成果について

#### ・目標の達成と課題の解決について

#### ①おしゃべり会を開催し、保護者同士の仲間づくりについて

発達障害・不登校の子をもつ親にとって不安な日常を励ましあえる仲間を作ることはもっとも重要なことのひとつで、本年度の活動は十分に行えた。参加者、定期利用者も増え、顔見知りができることは参加者の安心感につながった。

スタッフ不足により毎月の開催確保が難しい現状ではあるが、細くながく続けていきたい

#### ②オンラインおしゃべり会の開催について

オンラインでのおしゃべり会も企画はしたが、コロナに対する警戒も緩和されていたこと・対面での活動を求める声が大きかったことで講演会のみオンラインを実施、おしゃべり会ではオンラインを実施せず、目標は達成できなかった。

#### ③傾聴スキルアップ講座への参加について

またスタッフのスキルアップについても、スタッフの調整がつかず実現しなかった。

#### ・親子レクリエーション

スタッフ不足により未実施。おしゃべり会での情報によると、放課後等デイサービスなどで今は外出支援などが盛んなため、需要は低いと感じた。

#### ・外部講師による講演会・勉強会

発達障害・不登校に完全に特化した勉強会よりも、広く子育てに通用するような勉強会の方が参加しやすいように感じた。

松戸市パートナー講座「特別支援教育について」は、毎年開催のニーズが非常に高いので継続したい。

- ・松戸市パートナー講座「特別支援教育について」講師 松戸市職員 参加者 10名
- ・「モンテッソーリ教育を学ぶ会」講師 藤原一美氏 参加者 4名
- ・「イエナプラン教育を学ぶ会（オンライン）」講師 漆原幸子氏 参加者 3名
- ・「アドラー心理学を学ぶ会」講師 福田シェンヤドゥリ育子氏 参加者 3名

・今年度事業周知に伴うデザイン委託、および小中学校・放課後等デイサービスへチラシを210箇所送付した。団体を全く知らなかった学校教諭からの反響や、デイサービスからの訪問依頼があり、チラシ送付の成果を感じた。会の周知の広がりを受けて、「不登校ネット」からの依頼により同団体が発行している冊子に「居場所」として掲載された。

## 5 今後の事業展開

発達に偏りがある子供達の将来が明るくなるよう、支援級選び、支援学校選び、不登校・ホームスクーリングなどの選択肢を共有しつつ、高校進学へ続く情報を切れ間なく提供できるよう、幅広い年齢層の保護者との関わりをつないでいく。

特別なことはできなくても、まず会があり続けること、そこに行けばホッとできるような居場所を継続できればと考えている。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	参加料	¥ 21,600	¥ 34,500	¥ ▲12,900	500円×69名
	団体拠出金	¥ 38,200	¥ 0	¥ 38,200	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 59,800	¥ 34,500	¥ 25,300	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 50,480	¥ 49,520	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 159,800	¥ 84,980	¥ 74,820	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	¥ 40,000	¥ 10,000	外部講師謝礼 (1)5000円×1回「モンテッソーリ教育を学ぶ会」講師 藤原一美氏 (2)5000円×1回「イエナプラン教育を学ぶ会(オンライン)」講師 漆原幸子氏 (3)30000円×1回「アドラー心理学を学ぶ会」講師 福田シェンヤドゥリ育子氏
	消耗品費	¥ 13,000	¥ 7,220	¥ 5,780	印刷用紙 580円×1点 テーブル 363円×1点 テーブルのり詰め替え 1864円×1点 宛名シール 760円×1点 ボールペン5本入り 347円×3点 茶封筒 888円×3点 (Amazonの割引52円)
	印刷製本費	¥ 6,000	¥ 3,760	¥ 2,240	チラシ印刷費 A4 700部 1940円×1回 チラシ印刷費 A4 600部 1820円×1回
	使用料及び賃借料	¥ 12,000	¥ 3,200	¥ 8,800	会場使用料 1000円×1回(さくら広場) Zoom利用料 2200円×1ヶ月分
	通信運搬費	¥ 55,800	¥ 25,200	¥ 30,600	郵便代 第一種定形外(規格内) 120円×210通
	食糧費	¥ 8,000	¥ 3,600	¥ 4,400	コーヒー購入費 300円×12ヶ月
	委託料	¥ 4,000	¥ 2,000	¥ 2,000	チラシデザイン委託料 2000円×1回
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 148,800	¥ 84,980	¥ 63,820	
(その他)経費	メンバー研修費	¥ 11,000	¥ 0	¥ 11,000	スタッフの調整がつかず未実施
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (E)	¥ 11,000	¥ 0	¥ 11,000	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 159,800	¥ 84,980	¥ 74,820	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 49,520
------------	----------

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
	参加料	¥ 34,500	500×69人
	自己資金の合計額	¥ 34,500	
市	市民活動助成金	¥ 50,480	
	合計額	¥ 84,980	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	外部講師謝礼 5000円×1回「モンテッソーリ教育を学ぶ会」講師 藤原一美氏 5000円×1回「イェナプラン教育を学ぶ会（オンライン）」講師 漆原幸子氏 30000円×1回「アドラー心理学を学ぶ会」講師 福田シェンヤドゥリ育子氏
	消耗品費	¥ 7,220	印刷用紙 580円×1点 テープのり 363円×1点 テープのり詰め替え 1864円×1点 宛名シール 760円×1点 ボールペン 347円×3点 茶封筒 888円×3点（Amazonの割引52円）
	印刷製本費	¥ 3,760	チラシ印刷費 A4 700部 1940円×1回 チラシ印刷費 A4 600部 1820円×1回
	使用料及び賃借料	¥ 3,200	会場使用料 1000円×1回 Zoom利用料 2200円×1ヶ月分
	通信運搬費	¥ 25,200	郵便代 第一種定形外（規格内）120円×210通
	食糧費	¥ 3,600	コーヒー購入費 300円×12ヶ月
	委託費	¥ 2,000	チラシデザイン委託料 2000円×1回
		対象経費の合計	¥ 84,980
その他経費			
	その他経費の合計	¥ 0	
	合計額	¥ 84,980	

日本語を母国語としない  
子どものための学習支援事業

認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会

国際推進課

# 活動状況報告書

1 事業名称 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業

2 実施主体

■団体名： 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

従事者数： 61名

団体概要： 日本語を母国語としない子どもを対象に、真の自立のための日本語学習をはじめとする支援活動をおこなっている。現在、文化ホール教室、常盤平教室、新松戸教室の3つの教室で小・中学生を対象とした定例勉強会を実施しているほか、夏休教室や、高校受験を控えた中学3年生に対し受験教室といった集中勉強会を実施している。

このほか、日本語指導の内容・方法の研究、教材・カリキュラムの作成、国際交流イベントへの参加、参集した子どもの交流親睦を目的にしたイベントなども実施している。

■事業担当課： 国際推進課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

事業の実施（勉強会の運営、講座の開催）

■担当課の役割

会場の提供、事業実施に係る広報活動

4 事業の実施内容

(1) 既存事業の強化

<定例勉強会>

○文化ホール教室 土曜日 午後
実施日 全 40 日
4月：9, 16, 23, 30      5月：7, 14, 21, 28      6月：*4, 11, 18, 25
7月：2, *9, 16      9月：3, 10, 17, 24      10月：1, 8, 15, 22, 29
11月：5, 12, *19, 26      12月：3, 10, 17      1月：14, 21, 28
2月：4, 18, 25      3月：4, 11, 18
*6月4日、7月9日、11月19日は選挙事務により文化ホールが使用でき



ないためゆうまつどを使用

参加生徒数 延べ 475 人 支援スタッフ数 延べ 580 人

なお、文化ホール教室実施方針打ち合わせのための月初の会を

7月2日 ゆうまつど、 10月1日 勤労会館、 11月5日 市民会館、

12月3日 勤労会館で実施

○常盤平教室 火曜教室 午後

実施日 全 41 日

4月 5, 12, 19, 26 5月 10, 17, 24, 31 6月 7, 14, 21, 28

7月 5, 12, 19 9月 6, 13, 20, 27 10月 4, 11, 18, 25

11月 1, 8, 15, 22, 29 12月 6, 13, 20

1月 10, 17, 24, 31 2月 7, 14, 21, 28 3月 7, 14

参加生徒数 延べ 170 人 支援スタッフ数 延べ 160 人

○常盤平教室 木曜教室 夕方

実施日 全 40 日

4月 7, 14, 21, 28 5月 12, 19, 26 6月 2, 9, 16, 23, 30

7月 7, 14 9月 1, 8, 15, 22, 29 10月 6, 13, 20, 27

11月 10, 17, 24 12月 1, 8, 15, 22

1月 12, 19, 26 2月 2, 9, 16 3月 2, 9, 16, 23

参加生徒数 延べ 186 人 支援スタッフ数 延べ 193 人

○常盤平教室 土曜教室 午前

実施日 全 39 日

4月 9, 16, 23, 30 5月 7, 14, 21, 28 6月 6, 11, 18, 25 7月 2, 9, 16

9月 3, 10, 17, 24 10月 1, 8, 15, 22, 29 11月 5, 12, 19, 26 12月 10, 17

1月 14, 21, 28 2月 4, 11, 18, 25 3月 4, 11, 18

参加生徒数 延べ 185 人 支援スタッフ数 延べ 219 人

○新松戸教室 水曜日 夕方

実施日 全 41 日

4月 6, \*13, 20, 27 5月 11, 18, 25 6月 1, 8, 15, 22, 29 7月 6, 13, 20

9月 7, 14, 21, 28 10月 5, 12, 19, 26 11月 2, 9, 16, 30

12月 7, 14, 21 1月 11, 18, 25 2月 1, 8, 15, 22 3月 1, 8, 15, 22

\*4月13日は参加生徒が多かったため、市民活動支援コーナーのほかに

市民センター会議室も使用

参加生徒数 延べ 307人 支援スタッフ数 延べ 373人

<夏休み教室>

文化ホール教室 中学生クラス 実施日 全5日 7月 \*26, \*27, 28, 29, 30

\*7月26日、7月27日は市民会館を使用

参加生徒数 延べ 49人 支援スタッフ数 延べ 63人

常盤平教室 小学生クラス 実施日 全5日 7月 26, 27, 28, 29, 30

参加生徒数 延べ 59人 支援スタッフ数 延べ 34人

新松戸教室 実施日 全4日 8月 22, 23, 29, 30

参加生徒数 延べ 25人 支援スタッフ数 延べ 23人

<入試対策教室(受験教室) ゆうまつど他>

実施日 4年10月から3月まで 日曜日と冬休み 午後 全26回

10月 9, \*16, 23, 30 11月 \*6, 13, 20, \*27 12月 4, 11, 18, 26, \*27, \*28

1月 \*4, \*5, 8, 15, 22, 29 2月 5, \*11, 12, 19, 26 3月 5, 12

\*10月16日、11月6日、11月27日は勤労会館を使用

12月27日、12月28日、1月4日、1月5日文化ホールを使用

2月11日は受験前特別授業を文化ホールで実施

参加生徒数 延べ 221人 スタッフ数 延べ 270人

なお、10月2日に受験教室準備会議をゆうまつどで実施

## <既存事業強化の取り組み>

### ① 学習時間増

授業時間についてのアンケートの実施 5月7日・21日実施

文化ホール教室生徒対象 回答者13名

質問内容 教室での学習時間を増やすこと 回答：はい3, いいえ10

現在の実施日の他にもう1日学習日を増やすこと

回答：はい4, いいえ9

パソコンを使ったオンラインの授業を受けたいと思うか

回答：はい3, いいえ10

### ② 受け入れ児童・生徒数増

当会紹介チラシの作成 日本語・英語・中国語・ベトナム語版

編集 5月 印刷 6月 4言語版各100部 配布先 教育委員会

8月 日本語版 300部 外部配布用

### ③ 教育機関等との連携

教育委員会との情報交換 4月27日

学校訪問 5月下旬～6月初め 依頼文作成・訪問日調など準備

訪問実施 1回 1校 6月8日

### ④ 初心者クラスの試行

常盤平教室 土曜日 午後

9月から6名を対象に開始し3月まで実施

### ⑤ オンライン学習の推進

・アンケート調査 全スタッフ対象 実施時期：8月～9月

回答数 28

調査内容①オンライン学習の経験の有無

回答：はい11, いいえ17

②オンライン学習の導入についてどう考えるか

回答：対面授業に追加する 18

③オンライン学習を導入するための課題

回答：学習方法、機材の整備、スタッフの養成・確保

・準備作業として教材の集約・共有化

1月 Google Classroom の設定

以降オンライン学習に使える教材類をアップロード

既存事業強化打ち合わせ

日 付	作 業 内 容
4月2日	教育機関等との連携・アンケート調査実施の準備
7月19日	これまでの事業進捗の確認・今後の作業の進め方の検討
8月5日	今後の作業を3つにグループ分け及び担当者の振り分け
12月24日	事業進捗の確認・年度末までの作業の検討

(2) 新規事業（スタッフ養成及び多文化共生講座）

実施講演会 多文化共生が未来の鍵—地域でささえる子どもの育ち

実施日	講座内容・出席者等
8月21日	第1回 「ブルガリアから松戸へ」 キテミテマツド 講師 鳴戸勝紀 (元大関 琴欧州) 参加者 38名
9月4日	第2回 「アフリカ少年が日本で育った結果」 市民会館 講師 星野ルネ (漫画家) 参加者 39名
9月25日	第3回 「外国人の子どものためのやさしい日本語講座」 キテミテマツド 講師 黒田友子 (やさしい日本語アドバイザー) 参加者 41名
10月16日	第4回 「共存」から「共生」へ 常盤平市民センター 講師 岡崎広樹 芝園団地自治会事務局長 参加者 30名
10月23日	第5回 「日本語を学ぶ外国人の子どものをどう支える？」 市民会館 講師 小島祥美 東京外国語大学准教授 参加者 45名

新規事業打ち合わせ

日 付	作 業 内 容
4月2日	講座内容の検討
6月10日～30日	チラシの作成作業 印刷 7月500部
6月15日	広報まつど掲載依頼 (8月1日号)
8月1日～ 10月23日	講座の準備・PR活動

国際推進課との打ち合わせ

日 付	作 業 内 容
5 月 10 日	協働事業進捗状況打ち合わせ
6 月 3 日	協働事業進捗状況打ち合わせ
7 月 1 日	協働事業進捗状況打ち合わせ

(2) 事業内容のふりかえり

既存事業強化

- ① 学習時間の増では、アンケート調査により生徒からの要望がほとんどなかったため当年度では実現できなかった。今後も状況を見ながら実施の可能性を探っていきたい。
- ② 受け入れ児童・生徒の増については、コロナ禍の影響で入国制限があったなかでも増加した。今後、来日外国人の増加が予想されるなか、生徒の募集の広報活動を強化していくとともに、受け入れ体制も強化していく必要がある。
- ③ 教育機関等との連携では、学校との連携を目指し、事業所管課である国際推進課を通じ教育委員会との情報交換、学校への個別訪問を進めようとしたが、教育委員会から協力を得られずほとんど実現できなかった。
- ④ 初心者クラスの試行を9月から3月にかけて実施した。当初は、対象生徒を同一の教材を使用しながら進めようとしたが、生徒間の個々の日本語能力の差により個別に教える形になった。今後、日本語になれていない生徒を対象にした日本語教育を今後進めていくためのノウハウを蓄積し、さらに充実させていきたい。
- ⑤ オンライン学習の推進については、アンケート結果にみるように生徒・スタッフとも実施への積極性が乏しく、大きな進展をみなかったが、教材をネット上に集約し、今後のオンライン教育を推進するうえに必要な準備を行った。今後、スタッフに対して、オンライン学習のやり方について実際に機器を使用して体得してもらおうとともに、必要と思われる生徒に対してオンラインでの学習支援を積極的に実施していければと考えている。

新規事業

スタッフ養成及び多文化共生講座については、国際推進課と協力し5回にわたり実施した。第1回～第2回にかけて外国から来日し、日本で生活をしている人を講師として、外国人から見た日本について、第3回と第5回では、専門家を招き外国人の子どもに対しての日本語教育について、第4回目には外国人の多い地域の自治会の役員を講師にし、地域での外国人と日本人との共生についてというように幅広い切り口から講座を設け、多くの参加者を集め、また参加者に好評であった。さらに、参加者の中から7名が当会へ新規に

参加があったことを考えれば非常に成果があったと言える。

<予算の変更等について>

- 1 食糧費で当初計上されていなかった講師や高校生パネラーに対する飲み物代を国際推進課の指示により計上した。
- 2 新規講座のPR用ポスターの委託料 30,000 円については、委託をしなかったため使用していない。
- 3 使用料及び賃借料において、当初計上されていなかったが新松戸教室で使用する資材の保管場所として新松戸市民センターに隣接する松戸くらしの助っ人の施設の一部を借りた。
- 4 消耗品費から、生徒の学習意欲を高めるためキャラクターシールを購入した。

5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

1 来日後1年未満の子どもたちの学習生活全般に関する不安の軽減

入会時及び入会后6ヶ月後のアンケートの実施は、生徒の不安軽減という観点からの見極めが難かしいため実施できなかった。生徒の心の中までは把握し難い。

2 学習支援の機会増

学習時間の延長または実施日の増加は、生徒へのアンケート調査からは肯定的な回答が少なかったため通常の教室では実現できなかったが、初心者クラスの試行ができた。学習支援の機会増については、今後も増加に向けて検討していきたい。

3 学習支援の活動強化

生徒数 35人 目標52人⇒ 結果 55人

スタッフ数 42人 目標52人 ⇒ 結果 61人

生徒数、スタッフ数とも増加し、目標を達成している。

なお、言葉の障壁などにより子どもの学習機会の喪失や不登校、非行を助長するようなケースは、当会の生徒に関してはみられない。

(当会においては、そのような状況が生徒に生じた場合は、そのまま放置せず、当該家庭との連絡を密に行い、子どもの先行きを一緒に考え、社会への復帰への道を探り、再度学びの場へ向かわせるよう努めている。)

## 6 今後の事業展開

今年度実施してきた、初心者クラスの試行やオンライン学習など新たに付加しようとした事業について一層発展させていくとともに、SNS の活用などを通じ当会の活動の周知拡大に努めていく。

また、若い世代の人、地域の人と一緒に活動できるように取り組みながら、今後、コロナ感染の落ち着きとともに、外国からやってくる子どもたちが増加してきた場合でも安定的に学習支援を進められるような体制を作り上げる。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,065,525	¥ 2,102,525	¥ ▲37,000	※別紙 労力換算計算書 参照

### 【収入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 97,411	¥ 64,068	¥ 33,343	
	寄付金	¥ 100,000	¥ 10,000	¥ 90,000	
	生徒参加費	¥ 315,000	¥ 180,000	¥ 135,000	3000円×3学期×20人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 512,411	¥ 254,068	¥ 258,343	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ 0	←精算額
合計額 (D) = (B + C)		¥ 1,012,411	¥ 754,068	¥ 258,343	

### 【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 220,000	¥ 200,000	¥ 20,000	外部講師謝礼 40,000円×5回
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 29,241	¥ 20,759	コピーインク 19,977円 文房具・事務用品 4,059円 他
		¥ 100,000	¥ 63,156	¥ 36,844	教材費 1,200円×7冊 1,500円×2冊 他
	印刷製本費	¥ 70,000	¥ 22,631	¥ 47,369	講座チラシ印刷 500部 4,838円 生徒募集チラシ 600部 11,226円 他
	委託料	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	(委託せず内部で制作)
	使用料及び賃借料	¥ 357,411	¥ 260,106	¥ 97,305	常盤平教室使用料 228,000円/年間 受験(入試対策)教室23回分 18,360円 他
		¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000	(講座会場での器材使用料無し)
	食料費	¥ 0	¥ 2,285	¥ ▲2,285	当日講師飲み物代 432円 他
	対象経費の合計 (E)		¥ 852,411	¥ 577,419	¥ 274,992
(その他経費)	食料費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	
	通信費	¥ 100,000	¥ 43,940	¥ 56,060	会報郵送代 42,120円 他
	印刷製本費	¥ 30,000	¥ 69,601	¥ ▲39,601	会報製本印刷28・29号 67,474円 他
	交通費	¥ 0	¥ 27,034	¥ ▲27,034	協働事業会議・講演会出席交通費 他
	消耗品費	¥ 0	¥ 24,638	¥ ▲24,638	封筒作成 200部×2回 他
	教材費	¥ 0	¥ 11,436	¥ ▲11,436	入試参考書 693円×5冊 他
	その他経費の合計額 (F)		¥ 160,000	¥ 176,649	¥ ▲16,649
合計額 (G) = (E + F)		¥ 1,012,411	¥ 754,068	¥ 258,343	

#### 【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----



## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 64,068	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 10,000	当団体への寄附金 2,000円×5人
	生徒参加費	¥ 180,000	3,000円×3学期×20人
	自己資金の合計額	¥ 254,068	
市	松戸市負担金	¥ 500,000	
合計額		¥ 754,068	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 200,000 講師謝礼：鳴戸勝紀氏 40,000円、星野ルネ氏 40,000円、黒田友子氏 40,000円、岡崎広樹氏 40,000円、小島祥美氏 40,000円
	消耗品費	¥ 29,241 コピー機インク 9セット 19,977円 コピー用紙 8セット 3,519円 文房具・事務用品 4,059円（クリヤーブック688円、のり 138円×3 他） 感染対策品 1,358円（子供用マスク、手洗い洗剤、ペーパータオル） 講演会講師用紙コップ 328円
	教材費	¥ 63,156 教材費 公立高校過去問集1,100円×3、公立高校入試対策問題集1,100円×3、 中1・2総復習550円×2、中学国語をひとつひとつわかりやすく学研1,100円×5、 新完全マスター漢字・文法・語彙10冊14,080円 ひらがな他ドリル110円×8、小学1・2年生向けカードカルタ2,750円 他
	印刷製本費	¥ 22,631 講座チラシ印刷 500部 4,838円 生徒募集用チラシ（4言語）600部 11,226円 講演会用コピー代 2,314円 他コピー代 4,253円
	使用料	¥ 260,106 常盤平教室 228,000円/年、新松戸市民センター第1会議室（生徒多数で教室追加） 693円×1回 くらしの助っ人（教材保管）1,800円×3回、 ゆうまつど 24回 18,053円、勤労会館 5回 4,870円、市民会館 3回 3,090円
	食料費	¥ 2,285 パネラー参加の高校生含む講師への飲物代5日分
	対象経費の合計	¥ 577,419
その他経費	通信費	¥ 43,940 会報郵送代 175通+176通 42,120円、その他郵送代 1,820円
	印刷製本費	¥ 69,601 会報制作印刷28・29号 67,804円、その他コピー 1,797円
	交通費	¥ 27,034 協働事業会議・講演会交通費（11名・）、会報発送作業日交通費（2名・4086円）
	消耗品費	¥ 24,638 会封筒400部作成 15,715円、名刺プリント用紙 2,218円、印鑑 3,740円 他
	教材費	¥ 11,436 入試対策参考書 693円×5冊、日本語で学ぶ子ども達の作文 1,500円 他
	その他経費の合計	¥ 176,649
合計額		¥ 754,068

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×923円
	講座打ち合わせ（年間5回開催）	185,000 円	5 人 × 2 h × 20 回 × 925 円
	講座準備（5回）	46,250 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 925 円
	講座運営（5回）	69,375 円	5 人 × 3 h × 5 回 × 925 円
	既存事業強化の検討及び実施	92,500 円	10 人 × 2 h × 5 回 × 925 円
	既存事業の運営	1,709,400 円	42 人 × 2 h × 22 回 × 925 円
	合 計（A）	2,102,525 円	

地域まるごとで孤育てを予防する  
連携システム事業

まっどでつながるプロジェクト運営協議会

子ども政策課

# 活動状況報告書

1 事業名称 地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業

2 実施主体

■団体名： まつどでつながるプロジェクト運営協議会

従事者数： 5名

団体概要： 公的支援が届きづらい、制度からこぼれ落ちてしまいがちな子育て家庭が身近な地域やサポートにつながる、抱え込まず「助けて」と声をあげられるよう地域全体で温かく迎え入れられる環境を作り、「孤立する子育てを防ぐ」ことを目的として様々な事業に取り組んでいます。

■事業担当課： 子ども政策課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・事業内容の企画立案、運営実施における全般
- ・講師への依頼、実施における調整
- ・主に民間で子育て支援に関わる方やその他参加者への声掛け、調整

■担当課の役割

- ・事業内容に対する行政機関としてのフィードバック、庁内の各課との調整、出席依頼
- ・市のホームページや広報まつどなどによる行政としての広報活動
- ・公共施設利用にあたっての調整

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

① 子育て当事者の声を真ん中にした地域円卓会議の実施

※以下、内部…まつどでつながるプロジェクト運営協議会にて実施

2者…子ども政策課およびまつどでつながるプロジェクト運営協議会にて実施

日付	作業内容
4月18日	年間の事業計画の打ち合わせ（2者）
5月11日	第1回円卓会議についての検討、打ち合わせ（2者）
5月27日	第1回円卓会議に向けての準備（内部）
6月7日	第1回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）

6月24日	第1回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
7月7日	第1回円卓会議の詳細の確認、打ち合わせ（2者）
7月15日	第1回円卓会議の開催（2者） 参加者41名 テーマ「乳幼児期における子育ての孤立」
8月18日	第1回円卓会議のふりかえり（2者）
9月8日	第1回円卓会議のふりかえり、第2回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
9月30日	第2回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
10月11日	第2回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
10月27日	第2回円卓会議の開催（2者） 参加者29名 テーマ「児童期における子ども、子育て孤立」
10月28日	第2回円卓会議のふりかえり（内部）
11月7日	第2回円卓会議のふりかえり（2者）
12月13日	第3回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
12月16日	第3回円卓会議に向けての共催者との打ち合わせ（内部）
1月12日	第3回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
1月27日	第3回円卓会議に向けての参加者への声掛け・連絡（内部）
2月3日	第3回円卓会議に向けての検討、打ち合わせ（2者）
2月17日	第3回円卓会議の開催（2者） 参加者56名 テーマ「青年期における若者の孤立」
2月24日	第3回円卓会議のふりかえり（内部）
3月6日	第3回円卓会議のふりかえり（2者）

②地域の孤育てを予防する子育て市民サポーター養成講座の仕組みづくり

日付	作業内容
7月29日	講演会および養成講座に向けた検討（内部）
8月26日	講演会および養成講座に向けた検討（内部）
9月1日	市の広報掲載依頼（11月1日号）
9月8日	講演会および養成講座の内容検討、打ち合わせ（2者）
10月17日	講師との打ち合わせ（内部）
10月28日	講演会および養成講座に向けた準備（内部） チラシ・テキストのデザインの依頼、打ち合わせ
11月7日	講演会および養成講座の内容検討、打ち合わせ（2者）
11月9日	講師との打ち合わせ（内部）
11月11日	参加者募集のためのチラシ印刷、ネットでの広報（内部）
11月25日	講演会実施のための準備（内部）

12月3日	講演会の実施 参加者 13名 講師 武田信子氏（一般社団法人 JACE 理事長）
12月13日	講演会のふりかえり、養成講座の打ち合わせ（2者）
12月1日	養成講座講師との打ち合わせ（内部）
12月19日	第1回養成講座の実施（2者） 参加者 16名 講師 古野陽一氏（一般社団法人 JACE 理事）
1月12日	第1回養成講座のふりかえり、第2回の打ち合わせ（2者）
1月16日	第2回養成講座の実施、第3回の打ち合わせ（2者） 参加者 12名 進行 阿部剛（まつどでつながるプロジェクト運営協議会）
1月23日	養成講座講師との打ち合わせ（内部）
1月30日	第3回養成講座の実施（2者） 参加者 15名 講師 古野陽一氏（一般社団法人 JACE 理事）
2月3日	養成講座のふりかえり、追加日程の打ち合わせ（2者）
2月24日	追加日程についての参加者への連絡、調整（内部）
3月6日	養成講座の卒業後の関わり方についての検討、年間のふりかえり
3月27日	追加日程の実施（2者） 参加者 6名 今後のまつドリ応援隊でどのような活動を行っていくかの検討

## (2) 事業内容のふりかえり

事業計画に記載した内容は全て実施することができました。  
またスケジュールも概ね予定していた通りに実施しました。  
予算執行に関しては、オンライン開催ではなくなったためにヘッドセットを購入する必要がなくなり、その分必要な消耗品費に切り替えさせていただきました。  
<以下、2事業についての詳細>

- 地域円卓会議…第1回では乳幼児に関連した、保健師や保育園の関係者、また親子 DE 広場の運営者といった子育て支援に関わる方に参加いただいた。内容としては、子育ての困難を抱える前のなるべく早い段階から地域資源につながる重要性や、0～3歳の家庭、無園児と呼ばれる所属のない子どもといった接点の少ない家庭へのアプローチについて検討した。第2回では児童期にかかわる学校関係者や児童館の運営者、スクールソーシャルワーカーにご参加いただいた。内容としては不登校に係る課題感や学校と地域の連携について話し合った。第3回は「松戸市子ども・若者の支援を考える会実行委員会」との連携で開催し、多数の参加が得られた。テーマとしては虐待や制度上はざまになりがちな若者の諸課題を共有し、議論をすることができた。
- 市民サポーター養成講座…街のいたる場面で子育てをあたたく見守る市民を増やすことを目的として、講演会および連続講座を開催した。講演会では一般社団法人 JACE 理事長の武田様に講師で来ていただき、現代の子育て・赤ちゃんを取り巻く環境の変化についてお

話いただいた。また連続講座では3回にかけて、今の子育てに対してどのような関わりが求められているのか、参加者自身が課題に取り組みながら考えていくワークショップを行っていった。またそれらを経て、今後継続的に活動していきたいと考える方々を有志で募り、「追加日程」を開催した。この日は次年度以降、市民サポーター養成をどのように行うことが良いのか、また具体的な活動について話し合うことができた。

講師の謝金については、もともと1回あたり3万円の謝金で5回実施することを予定していたが、また連続講座につなげることを目的として1回のオープンな講演会を初回に実施し、謝金については内部で進行を行うことも含めて全体で調整した。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

①地域円卓会議について…参加者人数としては延べ126名となり、目標としていた80名は超えました。また目的としていた、行政・民間の属性は幅広く募ることができ、それぞれの視点から課題を共有することができた。参加者アンケートにおいても、新たにつながりを作ることができたと回答された方が約7割であった。

②市民サポーター育成について…参加者人数としては、最終的な修了生が17名となり目標としていた20名には達することができなかった。目的としては地域での見守りや声掛けを行う市民の育成という観点においては8割の方が継続して活動したいという回答をしており、今後につながる講座となったと考える。今後は一定の講座を受講した方をすべて「市民サポーター」、継続的に官民それぞれの動きと連動して活動していくメンバーを「まつドリ応援隊」と定義し、前者をより増やしていくこと、また後者については今の子育て環境に必要とされる仕組みを検討していきたい。

## 6 今後の事業展開

①地域円卓会議について…今年度の実施の中で、行政と民間が共に対話の場を共有する意味や成果を見出すことが出来た。一方で、対話からあがってきた行政課題や今後連携が必要になると思われるテーマについて、話したままになっていることが課題であると考えため、次年度はそれらを拾い上げる仕組みづくりに取り組んでいきたい。

②市民サポーター養成について…今年度、広くPRすることを目的として講演会を組み入れたが広報が遅れたこともあり、あまり集客につなげることができなかった。一方で連続講座に関しては参加者の反応も含めて今後の期待が持てるため、次年度は早めのスケジュールを組み大々的に広報を行っていききたい。また修了生の活躍の場や役割についても引き続き検討していく。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 310,800	¥ 324,675	¥ ▲13,875	※別紙 労力換算計算書 参照

### 【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 16,000	¥ 12,590	¥ 3,410	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	参加費	¥ 20,000	¥ 17,000	¥ 3,000	養成講座参加費（1000円×17名）
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 36,000	¥ 29,590	¥ 6,410	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 321,000	¥ 242,000	¥ 79,000	←精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 357,000	¥ 271,590	¥ 85,410	

### 【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 150,000	¥ 150,000	¥ 0	外部講師謝礼（養成講座） 講演会講師…100,000円 連続講座講師…50,000円
	消耗品費	¥ 21,000	¥ 19,940	¥ 1,060	水性マーカー…2,515円（503円×5個） プリンターインク代…11,048円（1841.3円×6個） 参加者配布用クリアファイル…2,750円（110円×25個） 参加者配布用名札…2,750円（110円×25個） 参加者配布用コピー用紙…877円（A3用紙500枚）
	印刷製本費	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	自団体のコピー機または印刷機を使用したため費用発生なし
	委託料	¥ 130,000	¥ 100,000	¥ 30,000	養成講座チラシおよびテキストデザイン費 100,000円
	使用料及び賃借料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
	通信運搬費	¥ 16,000	¥ 0	¥ 16,000	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 357,000	¥ 269,940	¥ 87,060	
（その他）経費	支払手数料		¥ 1,650	¥ ▲1,650	振込3件 550円×3件=1,650円
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 1,650	¥ ▲1,650	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 357,000	¥ 271,590	¥ 85,410	

#### 【チェック項目】

- 1 協働事業負担金（C）が、対象となる経費（E）欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金（C）が、自己資金（B）欄に労力換算額（A）欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 79,000
------------	----------



## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 12,590	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	参加費	¥ 17,000	養成講座参加費 (1000円×17名)
	自己資金の合計額	¥ 29,590	
市	松戸市負担金	¥ 242,000	
	合 計 額	¥ 271,590	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 150,000	外部講師謝礼 (養成講座) 講演会講師…100,000円 連続講座講師…50,000円
	消耗品費	¥ 19,940	水性マーカー…2,515円 (503円×5個) プリンターインク代…11,048円 (1841.3円×6個) 参加者配布用クリアファイル…2,750円 (110円×25個) 参加者配布用名札…2,750円 (110円×25個) 参加者配布用コピー用紙…877円 (A3用紙500枚)
	委託料	¥ 100,000	養成講座チラシおよびテキストデザイン費 100,000円
	対象経費の合計	¥ 269,940	
その他経費	支払手数料	¥ 1,650	振込3件 550円×3件=1,650円
	その他経費の合計	¥ 1,650	
	合 計 額	¥ 271,590	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳	
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×925円	
	円卓会議打合せ	24,975 円	3 人 × 1 h × 9 回 × 925 円	
	円卓会議準備	27,750 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 925 円	
	円卓会議本番	55,500 円	5 人 × 4 h × 3 回 × 925 円	
	円卓会議ふりかえり	22,200 円	2 人 × 2 h × 6 回 × 925 円	
	養成講座打合せ	27,750 円	3 人 × 2 h × 5 回 × 925 円	
	養成講座準備	74,000 円	2 人 × 8 h × 5 回 × 925 円	
	養成講座 講師打ち合わせ	7,400 円	1 人 × 2 h × 4 回 × 925 円	
	養成講座本番	55,500 円	3 人 × 4 h × 5 回 × 925 円	
	養成講座ふりかえり	29,600 円	2 人 × 4 h × 4 回 × 925 円	
合 計 (A)	324,675 円			

## 梨香台団地付近の多世代交流型居場所事業

梨っこ食堂

## 活動状況報告書

1 事業名称 梨香台団地付近の多世代交流型居場所事業

2 実施主体

■団体名： 梨っこ食堂

従事者数： 5人

団体概要： 本子ども食堂は、子どもを中心に地域住民のコミュニケーションの場とし、生活に困窮する家庭の子ども達に、食事や学習指導、居場所を提供し、子どもたちの豊かで充実した生活と社会づくりに寄与することを目的とする。

・梨香台団地付近の子供・高齢者の居場所が不足している状況にある。  
 コロナ禍、家庭環境は大きく変化し、貧困や孤立が社会問題となる中、高塚新田地域も顕著であるため、地域の多世代が支え合い共に暮らす地域を目指し、だれもが参加できる居場所・実家的な役割の構築を図る。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①定期的な梨っこ食堂開催(学童や学校にいけない子どもの安心できる居場所・拠点づくり)

日付	作業内容
4月2日～3月31日	農園作業(ジャガイモ・きゅうり・なす・トマト・サンチュなど植え付け、草取り、土盛り、収穫、苗片付け、種まき準備、天地替え、肥料作りなど) 適宜、希望する子ども達も参加 場所：構成員が借りている梨香台の貸農園
4月16日  23日	・みんなの居場所・食事(鉄板焼き、お楽しみ焼、お楽しみサラダ、総菜パン、イチゴ、牛乳)、お菓子の提供(30人)・新入学子ども支援 参加者：子ども30人 ・みんなの居場所・食事(カレーうどん・ポテトサラダ・豚肉巻き、サンマの煮付け、ミカン、ゆずピール)、お菓子の提供(30人)・新入学 子ども支援 参加者：子ども30人

5月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（鮭のちゃんちゃん焼・チキンサラダ・もやしサラダ・ねぎの味噌汁）、お菓子の提供（30人）</li> </ul> <p>参加者：子ども30人</p>
21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（とりそばろ丼・コロッケ・総菜パン）、お菓子の提供（30人）</li> </ul> <p>参加者：子ども30人</p>
28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（唐揚げ定食・ねぎの味噌汁・キャベツのサラダ・はちみつレモンゼリー）、お菓子の提供（40人）</li> </ul> <p>参加者：子ども40人</p>
6月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（親子丼・チキンサラダ）、お菓子の提供（30人（防災食含む））</li> </ul> <p>梅干し・梅漬け作り 参加者：子ども30人</p>
18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（クリームシチュー・サンチュサラダ・マカロニサラダ・総菜パン）、お菓子の提供（30人（防災食含む））</li> </ul> <p>梅干し・梅漬け作り 参加者：子ども30人</p>
25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（冷やしうどん・五目おにぎり・サンチュサラダ・きゅうり・ナスの浅漬け・冷凍パイ）、お菓子の提供（30人（防災食含む））</li> </ul> <p>梅干し・梅漬け作り 参加者：子ども30人</p>
7月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（ハンバーグプレート・ナポリタン・サンチュ・きゅうりのサラダ・コンビーフポテトサラダ）、お菓子の提供（30人）</li> </ul> <p>参加者：子ども30人</p>
9日～10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・防災食（パワー米・ライスクッキー・バランス食バー・お菓子&amp;ジュースセット）、お菓子の提供（100人）</li> </ul> <p>民生員主催七夕を楽しむ会協賛（地域住民との多世代交流）参加者：子ども42人</p>
16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（ビーフシチュー・総菜パン）、お菓子の提供（13人）</li> </ul> <p>参加者：子ども13人</p>
23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（お好み弁当・唐揚げ・巻きずし・お好みサラダ・すもも・メロン・チーズ・抹茶アンパン・レモンパン）、お菓子の提供（15人）</li> </ul> <p>参加者：子ども15人</p>
30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（お好みお弁当・カツ・クリームパン抹茶・チョコレートパン）、お菓子の提供（8人）</li> </ul> <p>参加者：子ども8人</p>
8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの居場所・食事（ホットプレート調理・照り焼きチキン・マカロニサラダ・肉巻きおにぎり・キャベツ&amp;トマトサラダ・フルーツポンチ・グレープフルーツ・トウモロコシ）の提供（29人）</li> </ul> <p>参加者：子ども29人</p>

27日	・みんなの居場所・食事（唐揚げ&肉団子お弁当・焼きそば・冷製クリームパン）の提供（31人）縁日・梨香台団地自治会手伝い（夏祭り）参加者：子ども30人、大人1人
9月3日	・みんなの居場所・食事（豚丼・ズワイガニの味噌汁・ナスの油いため・キャベツ&ゆで卵サラダ・きゅうり・青菜・グレープフルーツ）、お菓子の提供（41人）参加者：子ども39人、大人2人
10日	・みんなの居場所・食事（冷や汁・西瓜くり抜きフルーツポンチ、フルーツサンド・マンゴーのアンガープリン）、お菓子の提供（40人）参加者：子ども38人、大人2人
24日	・みんなの居場所・食事（唐揚げ定食、スパムナポリタン・青菜のお浸し・里芋の煮っころがし・洋風スープ・明日葉のお浸し・グレープフルーツ）、お菓子の提供（25人） 参加者：子ども25人
10月8日	・みんなの居場所・食事（デミグラスハンバーグ定食、マカロニサラダ・青菜のお浸し・ニンジンのグラッセ・ポテトサラダ・レタス&トマトサラダ・野菜スープ・梨）、お菓子の提供（25人）参加者：子ども20人、大人5人
22日	・みんなの居場所・食事（野菜カレー・ハンバーグ・ささみチキン・カクテルゼリー）、お菓子の提供（20人）参加者：子ども20人
11月5日	・みんなの居場所・食事（かき揚げ&中華弁当・郷土料理 柿の白和え・豚汁・ブドウ）、お菓子の提供（20人）参加者：子ども20人
12日	・みんなの居場所・食事（春巻きピザ風・スティックチキン・自分パフェ作り）、お菓子の提供（20人） 参加者：子ども20人
19日	・みんなの居場所・食事（クリームシチュー・みたらし団子）、お菓子の提供（20人）参加者：子ども20人
12月3日	・みんなの居場所・食事（チキンサンド・ポトフ）、お菓子の提供（21人）参加者：子ども18人、大人3人
10日	・みんなの居場所・食事（中華おこわ・大根おでん）、お菓子の提供（18人）参加者：子ども18人
17日	・みんなの居場所・食事（唐揚げ定食・冷製トマトスープ）、お菓子の提供（35人）参加者：子ども30人、大人5人
24日	・みんなの居場所・食事（チキンサンド・ジュースセット）、お菓子の提供（59人）参加者：子ども55人、大人4人
1月7日	・みんなの居場所・食事（手打ちうどん・天ぷら定食・炊き込みご

14日	飯)、お菓子の提供 (13人) 参加者: 子ども8人、大人5人 ・みんなの居場所・食事(クリームスープ・チキンスティック・ナポリタン・ふかし芋)、お菓子の提供 (9人) 参加者: 子ども9人
28日	・みんなの居場所・食事(恵方巻・豚汁・焼きいも・サラダ・甘酒ガトーショコラ)、お菓子の提供 (16人) 参加者: 子ども16人
2月11日	・みんなの居場所・食事(親子丼・豆乳スープ・スパサラダ・小松菜のお浸し・プリン&マシュマロ)、お菓子の提供 (21人) 参加者: 子ども21人
18日	・みんなの居場所・食事(サバのトマト煮定食・チキンサラダ・キノソテー・コーンスープ・白玉フルーツポンチ)、お菓子の提供 (19人) 参加者: 子ども19人
25日	・みんなの居場所・食事(巻きずし・餅巾着と大根煮・肉じゃが・ゆきひらたけの味噌汁・自分パフェ)、お菓子の提供 (20人) 参加者: 子ども20人
3月11日	・みんなの居場所・食事(お好み焼き・焼きそば・サラダ・果物いちごシャービー)、お菓子の提供 (20人) 参加者: 子ども20人
25日	・みんなの居場所・食事(2種類のカレー・チキンサラダ・サツマイモおやつ3種スティック・田楽・チップス)、お菓子の提供 (20人) 参加者: 子ども20人

②子ども食堂開催時、お弁当・フードパントリー・衛生用品

日付	作業内容
4月16日	食材・お菓子・雑貨・衛生用品配布
23日	食材・お菓子配布
5月14日	お菓子・雑貨・衛生用品配布
21日	食材・お菓子・雑貨・衛生用品配布
28日	お菓子・雑貨・衛生用品配布
6月18日	食材・お菓子・雑貨・衛生用品配布
7月9日	防災食品・お菓子・衛生用品配布
16日	防災食品・お菓子配布
8月6日	食材・衛生用品配布
13日	食材・お菓子配布
20日	食材配布
27日	食材・お菓子配布
12月29日～31日	食材・野菜・正月用品(鏡餅)・お菓子・衛生用品配布

1月7日 14日 28日	食材・お菓子・衛生用品配布 食材・お菓子配布 食材・お菓子配布
2月11日 18日 25日	食材・お菓子・衛生用品配布 食材・お菓子配布 食材・お菓子配布
3月11日 25日	食材・衛生用品配布 食材・お菓子配布

③緊急要請の場合、要相談で食材個別配布支援実施

日 付	作 業 内 容
4月2日・9日	お弁当・食材・衛生用品個別
5月9日	お弁当・食材お届け個別
6月18日	お弁当・食材お届け個別
7月15日～16日	食材・お菓子・飲み物支援（玄関前に置く） 食材支援（玄関前に置く）
8月6日・20・24日 日・27日	お弁当・食材お届け
9月3日	食材お渡し
10月1日・6日	お弁当・食材お届け
11月27日	食材お届け個別
12月3日・10日・15日 ・24日・30日	お弁当・食材お届け お菓子購入ができない家庭にお渡し
1月8日・20日 13日・27日	・食材お渡し ・食材お届け
2月3日・9日・17日 日・24日・25日	お弁当・食材・衛生用品お渡し
3月18日	食材・お菓子お届け

④外出できない世帯を対象として、必要に応じて自宅に出向き調理

日 付	作 業 内 容
10月1日・6日	子どもと調理を行う（魚の煮付けなど総菜）
12月25日	子どもとクリスマスケーキやフルーツサンド作り



12月31日	子どもと年末総菜調理・年末弁当調理
2月5日	子どもと総菜・漬物作り実施

⑤子育てが孤育てにならないように、困りごとなどの相談ができるよう、予約制で専門家相談会実施

日 付	作 業 内 容
4月2日	相談会実施 不登校相談（母親と面談後、個別対応 終了）
5月14日	相談会実施 不登校相談（母親と面談後、個別対応）
6月11日	相談会実施 電話相談後、面談・LINEにて連絡開始・継続中
7月23日	相談会実施 不登校相談（母親と面談後、個別対応継続）
8月6日	相談会実施 別居家族の件（電話・LINE・支援開始 継続中）
9月3日	相談会実施
10月1日	相談会実施 別居家族の件（電話・LINE・支援開始 継続中）
11月5日	相談会実施
12月25日	相談会実施 別居家族の件（電話・LINE・支援開始 継続中）
1月7日	相談会実施
2月4日	相談会実施
3月16日	相談 松戸市より情報提供のあった方に物資支援・相談対応

⑥子ども食堂開催時 通年で学習支援、宿題支援を実施

子ども食堂のメニューを調理実習として子ども達と共同で作成。

日 付	作 業 内 容
4月16日	・新入学・進級学習習慣・宿題支援、調理実習 高塚新田集会場にて
23日	・新入学・進級学習習慣・宿題支援、調理実習 高塚新田集会場にて
5月14日	・宿題・学習習慣支援・防災教育復習、調理実習 東部市民センターにて
21日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 高塚新田集会場にて
28日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 高塚新田集会場にて
6月4日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 高塚新田州会場にて
18日	・保存食 梅干し・梅漬けつくり、調理実習 高塚新田集会場にて
25日	・防災学習（ハザードマップ使用地域防災を考える）、 調理実習 高塚新田集会場にて

7月2日	・宿題・学習習慣支援、夏休み学習支援、調理実習 高塚新田集会場にて
9日～10日	・夏休み学習支援七夕を楽しむ、防災学習(防災食を地域住民に配布)、調理実習 高塚新田集会場にて
16日	・夏休み学習支援、浴衣着付け、調理実習 高塚新田集会場にて
23日	・夏休み学習支援、調理実習 高塚新田集会場にて
30日	・夏休み学習支援、ポスター制作、調理実習 高塚新田集会場にて
8月6日	・宿題・学習習慣支援、夏休み学習支援、小さなまち創り学習、調理実習 高塚新田集会場にて
27日	・宿題・学習習慣支援、夏休み学習支援、調理実習 高塚新田集会場にて ・地域伝統祭り参加(運営手伝い) 梨香台団地自治会と共に 梨香台団地商店街にて
9月3日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
10日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
24日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
10月8日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
22日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
11月5日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
12日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
19日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
12月3日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
10日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
17日	・宿題・学習習慣支援、冬休み学習支援、調理実習 東部市民センターにて
1月7日	・宿題・学習習慣支援、冬休み学習支援、調理実習 東部市民センターにて
14日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
28日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
2月11日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
18日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
25日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 東部市民センターにて
3月11日	・宿題・学習習慣支援、調理実習 高塚新田集会場にて
25日	宿・題・学習習慣支援、調理実習 高塚新田集会場にて

⑦定期的イベント・ワークショップ（今後起業を目指すママさんのワークショップなどで経験値を増やす。将来の事業化などを目指す人の応援実施）

日 付	作 業 内 容
4月16日	新入学・進級おめでとうイベント（着物着付け）
5月14日	水引・粘土アクセサリ作り・防災（雨の日の移動について）
6月25日	水引・粘土アクセサリ作り・防災（防災食を美味しく食べる）
7月 9日	民生委員主催と七夕を楽しむ会協賛（地域の多世代交流と防災）
8月27日	縁日（浴衣の着付け） 夏祭りイベント（お名前キーホルダー・水引アクセサリ）
9月3日	室内運動会（腕相撲・尻相撲・カルタとり大会・お菓子争奪輪投げ）
10月29日	ハロウィンイベント（スタンプラリー） 東部スポーツパークにて
11月19日	将来の夢と仕事について大学生と語る、クリスマスカレンダー作り
12月24日	クリスマスリース作り、クリスマスイベント 東部市民センター
1月 7日	防災カルタとり大会
28日	節分先度どり・鬼のゲーム作り
2月11日	ビーズアクセサリ作り
18日	プラバンアクセサリ作り
25日	プラバンアクセサリ作り
3月11日	屋台気分お好み焼き&焼きそば&おやつつかみ取り・おやつ争奪戦
25日	サツマイモ職人

⑧長期休暇時のイベント・ワークショップ

日 付	作 業 内 容
4月16日	プチ祭り（着物着付け・屋台） 高塚新田集会場
7月9日	七夕を楽しむ会（地域防災を考える） 高塚新田集会場
8月27日	縁日 高塚新田集会場
10月29日	ハロウィンスタンプラリー 東部スポーツパーク
12月24日	クリスマスパーティー 東部市民センター
2月25日	ひな祭りパーティー 東部市民センター

## (2) 事業内容のふりかえり

○計画時に計画していた事業内容は、コロナ感染の影響に配慮して、一部変更したものの、概ね計画通り実施する事ができました。ただし、コロナ感染による小中学校の学級閉鎖など感染状態により、運営メンバーを固定にせざるを得ず、安全・安心を保てる最低人数にての実施となりました。また、地域の自治会役員の交代や集会場の耐震工事などの予定の把握ができておらず、開催場所の確保に困りました。

場所が集会所から東部市民センターへ変わっても、子ども達の参加に変化はなく、相変わらず子ども達の居場所としての活動中心となりました。調理実習では、人数制限や入れ替え制にし、参加希望者全員に参加してもらえるようにしました。

定期的なイベントやワークショップを子ども食堂運営者で行い、子ども達の新たな経験の場や将来のやりたい事を見直す機会ともなりました。

パントリーでは、梨っこ食堂の多世代交流による子ども達の年末行事として、日本文化伝承の意味合いも込めて鏡餅を購入し、自治会と協力して配布しました。

個別支援では、子ども食堂に参加することのできない子ども達のためにフルーツサンドを作り、要望のあったご家庭に配布しました。

寄附していただいたたくさんの野菜や果物を保存するため、ぬか床を使って漬物を手作りし、子ども食堂会食時に提供し、また希望のあった子ども達に配布しました。個別支援の配布にも使用しました。

また、光熱費の値上がりにより、暖房の節約を行っている状況を耳にし、あたたかいものを求める声があったことから、家庭でも簡単にでき、体が温まるものという観点から即席の味噌汁をパントリーに用意しました。

松戸市子育て支援課から支援を希望される方について、対象者の同意の下に情報提供があり、相談対応・物資の支援を実施しました。

○感染症対策などにより追加・変更・削減となった内容と致しましては、

- ・変更①外部講師によるワークショップや講座を予定していましたが、スタッフが内容の変更することなく実施できる見込みとなった為、予算を使用しない形式をとりました。アクセサリ作り（水引・レジ）お名前キーホルダー・クリスマスカレンダー・オーナメント・鬼のお面ゲーム創り・プラバンアクセサリなど（今後起業を目指すシングルママさんの経験値を増やす応援は、コロナ環境終息後とし、子ども達へ子ども食堂開催時の子どもへの個別対応やママさんの生活状況により、資格取得相談へと個別支援へ変更いたしました。）

- ②開催場所について 自治会集会場にて開催を予定しておりましたが、自治会の役員の改選や集会場の耐震工事などにより、東部市民センターに変更している期間が発生しましたが、子ども食堂開催に関しましては、大きな影響はなかったものとしています。

- ③保険料については、増額となりましたが、令和4年4月1日分から令和5年3月31日までの支払いは、令和4年3月支払いとなったため、対象外経費として計上しました。
- ④予算上、チラシやリーフレットを行う予定でしたが、現スタッフの人数では今来ていただいている子ども達の対応に限界があり、松戸市のHPや松戸子ども食堂の会リーフレットに掲載されていることや感染状況を鑑みて通常開催の子ども食堂の規模を拡大せずに事業を遂行する事が安全に継続するための手段と判断して、意図的に削減し予算としては使用しない形式を取りました。
- また、消耗品の使い捨て弁当箱など、個別支援の継続者は、繰り返し使えるタッパーを使用し、ラップやジッパー付ビニール袋でお渡しできる物は、安価のやすい物を使用しました。
- ⑤ご寄付の件、松戸子ども食堂の会を通して、前年度までご寄付をいただいていた個人様のご寄付が、今年度より違う形でのご寄付に変更されたことにより、収入額が大きく減額となりました。寄附金額は減額となりましたが、当子ども食堂が開催3年目を迎え、活動の趣旨をご理解いただける皆様による食材のご寄付が増えたことで、消耗品費（特に野菜や果物）を抑え、子ども食堂、パントリー開催時やイベント時に子ども達から要望の多かったお菓子を購入して配布するなどしました。
- 子ども達を取り巻く家庭環境は、家計費を抑えるため、子どものお菓子の購入を控えざるを得ない状況にあり、親御さんから、子どもが甘いものに飢えているという言葉も聞こえるほどでした。このため、予算にはありませんでしたが食糧費を計上しております。
- ⑥通信運搬費について、寄附企業様宛て手紙を送付する予定でしたが、直接お会いしてのご挨拶や、お電話でお話する機会もあり、使用しませんでした。
- 全体的に、コロナ感染の拡大により子ども達と高齢者による多世代交流の拡大に至ることはできませんでしたが、梨香台団地自治会開催の夏祭りのお手伝いや年末のパントリー時などには、感染予防としてのソーシャルディスタンスを図りながら交流する場面がありました。3年目を迎え、継続的に開催出来ている事で、地域住民同士に顔見知りの人が増え、食堂開催時以外でも触れ合うことが増えたとお声をいただけるようになっておりました。（子ども同士の繋がりも、子ども食堂で知り合い、日常的に顔を合わせ、声を交わしたりすることが増えているようです。）また、物資お届け支援で繋がった家族同士が交流する場面もでき、コロナ禍での引っ越しや生活環境の変化が大きくなった家族同士が助け合える繋がりを持てたこともありました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

- ① ・誰でもが参加できる居場所の開催
- ・目標：月2回～3回開催
  - 結果：月平均3.0回（参加人数平均：子ども28人/回・大人2.25人）
- 大人の参加人数は、コロナ感染状況により高齢者さんの参加希望がありましたが、コロナ感染状況を確認しながら、お互いの命を守る選択として、高齢者支援という形をとらせて頂き、会食への参加を見送って頂いたり、高齢者さんへの対応は、意図的に制限を行いました。
- ・いつでもお腹いっぱい食べられる環境として都度食事を提供し、東部市民センターの調理教室の人数制限20人を超える場合は、入れ替え制にしたり、予測弁当数や限定数を超える場面もありましたが、保存予備食で対応実施しました。また、食堂へ足を運びづらい中高生には、個別で大きな梨っことして事務局で食事の提供を実施いたしました。
- ② お弁当配布やフードパントリー・衛生用品の配布実施
- ・目標：月2回開催/年間24回開催
  - ・結果：月平均1.92回開催/年間23回開催（食堂開始時、都度配布野菜・果物・お菓子）
  - ・衛生用品は、寄附でいただいたときや要請に応じ、生理用品・おしりふき・紙おむつのほかバンドエイドなど救急用品の配布を実施しました。
- ③ お弁当・食材の個別配布支援
- ・月2回に限らず要請時、物品の値上げラッシュ後、週単位で支援を実施しました。（コロナ感染されたご家族や家庭環境の大きく変わったご家庭の要請に応じ、お弁当やお菓子、食材のご支援も実施しました。）
- ④ 子育てが孤育てにならないように、親も子ども息抜きの場とする。
- ・地域の子育て世代 新規親子参加1組～2組/月→結果0.5回/月
  - ・お困りごと相談の出来る専門家との語りの場提供（電話やLINEでの相談を受け付け）
  - ・資格保有者による育児・介護相談など 1回/月→結果1回/月
- コロナ禍中に引っ越しをされてきたシングル家庭のご参加もあり、育児や介護相談を受けながら、お子様が子ども食堂に参加し、親の目を気にすることなく行動し、親御さんにご家庭のことをして頂く、ゆっくりひとりでお茶を飲んだり、買い物に出かけたりと、親子がそれぞれ離れる場面を創ることができた事で息抜きの場となったようです。
- 2歳～12歳の4人姉妹で参加、幼稚園・保育園の年長さんのみで参加されることも増加傾向にあります。また、学童に通うお子さんが毎回のように午後から参加されたりする姿も見受けられます。食堂開催時間を超えても帰路に着けない子ども達は、外でスタッフと話したりしながら、次の子ども食堂開催の約束やいつでも電話やLINEをして良いことを伝え、帰路へと迎えるように促した場面もありました。

#### ⑤ 通年・都度学習支援開催実施

・夏休みや冬休み・春休みに限らず、開催毎、宿題・学習支援を実施しました。教える、教えられる関係ではなく、一緒に考え答えを導いていくような関りを勧め、学習の習慣や共に学びの機会を共有する形式で実施しました。本格的に高レベルな勉強を行いたい希望のある子どもは、連携している子ども食堂をご紹介し、そちらで勉強を行って頂くなどしました。また、地域の大学に通う大学生や高校生が今までの経験で得たことなどを、学び合う姿も多く見受けられるようになっております。

コロナ感染拡大時の誰でもが参加できる居場所としての開催としましたが、子ども中心の開催とし、高齢者の命を守ると言う意味でも会食での高齢者の方の参加はなしにさせて頂き、お弁当やパントリーへの参加と制限させていただきました。地域の課題でもある高齢者の社会参加によるフレイル状態や認知機能低下の軽減という意味では、3年目を迎えた梨っこ食堂としては、多世代が交流・社会参加し、互いの価値を交換することで、子どもの健全な育成や高齢化社会での課題の解決の糸口になればと活動して参りましたが、前年を継続、縮小する形で、拡大には至りませんでした。子ども達が防災を意識する上で、災害時に地域にどんな方が存在するのか？また、地域に住まう人が多様性に富んでいる事に気が付くことができるように支援することができました。

また、高塚新田集会場は、1階が地域の梨生産者の倉庫ともなっており、防災をテーマにイベントを企画しました。子ども達だけでご飯を炊いて、今ある食材や調理器具で調理する事を繰り返し、炊き出しも出来るようになって参りました。また、東部市民センターでは、専門的な調理器具をお借りして、子ども達が挑戦してみたいお菓子作りや伝統的な食事を自分達で調べ、スタッフや参加大学生と学ぶ機会ともなりました。小さくはありますが、一部の地域の住民同士の繋がり、孤立を回避する一つの選択肢となれる居場所となりました。誰もが気軽に立ち寄れる場所、子ども達が自ら選択し、子どもも大人も横並びの関係の中で、心の羽を休めたり、互いに学び会える居場所として、子どもが主体的に計画から実行できる場としての居場所となりました。

#### 5 今後の事業展開

- ★将来、拠点としての居場所を確保し、安定的に誰もが立ち寄れる実家的な雰囲気のある居場所開催を持続可能にする。子育てママさんの休憩場所、時にはスタッフがお子様と遊び、ママさんはお昼寝などもできる居場所とし、子どもの支援をするとともに、環境も丸ごとサポートできる体制の構築を図る。
- ★経験豊かな高齢者の役割を再構築し、地域で子どもや高齢者がお互いを見守り、不足を補える繋がりを作る。
- ★学校に足の向かない子どもの居場所や将来を考える居場所としても活用できる子どもの支援の場とする。

- ★防災・認知機能低下、フレイル予防として、子どもも大人もごちゃまぜの区別しない拠点となる。
- ★未来の貧困のサイクルを断つ。



## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	寄付金	¥ 300,870	¥ 26,226	¥ 274,644	個人様より
	参加費	¥ 16,800	¥ 8,100	¥ 8,700	大人 ¥300×27人
	団体拠出金	¥ 0	¥ 79,398	¥ ▲79,398	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 317,670	¥ 113,724	¥ 203,946	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 417,670	¥ 213,724	¥ 203,946	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳										
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	内部スタッフで講師を賄ったため不使用										
	消耗品費	¥ 328,210	¥ 81,996	¥ 246,214	<table style="font-size: small; border: none;"> <tr><td>・ポスター用紙等</td><td style="text-align: right;">2,995円</td></tr> <tr><td>・はさみ (5本)</td><td style="text-align: right;">8,690円</td></tr> <tr><td>・インク</td><td style="text-align: right;">6,578円</td></tr> <tr><td>・食材</td><td style="text-align: right;">56,444円</td></tr> <tr><td>・弁当用品</td><td style="text-align: right;">7,289円</td></tr> </table>	・ポスター用紙等	2,995円	・はさみ (5本)	8,690円	・インク	6,578円	・食材	56,444円	・弁当用品	7,289円
	・ポスター用紙等	2,995円													
	・はさみ (5本)	8,690円													
	・インク	6,578円													
	・食材	56,444円													
	・弁当用品	7,289円													
	印刷製本費	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	食堂規模の拡大が厳しいことからチラシ等作成、配布せず										
使用料及び賃借料	¥ 1,340	¥ 7,550	¥ ▲6,210	<table style="font-size: small; border: none;"> <tr><td>会場使用料</td><td>高塚新田集会場</td><td style="text-align: right;">3,000円</td></tr> <tr><td></td><td>東部市民センター</td><td style="text-align: right;">4,550円</td></tr> </table>	会場使用料	高塚新田集会場	3,000円		東部市民センター	4,550円					
会場使用料	高塚新田集会場	3,000円													
	東部市民センター	4,550円													
通信運搬費	¥ 840	¥ 0	¥ 840	寄付した頂けた方々に直接ご挨拶やお礼を伝えることができたため不使用											
保険料	¥ 1,280	¥ 0	¥ 1,280	支払いが3月だったため、計上しない											
食糧費	¥ 0	¥ 57,118	¥ ▲57,118	お菓子、ジュース等											
			¥ 0												
	対象経費の合計 (D)	¥ 381,670	¥ 146,664	¥ 235,006											
(その他) 経費	交通費	¥ 36,000	¥ 60,000	¥ ▲24,000	5,000円×12ヶ月										
	保険料	¥ 0	¥ 7,060	¥ ▲7,060	子ども食堂保険料 6950円 振込手数料 110円)										
				¥ 0											
	その他経費の合計額 (E)	¥ 36,000	¥ 67,060	¥ ▲31,060											
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 417,670	¥ 213,724	¥ 203,946											

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	寄付	¥ 26,226	個人様よりのご寄付 (¥10,000×2、¥1,500×2、¥2,586×1、¥640)
	参加費	¥ 8,100	¥300×大人27人
	団体拠出金	¥ 79,398	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 113,724	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合 計 額		¥ 213,724	

科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)	
助成金の 交付対象 経費	消耗品費	¥ 81,996	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター用紙 2,995円 (ポスター制作 用紙・絵具など)</li> <li>・はさみ5本 8,690円 (ワークショップ用 クラフト子ども用はさみ)</li> <li>・インク 6,578円 (手紙やお知らせ 印刷用インク)</li> <li>・食材 56,444円 (8/6 1点 203円、8/18 10点 1,814円、8/27 1点 386円、9/7 7点 4,705円、9/9 27点 3,153円、9/9 7点 2,420円、10/5 5点 3,184円、11/3 18点 3,140円、12/2 6点 1,501円、12/10 2点 1,005円、12/16 7点 1,099円、12/22 36点 8,804円、12/30 3点 2,954円、1/6 7点 654円、1/12 8点 1,728円、1/13 4点 878円、1/27 8点 1,797円、2/2 10点 2,145円、2/2 1点 203円、2/5 4点 1,082円、2/11 8点 1,491円、2/16 24点 5,301円、2/24 34点 6,156円、2/25 2点 641円)</li> <li>・弁当用品 7,289円</li> </ul>
	使用料及び賃借料	¥ 7,550	高塚新田集会場 3,000円 (8/27 1,000円、3/11 1,000円、3/25 1,000円) 東部市民センター 4,550円 (11/5 1,540円、11/12 1,320円、11/19 1,690円)
	食糧費	¥ 57,118	お菓子・ジュース どうぶつカステラ、ツブグミ、C.C.レモン、麦茶、他 57,118円 (6/9 4点 648円、6/25 1点 116円、8/6 1点 84円、9/6 8点 1,972円、9/9 7点 974円、10/5 3点 686円、10/9 1点 97円、10/13 300点 13,564円、10/19 2点 1,800円、10/20 1点 270円、10/23 4点 4,043円、10/29 84点 9,888円、11/11 21点 2,328円、12/11 18点 1,749円、12/17 3点 291円、12/23 79点 6,849円、12/23 21点 6,467円、12/23 18点 4,392円、1/12 3点 900円)
	対象経費の合計	¥ 146,664	
その他 経費	交通費	¥ 60,000	5,000円×12ヶ月
	保険料	¥ 7,060	子ども食堂保険
	その他経費の合計	¥ 67,060	
合 計 額		¥ 213,724	

料理教室を通じた父親の意識改革事業

MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel  
メゾンイザラおやつラボ\*テ ナチュレル

男女共同参画課

# 活動状況報告書

1 事業名称 料理教室を通じた父親の意識改革事業

2 実施主体

■団体名： MAISON IZARRA Oyatsu labo \* T naturel  
メゾン イザラおやつラボ\*テ ナチュレル

従事者数： 10名

団体概要：2018年11月より、料理教室を通して、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝える活動をしています。

■事業担当課： 男女共同参画課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）のプログラム組み立て
- ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達、広報用チラシ・ポスター作成
- ・イベント当日は、調理レクチャーとサポート

■担当課の役割

- ・ワークショップ講師の選定・依頼、内容の調整。
- ・広報まつど、市ホームページでの周知等の広報活動。
- ・イベント当日の司会進行

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

- ①講座企画打ち合わせ
- ②チラシの企画及び作成、チラシの印刷・市の広報掲載依頼
- ③チラシのPR活動
- ④講座準備レシピ作成・試作
- ⑤講座開催
- ⑥講座振り返り・反省会

①～⑥の内容を下記の日程で実施しました。

日 付	作 業 内 容
4月3日	講座企画打ち合わせ
4月10日	チラシの企画及び作成
4月17日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（5月1日号）
～5月1日	チラシのPR活動
4月29日	講座準備（レシピ作成）市民会館料理教室
5月15日	講座準備（試作）市民会館料理教室
5月28日	第1回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 参加者9組22名
	第1回講座振り返り・反省会
6月26日	講座企画打ち合わせ
7月10日	チラシの企画及び作成
7月17日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（8月1日号）
～8月1日	チラシのPR活動
8月13日	講座準備（レシピ作成）
8月22日	講座準備（試作）
8月28日	第2回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者10組28名
	第2回講座振り返り・反省会
9月4日	講座企画打ち合わせ
9月10日	チラシの企画及び作成
9月11日	講座準備（レシピ作成）
10月9日	団体スタッフの試作・勉強会 （父たちのお菓子教室開催予定を変更）
10月16日	チラシの印刷
	市の広報掲載依頼（11月1日号）
～11月1日	チラシのPR活動
11月13日	講座準備（試作）

11月27日	第3回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏参加者10組28名
	第3回講座振り返り・反省会
12月10日	講座企画打ち合わせ
1月15日	講座準備（試作）市民会館料理教室
1月16日	チラシの企画及び作成
	市の広報掲載依頼（2月1日号）
～2月1日	チラシのPR活動
2月12日	講座準備（試作）市民会館料理教室
2月26日	第4回講座開催 市民会館料理教室 講師横沼氏 参加者11組27名
2月26日	第4回講座振り返り・反省会
	報告書作成・本年度反省会
～3月10日	

(2) 事業内容のふりかえり

<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した事業内容を全て行いました。</li> <li>・スケジュールは、感染症対策の影響により、 第1回の6月開催予定を5月開催に変更しました。</li> <li>第2回8月は計画通り8月に開催し、</li> <li>第3回10月開催予定を11月に開催、</li> <li>第4回12月開催予定を2月に開催し、計画通り4回行いました。</li> <li>・昨年度は楽しく、簡単にできるメニュー構成で開催し、料理道具の扱いや、調理理論などの質問があった為、今年度は調理の基礎や理屈も実演時の講習と配布用レシピで伝え、より家庭に持ち帰って役立つように工夫して実施しました。</li> </ul> <p>○予算変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた印刷社での小ロットでの印刷は不可だった為（開催してきたところ全て即日満員になったので、ちらしの印刷代を節約するため）外注せず、自前で印刷。→印刷製本費減</li> </ul> <p>○消耗品費の予算変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回10月開催予定を11月末に変更し、ハロウィンからクリスマスメニューに変更するにあたり、追加で試作会を行いました。</li> <li>・時間短縮のため実演での差替え用の材料、</li> </ul> <p>また、アレルギー対応として、卵不使用レシピ作成のため、消耗品費増</p>
---

・感染症対策として4回ともソーシャルディスタンスが確保可能な市民会館で開催しました。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

【目標①】料理イベントを市内2つの場所で各2回、合計年4回開催し、各回10組20～25人を集客【参加人数 40組80名】→結果：40組105名

- ・4回開催とも定員を超える申込があり、関心を持っていただきました。
- ・各回の参加者目標については、各回10組（第4回のみ11組）で開催し、達成することができました。
- ・「ふりかえり」の理由から、会場は1か所に絞って開催しました。

【目標②】父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高める。

【目標⑤】「SDGs」2030年までの約束、17の世界目標達成に繋げるとともに、ジェンダー平等の気付きを目指す。

- ・ワークショップでは家庭での父親の役割についての意見交換を通して、男女は対等なパートナーであることの理解促進をし、アンケート結果により、家事・育児に関する考え方の変化がみられました。

アンケート結果：

質問：イベントに参加されて子育てや家事についての考え方に変化はありましたか。

（いくつでも○）

- ①家事・育児に積極的に参加したいと思った 12名
- ②父親の役割について考えるきっかけになった 11名
- ③父親の交流に興味をもった 7名
- ④特にない（変わらない） 6名
- ⑤その他 1名（地域の交流に興味を持った）

【目標③】父親と子どもに、料理の楽しさ、食の大切さを伝え、参加者は、家庭でもおやつや軽食が作れるようになる。

子どもとの料理体験がとても楽しかったとお声を多く頂きました。

また参加したい。家でも挑戦してみます、とのご感想も頂きました。

イベントについて、ご感想やご意見

- ・良い体験をさせていただきありがとうございました。
- ・とても満足しています。講師の方はもちろんですが、スタッフの方にも準備等サポートして頂き感謝申し上げます。
- ・また参加したいです。2回目の参加ですが、楽しかったです。

- ・親子で参加できて楽しかったです。
- ・貴重な機会を提供頂き、親子共々感謝しております。
- ・スイーツ作りもワークショップもとても楽しかったです。
- ・また参加したい。
- ・娘には難しいかと思っていましたが、思った以上に自分でできており、子どもの成長を感じることができた。
- ・子どもが「私が作ったよ」と得意気に話していました。
- ・楽しかった。（お子さんの字で書かれていました）
- ・お菓子づくり、大変参考になりました。
- ・素人にも分かる教室で、親子共に勉強になります。
- ・子供と一緒に楽しくお菓子づくりができて、子供の成長について改めて知ることができました。
- ・普段家では子供とやらないようなことを体験でき、良かったです。家でもやってみたいと思いました。
- ・親子の親睦がよりいっそう深まりました。
- ・とても面白かったです。
- ・楽しかったです。
- ・楽しく参加できました。
- ・子どもたちがみんな楽しそうだったので参加してよかったです。
- ・パパが積極的に参加できるイベントは、親子のキズナも育てて、とても良いと思いました。また参加したいです。
- ・初めて参加しましたが、楽しく過ごせました。次回も気が付いて先着に間に合えば参加したいです。
- ・貴重な機会を提供いただき感謝してます。
- ・時間が短く感じました。楽しかったです。
- ・とても楽しく参加できました。またぜひ参加したいと思います。
- ・とても楽しかったです。

【目標④】男性の家事・育児への心象的なハードルを下げる。

調理を通して父と子の関係が深まり、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加のきっかけづくりができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げることができました。

## 6 今後の事業展開

- ・状況により 10 組～15 組参加での開催をしていきます。
- ・参加費有料（材料費として¥1,000）での開催を試験的に行い、来年度以降の事業継続に繋がります。



・定期的に父親と子ども対象の体験教室を開催し、男性の家事・育児に関する意識を高めていきます。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 377,400	¥ 432,900	¥ ▲55,500	※別紙 労力換算計算書 参照

### 【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 61,252	¥ 89,365	¥ ▲28,113	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 61,252	¥ 89,365	¥ ▲28,113	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 371,268	¥ 370,753	¥ 515	←精算額
合計額 (D) = (B + C)		¥ 432,520	¥ 460,118	¥ ▲27,598	

### 【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	外部講師謝礼（3時間） 15,000円×4回
	消耗品費	¥ 203,000	¥ 204,285	¥ ▲1,285	食材 2022年5月46,344円、8月10,991円、11月112,955円、2023年2月33,995円
	消耗品費	¥ 47,340	¥ 73,990	¥ ▲26,650	資材 キッチンクロス、クッキングシート、食品用保存袋、ケーキカップ、アルコールスプレー、ニトリル手袋、食器用洗剤、スポンジ 他
	消耗品費	¥ 30,800	¥ 21,022	¥ 9,778	印刷 コピー用紙 インクカートリッジ
	印刷製本費	¥ 40,000	¥ 0	¥ 40,000	※チラシ印刷外注なし
	使用料及び賃借料	¥ 21,280	¥ 37,980	¥ ▲16,700	レシピ作成試作、作業確認・共有試作、イベント 松戸市民会館 12回、サボセン1回、持込器具、マイクロホン、アンプ使用料 4回
	通信運搬費	¥ 10,100	¥ 14,671	¥ ▲4,571	チラシ送付用 レターパックライト370円×20枚 食材配送料（12回） 7,271円
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 412,520	¥ 411,948	¥ 572	
（その他） 対象外経費	食糧費	¥ 10,000	¥ 16,000	¥ ▲6,000	昼食代 500円×8人×4回
	交通費	¥ 10,000	¥ 12,000	¥ ▲2,000	交通費（2人は運搬タクシー 500円×6人×4回）
	通信費及び運搬費	¥ 0	¥ 20,170	¥ ▲20,170	ホームページレンタルサーバー年間プラン 1,170円 資材食材運搬タクシー 1,300円 他
	その他経費の合計額 (F)	¥ 20,000	¥ 48,170	¥ ▲28,170	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 432,520	¥ 460,118	¥ ▲27,598	

#### 【チェック項目】

- 1 協働事業負担金（C）が、対象となる経費（E）欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金（C）が、自己資金（B）欄に労力換算額（A）欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 515
------------	-------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
	団体拠出金	¥ 89,365	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 89,365	
市	松戸市負担金	¥ 370,753	
	合 計 額	¥ 460,118	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼（3時間） 講師名 横沼氏 15,000円×4回
	消耗品費	¥ 204,285	食材 スーパーバイオレット 1kg 460円、粉ゼラチン小袋 390円、冷凍メランジェ 530円、発酵バター 990円、ダノンピオ 181円、サワークリーム 100g 257円、純生クリーム 332円、フィラデルフィア 200g 429円、ベリーミックス 278円、レモン 213円、スペアミント 139円、グラニュー糖 1kg 228円 他
	消耗品費	¥ 73,990	資材 松戸市ゴミ袋45L 508円、ムースフィルム 300円、ゴールド台紙 410円、クールウェル 200個 806円、ケーキ箱手揚げ 25個 1,278円、水切りマット 12個 1,200円、キッチンクロス 30枚入 429円、ゴールドデコトレー 20個 798円、食パン1斤袋 100個 552円、1.5斤角山食兼用パン袋 100個 1,390円、クッキングシート 498円 他
	消耗品費	¥ 21,022	印刷 コピー用紙A4 500枚 658円、インクカートリッジ5色パック 5,427円×2個 他
	使用料及び賃借料	¥ 37,980	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 松戸市民会館 12回、まつど市民活動サポートセンター 1回 持込器具、マイクロホン、アンプ使用料 4回 2,280円×7回、2,400円×3回 他
	通信運搬費	¥ 14,671	チラシ送付用 レターバックライト370円×20枚 食材配送料（12回） 7,271円
	対象経費の合計	¥ 411,948	
その他 経費	食糧費	¥ 16,000	昼食代 500円×8人×4回
	交通費	¥ 12,000	交通費 500円×6人×4回、
	通信費及び運搬費	¥ 20,170	ホームページレンタルサーバー年間プラン 1,170円、資材食材運搬タクシー 1,300円 他
	その他経費の合計	¥ 48,170	
	合 計 額	¥ 460,118	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ(8回)	74,000円	5人×2h×8回×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会(8回)	59,200円	2人×4h×8回×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備(8回)	111,000円	5人×3h×8回×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座(4回)	88,800円	8人×3h×4回×925円
	チラシ制作	18,500円	1人×5h×4回×925円
	報告書作成	22,200円	2人×3h×4回×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座振り返り、反省会(4回)	29,600円	8人×1h×4回×925円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座片付け、清掃(4回)	29,600円	8人×1h×4回×925円
合 計 (A)	432,900円		

松戸のイメージ向上のための  
コミュニケーション事業

まつどのこもりかた。編集部

広報広聴課 シティプロモーション担当室

# 活動状況報告書

1 事業名称 松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業

2 実施主体

■団体名： まつどのこもりかた。編集部

従事者数： 3名

団体概要： 松戸市にゆかりのある女性が、松戸市の魅力を人々と触れ合いながら紹介していく超地域密着型のWEBコンテンツを提供します。「まつどのこもりかた。」というホームページを構え、そこに松戸の魅力をまとめた記事を投稿します。地域の活性化と松戸への愛着を高めることを目標にします。

■事業担当課： 総合政策部 広報広聴課 シティプロモーション担当室

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

松戸市の魅力調査・取材・撮影、ホームページ更新、SNS更新

■担当課の役割

市の広報媒体を活用した情報発信・周知、サイト運営補助（内容精査・画像提供等）、関係機関への協力・連携

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容 WEBサイト「まつどのこもりかた。」の記事作成、サイト運営

1-1. WEBサイト(Twitter、Instagram含む)公開までの流れ

(1) 情報収集(随時)→SNS・地域性・店舗状況等を勘案

・若者世代に支持されている店か(アンケート、口コミ紹介等)

・若い女性が一人で過ごしやすい、くつろげる店、場所か

・地域で親しまれているか(客層、評判など)

・オーナーや店員の人柄は魅力的か などから総合的に判断

(2) 店舗下見、撮影交渉(撮影日の約1~2カ月前)、編集会議

(3) モデル探し&事前説明(約1カ月前)

(4) 撮影事前準備(機材の準備・設定、メイク・衣装調達など)

(5) 撮影(当日)設営、メイク、テスト撮影、料理、モデル&店長インタビュー、本番撮影

(6) 編集会議、インタビューのまとめ

(7) HP作成・編集→内容確認(店舗、モデル)→公開

1-2. Web サイト「まつどのこもりかた。」の周知

・ SNS での本サイト更新情報の発信〔令和 4 年度（2022 年度）各月〕

日 付	作 業 内 容
2022 年 4 月	『まつどのこもりかた。』 <vol. 24> 取材、撮影、記事作成 出演：鈴木愛乃さん 取材先：CASA MIA
2022 年 6 月	『まつどのこもりかた。』 <vol. 25> 取材、撮影、記事作成 出演：ホンマミサさん 取材先：LOVERING
2022 年 7 月	『まつどのこもりかた。』 <vol. 26> 取材、撮影、記事作成 出演：津田結羽さん 取材先：J&N AMERICAN DINER
2022 年 9 月	『まつどのこもりかた。』 <vol. 27> 取材、撮影、記事作成 出演：住吉奈緒さん 取材先：Coworking Space Flat café&Bar
2022 年 10 月	『まつどのこもりかた。』 <vol. 28> 取材、撮影、記事作成 出演：澤山由寿稀さん 取材先：With a will

(2) 事業内容のふりかえり

令和 4 年に入り、新型コロナの感染状況の変化で、コアメンバーの本業にも変化が現れ、取材候補地の選定から撮影日程までのスケジュールを組むことが困難となることが多く、当初年 12 回（月 1 回）としていた記事投稿やホームページ拡充の活動を、予定どおり実施することができなかった。

ただ、記事化することができたお店や関係者からは取材・記事化について「選んでいただきありがとうございます」「素敵な記事でうれしく思います」など喜びの声をいただくことができました。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

目標：Twitter と Instagram のフォロワー数合計 1,500 件以上

結果：1,225 件（Twitter：247、Instagram：978）※3月9日時点

「振り返り」にも記載した通り、当初予定していた記事投稿数の半分以下となってしまったため、フォロワー数を増やしていくことが難しかった。

しかしながら、各 SNS に松戸市民から多くの「いいね」や多数の「コメント」をもらい、相互的なコミュニケーションを図ることができたため、松戸ファンを増やす手段としては有効だと考えている。

## 6 今後の事業展開

コロナ前の状況に戻りつつある中、コアメンバーの本業（仕事）での活動時間が昨年と同等又はそれ以上になることが確定的であり、今後、本事業における記事投稿、さらにはサイト運営自体が不可能になることが見込まれるため、市担当課とも協議のうえ、次年度の事業継続が難しいと判断し、令和4年度末をもって当事業を終了することとしたい。

ただ、記事化したものは松戸市の魅力として価値のあるものと判断し、団体と市担当課の協議の結果、著作権譲渡契約書を取り交わし、市のサイト内で記事が閲覧できる状態にする予定となっております。



## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 521,700	¥ 217,375	¥ 304,325	※別紙 労力換算計算書 参照

### 【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,020	¥ 16,218	¥ 63,802	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 80,020	¥ 16,218	¥ 63,802	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 55,962	¥ 444,038	←精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 580,020	¥ 72,180	¥ 507,840	

### 【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 180,000	¥ 50,000	¥ 130,000	出演者報償費 (5回分) 50,000円	
	消耗品費	¥ 126,000	¥ 12,180	¥ 113,820	撮影対象品 (5回分) 12,180円	
	印刷製本費	¥ 34,020	¥ 0	¥ 34,020	お店専用チラシ印刷 配布用チラシ印刷 紹介用カード印刷 0円	
	使用料及び賃借料		¥ 7,000	¥ 0	¥ 7,000	サーバー使用料 0円
			¥ 1,000	¥ 0	¥ 1,000	ドメイン使用料 0円
	委託費	¥ 220,000	¥ 0	¥ 220,000	ギャラリー増築、ページ 修正などのSE委託 配布用・お店用チラシな どの制作物デザイン 0円	
				¥ 0		
				¥ 0		
	対象経費の合計 (E)	¥ 568,020	¥ 62,180	¥ 505,840		
（その他対象外）経費	食糧費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000		
	交通費	¥ 6,000	¥ 0	¥ 6,000		
	駐車場費		¥ 10,000	¥ ▲10,000	駐車場代 (ロケハン・打ち合わせ5回分)	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 12,000	¥ 10,000	¥ 2,000		
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 580,020	¥ 72,180	¥ 507,840		

#### 【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 444,038
------------	-----------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 16,218	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 16,218	
市	松戸市負担金	¥ 55,962	
	合 計 額	¥ 72,180	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	出演者報償費（¥10,000×5回分）
	消耗品費	¥ 12,180	撮影対象品（撮影した料理など撮影5回分）
	対象経費の合計	¥ 62,180	
その他経費	駐車場代	¥ 10,000	駐車場代（ロケハン、打ち合わせ5回分）
	その他経費の合計	¥ 10,000	
	合 計 額	¥ 72,180	

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	カメラマン撮影	37,000 円	1 人 × 8 h × 5 回 × 925 円
	ヘアメイクモデルセットアップ	37,000 円	1 人 × 8 h × 5 回 × 925 円
	全体ディレクター	37,000 円	1 人 × 8 h × 5 回 × 925 円
	投稿準備、作業	27,750 円	2 人 × 3 h × 5 回 × 925 円
	写真レタッチ	23,125 円	1 人 × 5 h × 5 回 × 925 円
	記事編集	13,875 円	1 人 × 3 h × 5 回 × 925 円
	お店打ち合わせ	27,750 円	3 人 × 2 h × 5 回 × 925 円
	モデル打ち合わせ	13,875 円	3 人 × 1 h × 5 回 × 925 円
合 計 (A)	217,375 円		



町会・自治会の活動をPRして  
親しみをもってもらおう事業

できる街プロジェクト

市民自治課

# 活動状況報告書

1 事業名称 町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業

2 実施主体

■団体名： できる街プロジェクト

従事者数： 15名

団体概要： 2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。

本会は、地域活性化を目的とし、各々のやりたいことの実現を目指した企画・運営を行う。主にアニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

■事業担当課： 市民自治課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・脚本、漫画、アニメの作成
- ・団体のYouTube・SNSに投稿
- ・SNSによるPR

■担当課の役割

- ・効果の見込める内容、PRしたい内容のピックアップ
- ・ヒアリングする町会・自治会の選定
- ・町会・自治会との連携、調整 ・制作物の内容の確認、修正
- ・プレスリリース
- ・松戸市のYouTubeに投稿
- ・冊子の無料配布（アンケート集計含む）

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

A. 松戸市町会・自治会PR内容の調査・ヒアリング

日付	作業内容
4/1～6/30	脚本制作のための情報収集（下記のヒアリング後に実施） 3/24 中和倉第一町会※事業開始前に取材 （第5話：町会・自治会の環境美化活動について）

	5/11 常盤平西窪町町会 (第6話:町会・自治会の防犯活動について)
--	-------------------------------------

#### B. 松戸市町会・自治会 PR 漫画の制作・公開

日 付	作 業 内 容
4/1～7/31	第5話漫画制作
8/1～8/31	漫画仕上げ依頼 打ち合わせ資料作成
9/1～9/30	漫画完成後の色チェック
3/4～3/6	できる街プロジェクト HP・Twitter にて第5話漫画公開
5/11～8/31	第6話漫画制作
10/1～11/6	漫画仕上げ依頼 打ち合わせ資料作成
11/7～11/14	漫画完成後の色チェック
3/7～3/9	できる街プロジェクト HP・Twitter にて第5話漫画公開

#### C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開

日 付	作 業 内 容
8/1～9/9	第5話・第6話台本制作
9/10	音声収録(声優出演:じちまる役 村田綾野、まつかめ役:萱沼千穂、 ゲスト役:眞塩藍咲、ゲスト役:御坂しのぐ) 台本印刷 ・収録:プラチナムガレージ ・音響機材使用
9/10～10/31	第5話アニメ映像制作
10/1～10/31	第5話 BGM 制作依頼
11/1～11/30	第5話劇伴制作・効果音制作
12/1～12/31	第5話仕上げ作業
10/1～1/31	第6話アニメ映像制作
11/1～11/30	第6話 BGM 制作依頼
2/1～2/28	第6話劇伴制作・効果音制作
3/1～3/18	第6話仕上げ作業
1/15	第5話アニメ公開
3/19	第6話アニメ公開

D. 松戸市町会・自治会 PR を目的とした無料配布冊子の制作・無料配布

日 付	作 業 内 容
4/18	外部イラストレーターへ冊子仕上げ依頼 ※下記の打合せの度に追加で 1~2 ページずつ依頼したり、修正依頼をしました
4/30, 5/6, 5/18, 5/19, 10/22, 10/31, 11/7, 11/18, 12/12, 12/31, 1/10, 1/12, 1/15, 1/16	漫画冊子打合せ
1/16	漫画冊子印刷発注
3/15~	松戸市への転入者を対象に、市民課 1,400 部、8 支所各 200 部ずつ、合計 3,000 部の漫画冊子の配布かつアンケートを実施。

E. プレスリリース

日 付	作 業 内 容
11/25, 11/26, 11/27, 12/5, 12/20, 1/7, 1/15	フライヤー、ポスター打合せ
11/25	フライヤー、ポスターデザイン制作
11/25~2/9	フライヤー、ポスター発注
3/15~	フライヤー、ポスター配布開始 【ポスターについて】 町会・自治会へ 3,300 枚 (内訳⇒A3 : 2,500 枚 A4 : 800 枚) 配布 【チラシについて】 ・転入者を対象とし、市民課及び 8 支所の窓口にて漫画冊子と併せて、転入者へ 3,000 枚配布を実施 (内訳⇒市民課 1,400 枚 各支所 200 枚ずつ)
3/15	プレスリリース (インターネットプレスリリース)



--	--

(2) 事業内容のふりかえり

**A. 松戸市町会・自治会 PR 内容の調査・ヒアリング**

→町会・自治会の代表的な活動内容を提案及びその活動を活発的に行っている町会長との調整を市民自治課に行っていただき、対面での取材を実施しました。

現在の町会の現状、どんな取り組みをしているのか、どんな思いで活動をしているのか、もっと若い人が参加してくれるためにはどんなアプローチがよいのか伺い、その思いに応える内容にしようと思いました。

**B. 松戸市町会・自治会 PR 漫画の制作・公開**

→松戸市町会・自治会キャラクターたちが登場する町会・自治会の活動をストーリー仕立てで紹介する漫画を制作。実際の町会長さんたちがキャラクターとなり、話をする事で、若い人にも伝わりやすい内容になりました。

**C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開**

→松戸市町会・自治会キャラクターたちが登場する町会・自治会の活動をストーリー仕立てで紹介する漫画を制作。団体の HP・SNS の他、市の HP・広報誌等にて発信。市発信の広報誌をきっかけに、ケーブルテレビの J:COM でも取り上げられた。また、本事業の内容について周知するためのポスター・フライヤーを作成し、3 月中に町会・自治会へ配布・公共施設へ掲示を行いました。

**D. 松戸市町会・自治会 PR を目的とした無料配布冊子の制作・無料配布**

→漫画を中心に町会・自治会情報を記載した漫画冊子を長すぎず、短すぎず、読む人には負担なく、気軽に読める漫画になりました。

**E. プレスリリース**

→団体の HP・SNS の他、市の HP・広報誌等にて発信し、全国のより広い地域へ、本事業を知ってもらい、大きな注目を集めるよう取り組みました。本事業はすぐに効果が表れるものではないと思いますが、継続して実施することで、認知度が高まり、少しずつでも効果が表れていくものになると思います。

○予算の変更について

1. 漫画仕上げ代&冊子仕上げ費の件

・当初、団体所属のイラストレーターに依頼予定だった漫画と冊子の制作ですが、イラストを増やし、クオリティアップをしたいという話になったこと、そのタイミングで団体所属の

イラスト担当者が体調不良で入院で対応できなくなり、外部依頼が必要となったため、委託料が増加しました。

## 2. 冊子印刷製本費&フライヤー・ポスター印刷費の件

冊子印刷製本費は、余裕をもって制作ができたため、早割割引が適用できることとなりました。それに伴い、大幅に減額となりました。

しかし、フライヤー・ポスター印刷費に関しては、掲示板仕様の変更により、印刷が必要な枚数が増加および印刷用紙サイズも多岐に渡るものとなったため、増額となりました。

## 3. 印刷費の件

・昨今の紙代の高騰により、印刷製本費の値段が上昇しました。

・漫画冊子については、割引を使うことができることがわかり、適用でき、大幅に減額できました。

・フライヤー・ポスターについては、掲示板の仕様変更に伴い、印刷枚数が増え、増額となりました。

## 4. 収録スタジオの変更の件

当初予定していたスタジオがコロナにより閉店してしまいました。代替スタジオを探しましたが、コロナ禍の影響で都内の高額なスタジオしか満足な音質を保てないところばかりとなりました。しかし、ネットで検索し、良質かつ予算に収まるスタジオが見つかりました。ただし、当スタジオは、収録作業もスタジオ使用料に含まれているため、予算科目が変更になりました。ただし、その影響もあり、全体としては減額にすることができました。

## 5 事業成果について

・目標の達成と課題の解決について

①漫画制作【制作漫画数：6話、SNSでの視聴回数：10,000回】《3/31時点》

Twitter 視聴回数 第1話：5,130回、第2話：3,633回、第3話：1,498回、第4話：2,703回、第5話：3,132回、第6話：3,750回

②動画制作【制作動画数：2本、SNSでの視聴回数：10,000回】《3/31時点》

**団体** YouTube 千葉のテガちゃんネル 第5話：247回 第6話：712回

Twitter 第5話：10,493回 第6話：5,307回

**松戸市** まっちゃんねる視聴回数《3/31時点》

第1話：122回、第2話：127回、第3話：94回、第4話：156回

※第5話、6話は4月公開予定

③無料配布用漫画冊子【1冊、制作冊数：3,000部】

→20 ページ（本文 16 ページ）3,000 部制作できました。

④2023 年度の町会・自治会加入率【2020 年度と同等の加入率 67.85%】

→R5/3/31 時点 65.87%

○課題の解決について

まだまだ認知度が薄く、すぐの効果は難しいと思います。継続して発信していき、多くの人に知ってもらい、同時に有名人やTVなどの放送により、認知度を広げます。その結果、少しずつ効果が出ると思います。

## 6 今後の事業展開

・町会・自治会活動について、取材を兼ねて実際に参加し、継続して町会・自治会のPRを行っていく

・松戸に関わりのある有名人に出演してもらう

・PR アニメを地上波 TV 放送する

・今後作成した成果物を活用し、漫画冊子を市内の小学校へ配布を行う

以上を行い、認知度の向上を目指す。この活動の認知度が向上することで、松戸市町会自治会の認知度向上となり、松戸市町会自治会の加入率向上につなげることができる。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 610,500	¥ 541,125	¥ 69,375	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 118,614	¥ 62,044	¥ 56,570	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 118,614	¥ 62,044	¥ 56,570	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	¥ 500,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 618,614	¥ 562,044	¥ 56,570	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の 交付対象経費	報償費	¥ 60,000	¥ 44,000	¥ 16,000	村田綾野、萱沼千穂（16,500円×2本）、真塩藍咲（6,000円）、御坂しのぐ（5,000円）
	消耗品費	¥ 7,844	¥ 6,458	¥ 1,386	インク代（5,750円）、プリンタ用紙（708円）
	印刷製本費	¥ 366,370	¥ 329,936	¥ 36,434	冊子印刷費（269,556円） ポスター印刷費（A3:2,500枚、A4:800枚⇒34,600円） フライヤー印刷費（4,500枚⇒25,780円）
	使用料及び賃借料	¥ 80,000	¥ 49,250	¥ 30,750	スタジオ使用料（収録作業含む）（19,250円） 音響機材使用料（30,000円）
	委託料	¥ 100,000	¥ 128,000	¥ ▲28,000	BGM制作料（60,000円）、漫画仕上げ代（9,000円×2本）、 冊子仕上げ代（50,000円）
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 614,214	¥ 557,644	¥ 56,570	
（その他） 経費	交通費	¥ 4,400	¥ 4,400	¥ 0	440円×2人×5回
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 4,400	¥ 4,400	¥ 0	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 618,614	¥ 562,044	¥ 56,570	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 62,044	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 62,044	
市	松戸市負担金	¥ 500,000	
	合 計 額	¥ 562,044	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 44,000	声優出演費（村田綾野、萱沼千穂（16,500円×2本）、真塩藍咲（6,000円）、御坂しのぐ（5,000円））
	消耗品費	¥ 6,458	インク代（5,750円）、プリンタ用紙（708円）
	印刷製本費	¥ 329,936	冊子印刷費89.2円×3,000部（269,556円）、ポスター印刷費（A3：11.1円×2,500枚⇒27,910円）、ポスター印刷費（A4：8.3円×800枚⇒6,690円）、フライヤー印刷費（5.7円×4,500枚⇒25,780円）
	使用料及び賃借料	¥ 49,250	スタジオ使用料（収録作業含む）（19,250円）、音響機材使用料（30,000円）
	委託料	¥ 128,000	BGM制作料（60,000円）、漫画仕上げ代（9,000円×2本）、冊子仕上げ代（50,000円）
	対象経費の合計	¥ 557,644	
その他 経費	交通費	¥ 4,400	440円×2人×5回
	その他経費の合計	¥ 4,400	
	合 計 額	¥ 562,044	

## 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	動画内容打合せ（5回）	92,500 円	5 人 × 1 h × 20 回 × 925 円
	動画制作（2話）	185,000 円	1 人 × 100 h × 2 回 × 925 円
	脚本制作（2話）	185,000 円	1 人 × 100 h × 2 回 × 925 円
	冊子内容打合せ	55,500 円	5 人 × 1 h × 12 回 × 925 円
	フライヤー・ポスター打合せ	23,125 円	5 人 × 1 h × 5 回 × 925 円
	合 計 (A)	541,125 円	

「食」と「コミュニケーション」  
によるつながりづくり事業

生きづらわーほりプロジェクト

## 活動状況報告書

1 事業名称 「食」と「コミュニケーション」によるつながりづくり事業

2 実施主体

■団体名： 生きづらわーほりプロジェクト

従事者数： 20人

団体概要： ひきこもり当事者など生きづらさを抱えた人が、孤立を解消し、生きづらさを和らげ、生き生きと暮らしていけるようにするため、下記の観点で一連の仕組みを設け、当事者一人ひとりの行動をアシストすることを目指して活動している。

- ・当事者が安心して過ごせる・話せる・参加できる場を多くつくる
- ・そのような場があることを当事者に伝える
- ・当事者が場に出ていきやすいようにサポートする
- ・場とつながった当事者を見守りフォローする

3 事業の実施内容 （事業毎に記載）

(1) 事業内容

①生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」「つたわりミニ」

日 付	作 業 内 容
4月24日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者7人（うちオンライン参加3人）
5月29日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人（うちオンライン参加1人）
6月26日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者4人（うちオンライン参加2人）
7月30日	イベント「つたわりミニ」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者8人（うちオンライン参加3人）
8月28日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者5人（うちオンライン参加2人）
9月25日	イベント「つたわりミニ」の開催 新松戸市民センター 参加者5人（うちオンライン参加3人）
10月30日	イベント「つたわり」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者5人（うちオンライン参加1人）



11月27日	イベント「つたわりミニ」の開催 馬橋東市民センター 参加者4人（うちオンライン参加2人）
12月25日	イベント「つたわりミニ」の開催 男女共同参画センターゆうまつど 参加者5人（うちオンライン参加2人）
1月29日	イベント「つたわりミニ」の開催 新松戸市民センター 参加者3人（うちオンライン参加1人）
2月26日	イベント「つたわり」の開催 新松戸市民センター 参加者1人（うちオンライン参加0人）
3月24日	イベント「つたわりミニ」の開催 男女共同参画センターゆうまつど 参加者5人（うちオンライン参加1人）

②たい肥づくり・ハーブ栽培によるつながりづくり

日付	作業内容
随時	口頭での告知 参加者0人

③食と健康講座

日付	作業内容
12月17日	イベント「食と健康講座」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者2人 講師：佐藤氏
3月21日	イベント「食と健康講座」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者1人 講師：佐藤氏

④コミュニケーションワークショップ

日付	作業内容
11月3日	イベント「コミュニケーションワークショップ（1日目 ボイストレーニング）」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者5人 講師：小林氏
11月23日	イベント「コミュニケーションワークショップ（2日目 コミュニケーション講座）」の開催 まつど市民活動サポートセンター 参加者7人 講師：宮原氏
3月12日	イベント「コミュニケーションワークショップ（1日目 ボイストレーニング）」の開催 明市民センター 参加者3人 講師：小林氏
3月26日	イベント「コミュニケーションワークショップ（2日目 コミュニケーション講座）」の開催 明市民センター 参加者4人 講師：宮原氏

## (2) 事業内容のふりかえり

①「つたわり」「つたわりミニ」については、計画通りの内容で4月から毎月1回の計12回開催しました。

「つたわり」「つたわりミニ」を実施するにあたっては、遠隔からでも参加できるようにオンライン会議（ZOOM）を並行して開催しました。

イベント行事用保険の手続き、活動紹介小冊子の作成については、運営体制面において想定していた人手が確保できなかったため対応できませんでした。

②「たい肥づくり・ハーブ栽培によるつながりづくり」については、口頭レベルでの告知にとどまってしまいました。運営体制面において想定していた人手が確保できず、十分な告知ができなかったため、計画通りに進めることができませんでした。

③「食と健康講座」については、依頼を予定していた講師が対応できなくなったため、スケジュールを変更して同一の講師が対応、計画通り2回開催しました。

④「コミュニケーションワークショップ」については、開催時期は計画より1か月後ろ倒しになりましたが、予定していた内容で開催しました。

## 4 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

・社会につながろうとするひきこもり当事者が増える。

【「つたわり」「つたわりミニ」参加人数 60人（各回平均5人）】

→結果：54人

【たい肥づくり・ハーブ栽培参加人数 15人】

→結果：0人

運営体制面において想定していた人手が確保できず、十分な告知ができなかったため、参加人数は目標に達しませんでした。「つたわり」「つたわりミニ」は定期的を開催することができたことで、新規に参加された当事者や久しぶりに参加された当事者などもおり、社会とのつながりを作る端緒として機能しました。

・当事者の社会参加に対する自信と行動する意欲を高める。

【食と健康講座参加人数 8人】

→結果：3人

【コミュニケーションワークショップ参加人数 計16人（各回平均8人）】

→結果：13人

運営体制面において想定していた人手が確保できず、十分な告知ができなかったため、参加人数は目標に達しませんでした。参加者からは非常にためになったと好評を得ることができ、当事者の自信や意欲を高めることにつながりました。

#### 5 今後の事業展開

団体の運営体制面を強化して、市内での活動をさらに広げていきます。  
地域における活動の基盤を作ることができているので、その上でさらに、地域の他の市民団体等との連携を広げて、ひきこもり当事者をサポートする新たな取り組みを行っていきます。

## 収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 38,868	¥ 32,565	¥ 6,303	
	「つたわり」「つたわりミニ」参加費	¥ 18,000	¥ 6,822	¥ 11,178	参加費 6,822円
	「食と健康講座」参加費	¥ 8,000	¥ 1,000	¥ 7,000	参加費 1,000円
	「コミュニケーションワークショップ」参加費	¥ 16,000	¥ 10,000	¥ 6,000	参加費 10,000円
	自己資金の合計(A)	¥ 80,868	¥ 50,387	¥ 30,481	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 210,477	¥ 89,523	←精算額
合計額(C) = (A+B)		¥ 380,868	¥ 260,864	¥ 120,004	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 150,000	¥ 150,000	¥ 0	外部講師謝礼 25,000円×1人×2回(食と健康講座) 外部講師謝礼 25,000円×2人×2回(コミュニケーションワークショップ)	
	消耗品費	¥ 58,860	¥ 25,777	¥ 33,083	キッチンペーパー 140円、台ふきん 208円(つたわり、食と健康講座)、洗剤、スポンジ 174円(つたわり、食と健康講座)、コップ 440円(つたわりミニ、コミュニケーションワークショップ)、タッパー 185円(食と健康講座)、食材 23,330円(つたわり、食と健康講座)、マーカー 1,020円(コミュニケーションワークショップ)、ボール 280円(コミュニケーションワークショップ)	
	食糧費	¥ 20,500	¥ 6,895	¥ 13,605	参加者用飲み物 237円(つたわり) 参加者用お茶菓子 5,327円(つたわりミニ) 参加者用お茶菓子 1,331円(コミュニケーションワークショップ)	
	印刷製本費	¥ 65,348	¥ 1,245	¥ 64,103	チラシコピー 765円(コミュニケーションワークショップ) 当日配布資料コピー 320円(食と健康講座) 当日配布資料コピー 160円(コミュニケーションワークショップ)	
	使用料および賃借料	¥ 54,120	¥ 49,947	¥ 4,173	会場使用料 3,520円(つたわりミニ まつど市民活動サポートセンター 会議室) 会場使用料 2,200円(つたわりミニ 新松戸市民センター 会議室) 会場使用料 1,800円(つたわりミニ 新松戸市民センター 和室) 会場使用料 1,800円(つたわりミニ 馬橋東市民センター 会議室) 会場使用料 2,560円(つたわりミニ 男女共同参画センター 会議室) 会場使用料 8,360円(つたわり、食と健康講座 まつど市民活動サポートセンター 調理室) 会場使用料 4,400円(つたわり 新松戸市民センター 料理教室) 会場使用料 6,600円(コミュニケーションワークショップ まつど市民活動サポートセンター 大会議室) 会場使用料 2,510円(コミュニケーションワークショップ 明市民センター 第2会議室) 会場使用料 2,920円(コミュニケーションワークショップ 明市民センター 第1会議室) オンライン会議使用料(ZOOMプロ 1ライセンス 年間使用料) 13,277円	
	保険料	¥ 5,040	¥ 0	¥ 5,040	イベント行事保険未使用	
	対象経費の合計(D)		¥ 348,828	¥ 233,864	¥ 114,964	
	(その他経費)	交通費	¥ 27,000	¥ 27,000	¥ 0	運営メンバーの交通費 5,400円(つたわり) 運営メンバーの交通費 10,800円(つたわりミニ) 運営メンバーの交通費 3,600円(食と健康講座) 運営メンバーの交通費 7,200円(コミュニケーションワークショップ)
		その他経費の合計額(E)	¥ 27,000	¥ 27,000	¥ 0	
	合計額(F) = (D+E)		¥ 375,828	¥ 260,864	¥ 114,964	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 89,523
------------	----------

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 32,565	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」「つたわりミニ」参加費	¥ 6,822	参加費設定なし×12回開催 延べ54人参加 (※参加費は参加者自身が設定する方式にて実施)
	「食と健康講座」参加費	¥ 1,000	500円×2人分
	「コミュニケーションワークショップ」参加費	¥ 10,000	1回参加者 600円×10人 2回参加者 1,000円×4人
	自己資金の合計額	¥ 50,387	
市	市民活動助成金	¥ 210,477	
合 計 額		¥ 260,864	

## 【支 出】

科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）		
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 150,000	小林千芳 25,000円×2回（コミュニケーションワークショップ 11/3、3/12） 宮原志帆 25,000円×2回（コミュニケーションワークショップ 11/23、3/26） 佐藤健太 25,000円×2回（食と健康講座 12/17、3/21）	
	消耗品費	¥ 25,777	キッチンペーパー140円、台ふきん 208円、洗剤 174円、コップ 440円、タッパー 185円、マーカー 1,020円、ボール 280円 「食と健康講座」用食材：12/17 5,855円、3/21 5,162円 「つたわり」用食材：8/28 5,449円、10/30 5,022円、2/26 1,842円	
	食糧費	¥ 6,895	「つたわり」参加者用飲み物代 10/30 116円、2/26 121円 「つたわりミニ」参加者用お茶菓子代 5/29 576円、6/26 717円、7/30 406円、9/25 704円、11/27 722円、12/25 833円、1/29 812円、3/24 557円 「コミュニケーションワークショップ」参加者用お茶菓子代 11/3 352円、3/12 254円、3/26 725円	
	印刷製本費	¥ 1,245	コピー代 10円×93枚=930円 5円×63枚=315円	
	使用料および賃借料	¥ 49,947	まつど市民活動サポートセンター 第1会議室/第2会議室（つたわりミニ） 4/24 220円×4時間=880円、5/29 220円×4時間=880円、6/26 220円×4時間=880円、7/30 220円×4時間=880円 新松戸市民センター 第2会議室（つたわりミニ） 9/25 540円×4時間=2,160円 設備使用料 10円×4時間=40円 新松戸市民センター 和室（つたわりミニ） 1/29 440円×4時間=1,760円 設備使用料 10円×4時間=40円 馬橋東市民センター 和室（つたわりミニ） 11/27 440円×4時間=1,760円 設備使用料 10円×4時間=40円 男女共同参画センター 多目的室1（つたわりミニ） 12/25 320円×4時間=1,280円、3/24 320円×4時間=1,280円 まつど市民活動サポートセンター 調理室 8/28 380円×5時間=1,900円（つたわり）、10/30 380円×5時間=1,900円（つたわり） 12/17 380円×6時間=2,280円（食と健康講座）、3/21 380円×6時間=2,280円（食と健康講座） 新松戸市民センター 料理教室（つたわり） 2/26 880円×5時間=4,400円 まつど市民活動サポートセンター 大会議室（コミュニケーションワークショップ） 11/3 660円×5時間=3,300円、11/23 660円×5時間=3,300円 明市民センター 第2会議室（コミュニケーションワークショップ） 3/12 440円×4時間+660円×1時間=2,420円 設備使用料 10円×5時間=50円 設備使用料 10円×4時間=40円 明市民センター 第1会議室（コミュニケーションワークショップ） 3/26 540円×4時間+760円×1時間=2,920円 オンライン会議 ZOOM 13,277円	
	対象経費の合計	¥ 233,864		
	その他経費	交通費	¥ 27,000	運営メンバーの交通費 つたわり 600円×9人=5,400円 つたわりミニ 600円×18人=10,800円 食と健康講座 600円×6人=3,600円 コミュニケーションワークショップ 600円×12人=7,200円
		その他経費の合計	¥ 27,000	
	合 計 額		¥ 260,864	



「まつどの介護」プロモーション事業

特定非営利活動法人 SmileResource

介護保険課

# 活動状況報告書

1 事業名称 「まつどの介護」プロモーション事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人 SmileResource

従事者数： 2人

団体概要： 当法人は、国民の超高齢化が増す近い将来に迫る介護離職の増大化を防ぐため、介護人材発掘及び就業・定着促進事業、仕事と介護の両立サポート事業や障がいの有無や世代に関わらず、その人が自立した生活を送ることをサポートする自立支援サポート事業等を実施し、介護離職0の社会づくりへの貢献と地域福祉の発展に寄与することを目的とし活動しております。

■事業担当課： 介護保険課

3 事業を実施する上での役割分担

■団体の役割

- ・動画制作における、企画・撮影・編集
- ・ボランティア（学生等）との連携

■担当課の役割

- ・総合企画（監修・市役所内の他課や介護系団体、学校等への紹介など）
- ・活動の市民などへの周知

4 事業の実施内容（事業毎に記載）

(1) 事業内容

市内の介護支援体制（行政・事業・市民活動等）をPV化し、松戸市公式サイトにアップロードするため、下記のスケジュールで作業を進めました。

日付	作業内容
4月8日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM 「まつどの介護」プロモーション事業動画制作内容など
4月18日	「まつどの介護」プロモーション事業 松戸向陽高等学校コラボレーション開始への打ち合わせ
4月21日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
5月2日	松戸向陽高等学校コラボレーション打ち合わせ（教員向け）
5月19日	松戸向陽高等学校ボランティア説明会



	*参加 10名
5月21日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
5月21日	小規模多機能型居宅介護事業所（小多機） 撮影 胡録台ケアガーデンわかば ボランティア5名
5月31日	松戸向陽高等学校コラボレーション打ち合わせ（教員向け）
5月31日	NPO スタッフ打ち合わせ
6月5日	看護小規模多機能型居宅介護事業所（看多機） 撮影 かえりえ河原塚 ボランティア 4名
6月7日	小規模多機能型居宅介護事業所 追加撮影 胡録台ケアガーデンわかば
6月9日～6月30日	動画制作・編集期間 *総編集時間（10H）小多機動画
6月28日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
6月30日	動画一般公開 河原塚中学校 生徒30名
7月5日	撮影企画・準備 定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所 みくに24ネット
7月6日	小規模多機能型居宅介護（小多機）動画をアップロード
7月8日～7月20日	動画制作・編集期間 *総編集時間 看多機動画
8月10日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
8月18日	NPO スタッフ、ボランティア打ち合わせ（ZOOM）
8月19日	看護小規模多機能型居宅介護（看多機）動画をアップロード
8月30日	介護フォーラム撮影打ち合わせ
9月5日	介護フォーラム撮影ボランティア打ち合わせ（学生）
9月9日	介護フォーラム撮影備品運搬
9月10日	介護フォーラム出展・撮影 ボランティア4名 *フォーラムブースとして事業紹介コーナーを設営しました。
9月12日～16日	動画制作・編集期間 *総編集時間 介護フォーラム
9月20日	NPO スタッフ、ボランティア打ち合わせ（ZOOM）
9月30日	後期撮影打ち合わせ 松戸向陽高等学校 学生10名
10月7日	NPO スタッフ撮影打ち合わせ（ZOOM） *短期入所生活介護/外国人スタッフ動画
10月20日	撮影企画・準備 短期入所生活介護事業 松寿園 ボランティア打ち合わせ（3人）
10月29日	短期入所生活介護事業所 撮影 松寿園 ボランティア 2名

10月30日～11月11日	動画制作・編集期間 *総編集時間 短期入所生活介護
11月5日	動画一般公開 根木内中学校 生徒30名
11月7日	ゆうまつどフェスタにて動画を紹介 *担当課のみで対応
11月11日	広報まつど介護保険特集号にて事業を紹介
11月14日	撮影企画・準備 外国人スタッフ紹介動画打ち合わせ なでしこ
11月14日	動画制作定例打合せ(ZOOM)
11月21日	NPOスタッフ撮影打ち合わせ (ZOOM) *外国人スタッフ動画
11月26日	外国人介護スタッフ 撮影 松寿園 ボランティア 3名
12月5日	短期入所生活介護動画 ナレーション撮り *ボランティア3名
12月14日	定期巡回随時対応型訪問介護看護動画 ナレーション撮り *ボランティア3名
12月21日	松戸市介護職員入門的研修にて動画を紹介 *担当課のみで対応
12月26日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
12月27日	短期入所生活介護(ショートステイ)動画をアップロード
12月28日	介護フォーラム動画をアップロード
12月27日～1月19日	介護職員永年勤続表彰動画制作
1月6日～	松戸ハローワークで動画放映開始
1月12日	介護職員永年勤続表彰動画インタビュー撮影
2月3日	松戸市介護職員永年勤続表彰動画をアップロード
2月9日	担当課 動画制作打ち合わせ ZOOM
2月10日	パートナー講座にて動画を紹介 *担当課のみで対応
2月13日	介護職員永年勤続表彰動画 編集修正 定期巡回随時対応型訪問介護看護動画 編集修正
2月21日	定期巡回型・随時訪問介護看護動画をアップロード
3月5日	外国人スタッフ紹介動画の編集修正
3月10日	外国人スタッフ紹介動画をアップロード

(2) 事業内容のふりかえり

今年度の事業も昨年同様にスタートから新型コロナウイルス感染拡大が大きな障壁となりました。予定していた活動が難しく特に施設系事業所内での撮影ができないことやボランティアさんらとの活動ができないことが多くありましたが、反面、松戸向陽高等学校とのコラボレーション動画などと新しい取り組みを行うことができた1年間でした。

予定していた動画作成数は達成できませんでしたが、1本1本を視聴者側が楽しんで見ていただけるような企画を入れた動画を制作してきました。

スケジュールについては、コロナ禍により撮影計画が大幅に変更されましたが、担当課との打ち合わせをこまめに行う事で随時修正しながら進められました。

今年は千葉県とNHK主催の介護フォーラムへ協力し、かつその動画も制作できました。

また松戸市介護職員永年勤続表彰動画の制作も行わせていただいています。

ZOOMの利用料については、WEB会議を多く開催していますが、ZOOM費用については自分達が普段使用しているアカウントで賄えると判断し、決算費用には計上しませんでした。

事業紹介ちらしの郵送先について

予定では140円×150箇所としていました。昨年度は各介護支援事業所へのチラシ郵送でしたが、今年度は幅広く、私どもの事業を知っていただきたく思い、松戸市内の一般企業様宛にチラシを郵送しています。

チラシを郵送した企業様はインターネット検索からランダムで選定。その結果、95社への郵送数となっています。郵便物の大きさも、25g以下84円のサイズで対応しています。

## 5 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

#### ① 介護保険サービスを種別ごとに5～10分程度のPVとして作成

目標 おおよそ30種別中14種別（8～10本程度）

結果 7本

#### ② 介護を学ぶ学生及び動画制作に興味ある学生ボランティアの参画

目標 年間5～10名を募集

結果 学生ボランティア 18名参加 \*他に一般ボランティア2名参加あり

千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科

#### ③ 完成したPVの上映会を開催 ゲッドユアドリームに参加

目標 1回

結果 2回

6月30日に河原塚中学校及び11月5日に根木内中学校の学生さん対象で開催しました。

#### ④ 事業の普及啓発

松戸市広報紙への掲載（介護の日）

事業紹介のチラシ郵送 市内一般企業人事担当者宛 95 件実施

ハローワーク松戸で動画放映が開始（1月6日から）

介護保険課パートナー講座（1回）

（課題）

事業計画として8～10本の動画制作を実施する計画でしたが、各施設、事業所でコロナ禍による感染予防対策が強化されたことで撮影が困難となりました。担当課と協議の上、できる範囲での動画撮影を実施しています。

来年度はコロナの分類が変更となり社会的には感染対策も緩和されるかとは思いますが、高齢者の多い介護事業所等への撮影のため、コロナ対策に配慮した活動が求められます。

年1回の上映会を開催することで高齢者の方に周知する計画を行っていましたが、上記同様にコロナ感染状況の悪化から高齢者向け試写会等の企画を進めることができませんでした。若者へは他法人が企画するイベントへ参加することでの上映会を2回実施できています。担当課の協力により、動画をハローワークで1月6日より放映してもらえることになりました。また市のパートナー講座でも参加者に視聴いただいています。

動画の周知を促進するために、上映できる場所、機会を増やすことが重要です。

学生ボランティアとの活動については初めての取り組みでした。学校側の教員とのこまめな打ち合わせによりコラボレーションしての活動ができ、昨年度の動画よりも1STEP 質の上があった動画をつくることができました。来年も継続して活動を予定しています。

担当課とだけの打ち合わせではなく学校側も含めた企画・準備が求められるため、引き続きこまめな活動が重要となってきます。

その他として動画の再生数を伸ばす取り組みとして、当法人のTwitter 及び Facebook、ホームページを通じての動画紹介や松戸市の広報誌による紹介（担当課企画）なども行っています。グループホーム動画については、9000 回の再生数がありますが、他の動画の視聴回数が伸びていません。

視聴回数を伸ばすための戦略を検討しなければなりません。

重要な課題です。

## 6 今後の事業展開

令和5年度へ向けて下記の展開を予定しています。

- ① 松戸向陽高等学校と連携した企画・撮影・編集など継続
- ② コロナ禍へ対応したWEBを活用した活動
- ③ 介護事業所の紹介動画以外の介護制度（取組）等を紹介する動画企画
- ④ より多くの市民へ動画を知ってもらう。広報活動

等

上記の活動を協力いただける若者達と手を取り、より松戸の介護を市民へわかりやすく伝えていく動画づくりを目指していきます。

## 収支決算書

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 244,200	¥ 246,050	¥ ▲1,850	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 29,300	¥ 25,883	¥ 3,417	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 29,300	¥ 25,883	¥ 3,417	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 263,700	¥ 187,398	¥ 76,302	← <b>精算額</b>
	合計額 (D) = (B + C)	¥ 293,000	¥ 213,281	¥ 79,719	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	使用料および賃借料	¥ 100,000	¥ 74,480	¥ 25,520	動画編集ソフト（ライセンス料） 8,480円/年 撮影機材カメラ（リース） 5,500円/12か月
	消耗品費	¥ 43,000	¥ 27,141	¥ 15,859	封筒 2,442円 アルコール 1,850円 SDカード 1,890円 他
	食糧費	¥ 16,000	¥ 7,652	¥ 8,348	撮影時のお茶・菓子代 ボランティア用） 7,652円
	印刷製本費	¥ 6,000	¥ 5,142	¥ 858	動画案内チラシM（1000部） 2490円 動画案内チラシA3（50部） 2652円
	通信運搬費	¥ 93,000	¥ 58,806	¥ 34,194	動画編集用インターネット利用料 4,621円/6ヶ月、4,620円/5ヶ月 郵便料 7,980円/95通
	委託料	¥ 35,000	¥ 35,000	¥ 0	チラシデザイン料 35,000円/1回
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (E)	¥ 293,000	¥ 208,221	¥ 84,779	
（その他） 対象外経費	通信運搬費		¥ 4,620	¥ ▲4,620	3月分インターネット利用料
	手数料		¥ 440	¥ ▲440	支払い証明書発行手数料
				¥ 0	
	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	¥ 5,060	¥ ▲5,060	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 293,000	¥ 213,281	¥ 79,719	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 76,302
------------	----------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 25,883	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 25,883	
市	松戸市負担金	¥ 187,398	
	合 計 額	¥ 213,281	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
負担金の 交付対象 経費	使用料および賃借料	¥ 74,480	動画編集ソフト（ライセンス料）及び撮影機材リース料 編集ソフト「パワーディレクター」年間使用料 8,480円 カメラリース 5,500円×12ヶ月
	消耗品費	¥ 27,141	クリアポケット 220円 封筒 2,442円 インク黒 1,850円 SDカード 1,890円×2個 スケッチブック 749円 アルコール 1,215円 他
	食糧費	¥ 7,652	撮影時のお茶・菓子代（ボランティア） 延べ21名分
	印刷製本費	¥ 5,142	広報用チラシ印刷代 「まつどの介護」プロモーション案内チラシの印刷代 A4サイズ 1000部 2,490円 A3サイズ 50分 2,652円
	通信運搬費	¥ 58,806	事業案内チラシ郵送 84円×95社（一般企業宛て） インターネット利用料 6ヶ月分×4,621円、5ヶ月分×4,620円
	委託料	¥ 35,000	「まつどの介護」プロモーション事業チラシデザイン 35,000円
		対象経費の合計	¥ 208,221
その他 経費	通信運搬費	¥ 4,620	3月分インターネット利用料
	手数料	¥ 440	支払い証明書発行手数料
		その他経費の合計	¥ 5,060
	合 計 額	¥ 213,281	

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×925円
	担当課打ち合わせ	16,650円	2人×1h×9回×925円
	向陽高校打ち合わせ	9,250円	2人×1h×5回×925円
	ボランティア説明会	3,700円	2人×2h×1回×925円
	撮影打ち合わせ（外国人）	5,550円	3人×1h×2回×925円
	撮影打ち合わせ（ショートステイ）	11,100円	2人×2h×3回×925円
	撮影打ち合わせ（フォーラム）	18,500円	2人×2h×5回×925円
	撮影（小規多機能）	18,500円	2人×5h×2回×925円
	撮影（看護多機能）	5,550円	2人×3h×1回×925円
	撮影（定期巡回）	14,800円	2人×4h×2回×925円
	撮影（永年勤続表彰）	5,550円	2人×3h×1回×925円
	NPOスタッフ打ち合わせ	38,850円	3人×2h×7回×925円
	編集	92,500円	2人×10h×5回×925円
	一般動画公開（学生）	5,550円	1人×3h×2回×925円
合 計（A）	246,050円		



冒険山開放に伴う見守り事業

冒険山開放委員会

## 活動状況報告書

- 1 事業名称 冒険山開放に伴う見守り事業  
 2 実施主体

■団体名： 冒険山開放委員会

従事者数： 18名

団体概要：

「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマに活動を始め、今年で4年目を迎えます。小金北小学校に設置されている遊具施設を開放し、その見守りが基本的な活動です。焼き芋の集いや新春凧揚げ大会などはイベントとして定着しました。活動メンバーは18名。

### (1) 事業内容

#### ①②小金北小学校冒険山見守り活動と各種体験広場の開催（年間活動）

日付	作業内容
2022 4.3～5.8	冒険山開放と見守り活動、体験広場実施 4回
2022 6.3	浅間公園にて体験広場を実施
2022 6.12～7.3	冒険山開放と見守り活動、体験広場実施 2回
2022 7.10	参議院議員選挙の為開放中止
2022 8.7～11.13	冒険山開放と見守り活動、体験広場実施 8回
2022 12.5、12.11	冒険山開放と見守り活動、体験広場実施 2回
2023 2.5～3.12	冒険山開放と見守り活動、体験広場実施 4回

#### ③焼き芋の集い

場所 中金杉浅間公園 参加者 110名

日付	作業内容
2022 10.9	焼き芋の集い打ち合わせを行う
2022 10.25	ポスター作成
2022 10.27	市民センター、近隣の自治会、町会の掲示板にポスターの掲示をはじめ、ラインを活用して子どもたちの団体に連絡をする
2022 11.6	使用材料、使用備品類の確認 凧、タコ糸など
2022 11.27	焼き芋の集い実施 場所 中金杉浅間公園 参加者 110名 ガールスカウト千葉県 26団より3名の方々の支援がありました。 公園内で菜の花会の指導によるグランドゴルフ教室、子どもソフトボールチームによるストラックアウトを実施する（景品の提供）

2022. 11. 27	焼き芋の集い開催 場所 中金杉浅間公園 参加者 110 名 焼き芋の配布のほか体験広場、ストラックアウト、グランドゴルフを実施 ガールスカウト千葉県 26 団より 3 名の方々の支援がありました。
--------------	---

④オンラインセミナー テーマ 子どもと遊び「成長を支える遊びの大切さ」

日 付	作 業 内 容
2022 9. 23	オンラインセミナーチラシ作成・校正
2022 10. 1	打ち合わせ（中金杉整理記念館） ポスターによる告知開始 ラインなどを活用
2022 10. 4	オンラインセミナーテスト開催 13：00～14：00
2022 10. 26 15：00～16：30	オンラインセミナー開催 テーマ 子どもと遊び「成長を支える遊びの大切さ」ZOOM 使用 講師 下正宗 医療法人東京勤労者医師会 東葛病院元院長 臨床検査医学 子育ての時代に小金学童保育、中金杉子ども会の運営に携わる。 参加者 4 名

⑤オンラインセミナー 講師 大久保俊樹先生  
準備が整わずに延期しました。

⑥ソーメン流し大会

ソーメン流しは感染症対策が難しいため、実施を断念いたしました。

⑦新春凧揚げ大会 令和 5 年 1 月 10 日 場所東洋学園大学グラウンド 参加者 27 名

日 付	作 業 内 容
2022 12. 1	ポスター作成
2022 12. 4	会場である東洋学園大学野球グラウンドに行き、会場使用許可と現場確認をする
2022 12. 5	市民センター、近隣の自治会、町会の掲示板に掲示をしたほか、ラインを活用して子どもたちの団体に連絡をする
2022 12. 26	凧揚げ大会打ち合わせ
2023 1. 7	打ち合わせ（中金杉整理記念館）
2023 1. 10	新春凧揚げ大会開催

場所 東洋学園大学グラウンド	参加者 27名
----------------	---------

⑧里山散策とザリガニ釣り大会場所 根木内歴史公園にて 参加者 19名

日付	作業内容
2022 4.3	根木内歴史公園現地確認、公園管理団体根っこの会の代表とお会いし8月28日の公園使用の承諾をいただく
2022 5.1	打ち合わせ（中金杉整理記念館）
2022 5.5	打ち合わせ（中金杉整理記念館）
2022 5.8	打ち合わせ（中金杉整理記念館）
2022 7.3	里山散策とザリガニ釣り大会の打ち合わせを実施する
2022 8.1	打ち合わせ（中金杉整理記念館） ポスターを近隣自治会の掲示板に掲示、ラインなどを活用し告知を幅広く行う。釣り竿の製作
2022 8.20	ザリガニ釣りの試し釣りを行う。使用材料、景品など準備
2022 8.26	里山散策とザリガニ釣り大会開催 場所 根木内歴史公園 参加者 19名 根木内歴史公園管理団体「根っこの会」様のご支援をいただきました。

(2)事業内容のふりかえり

引きつづきコロナ禍の影響を受けながらの開催になりましたが、事故もなく無事に終える事が出来て良かったです。

冒険山の開放と見守り活動については、相変わらず参加者が少なく残念でした。

体験広場としては、遊び道具を持参して浅間公園に出かけて、我々の活動のアピールをしました。参加した子どもたちは20名を越えて盛り上がりました。またイベントにおいては見守り活動のチラシを配布して宣伝にも努めました。

・オンラインセミナー

企画内容は良かったのですが、昨年同様参加者は4名と極めて少ない結果となりました。サッカークラブ、ソフトボールチーム、バスケットボールチームなどの団体にはラインを使って告知をしていただきました。100名以上の方々には内容は伝わったのですが、反応はほとんどありませんでした。反省すべき点を確認し来期ももう一度チャレンジします。

開催時間は遅くてもいいのかと思います。実施日 10月26日 テスト開催日 10月4日

・里山散策とザリガニ釣り大会

はじめての取り組みでしたが、雨の中でも参加者は19名でした。根木内歴史公園が地元からは少し離れていましたが、移動手段はバス組と歩き組（所要時間30分）を取り入れました。個人で58匹釣った子どもが最高でしたが、皆其々に釣り上げる楽しさを満喫してもらえたようで良かったです。景品として大漁賞と大物賞を用意。今回は参加者の居住エリアが中金杉、殿平賀、幸田、平賀、東平賀、根木内と広範囲になりました。

#### ・焼き芋の集い

焼き芋の集いの企画ではありましたが、事前に芋の苗植えと芋ほり体験会を行いました。

5月7日に27名の参加で苗の植え付けをし、10月9日の芋ほりを実施しました。芋ほりの前には二組（低学年と高学年）に分かれてサツマイモに関わる話を説明し理解を深めてもらいました。参加は35名。今年は豊作で収穫は100キロ以上になりました。

焼き芋の集いでは火起こし体験と薪割コーナーを設けました。火起こし体験はガールスカウト26団のご協力をいただきました。また公園の中では遊び道具を用意して遊び方の指導を行いました。ソフトボールチームのスマイリーズの方々にはストラックアウトを中金杉グランドゴルフ会のスマイルクラブにはグランドゴルフの御手伝いをしていただきました。また、ストラックアウトでは子ども達が楽しめるよう景品を用意しました。

昨年はやめていた公園内での飲食を今年は解禁して、温かいうちに食べてもらえたのは幸いでした。

#### ・新春凧揚げ大会

東洋学園大学のグランドをお借りして実施できましたのは有難い事でした。今年は参加者が少ない事もあって、子どもたちは思い切って走りまわっていました。風がなくても走れば凧は上がるので、子どもたちは満足そうでした。

#### 計画の変更について

オンラインセミナーについて準備態勢が整わず4回の予定が1回の開催となってしまいました。

焼き芋大会では、蒸かし済の焼き芋を温かいままで会場に送ってもらう必要があり、予算にはない通信運搬費を計上させていただきました。

ザリガニ釣り大会と焼き芋大会の景品の選定にあたっては、子ども達が親しめるよう駄菓子などもあったほうがよいとなり、景品に駄菓子も用意したため、食糧費を計上することになりました。

### (3) 事業成果について

#### ・目標の達成と課題の解決について

① イベントを強化することにより普段の開放日の参加者増加

目標：20名以上      結果：平均8名程度

参加者の増加はなくさらに検討をして増員を図ります。現状では一番の課題。

②見守り隊隊員の人員強化

目標：1回あたりの配置人数2~4名

結果：ほぼ予定の人員が確保でき、問題はありませんでした。

③オンラインセミナーの参加者

目標：30名

結果：4名

・オンラインセミナー

企画内容は良かったのですが、昨年同様参加者は4名と極めて少ない結果となりました。サッカークラブ、ソフトボールチーム、バスケットボールチームなどの団体にはラインを使って告知をしていただきました。100名以上の方々には内容は伝わったのですが、反応はほとんどありませんでした。反省すべき点を確認し来期ももう一度チャレンジします。

開催時間は遅くてもいいのかと思います。実施日 10月26日      テスト開催日 10月4日

・里山散策とザリガニ釣り大会

はじめての取り組みでしたが、雨の中でも参加者は19名でした。根木内歴史公園が地元からは少し離れていましたが、移動手段はバス組と歩き組（所要時間30分）を取り入れました。個人で58匹釣った子どもが最高でしたが、皆其々に釣り上げる楽しさを満喫してもらえたようで良かったです。大漁賞と大物賞を用意。今回は参加エリアが中金杉、殿平賀、幸田、平賀、東平賀、根木内と広範囲になりました。

・焼き芋の集い

焼き芋の集いの企画ではありましたが、事前に芋の苗植えと芋ほり体験会を行いました。5月7日に27名の参加で苗の植え付けをし、10月9日の芋ほりを実施しました。芋ほりの前には二組（低学年と高学年）に分かれてサツマイモに関わる話を説明し理解を深めてもらいました。参加は35名。今年は豊作で収穫は100キロ以上になりました。

焼き芋の集いでは火起こし体験と薪割コーナーを設けました。火起こし体験ははガールスカウト26団のご協力をいただきました。また公園の中では遊び道具を用意して遊び方の指導を行いました。ソフトボールチームのスマイリーズの方々にはストラックアウトを中金杉グランドゴルフ会のスマイルクラブにはグランドゴルフの御手伝いをしていただきました。昨年はやめていた公園内での飲食を今年は解禁して、温かいうちに食べてもらえたのは幸いでした。

・新春凧揚げ大会

東洋学園大学のグランドをお借りして実施できましたのは有難い事でした。今年は参加者が少ない事もあって、子どもたちは思い切って走りまわっていました。風がなくても走れば凧は上がるので、子どもたちは満足そうでした。

## 5 今後の事業展開

- ・子どもを取り巻く環境は益々厳しさを増しています。貴重な遊び場の提供とその見守りは重要が増してきました。「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマにこれからも年間行事の見守り活動に加え、焼き芋の集い、凧揚げ大会は実施いたします。こどもは自然から学び、遊びから学びます。そのための場づくりをさらに提案をまいります。
- ・オンラインセミナーはこれからも継続して企画します。動員メンバーの核になる団体とさらにコミュニケーションを深めるように、活動を継続してつながりをより深いものにしたいと思います。
- ・フェイスブックに冒険山開放委員会のホームページを作成しました。イベントの告知や活動報告などを掲載して、PR活動にさらに努めます。

## 令和4年度収支決算書

冒険山解放委員会

【収入】

(単位:円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 18,850	¥ 8,893	¥ 9,957	事業費の一部を団体の会計より拠出
	関係団体寄付金	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	近隣町会からの寄付金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 38,850	¥ 28,893	¥ 9,957	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 169,650	¥ 131,780	¥ 37,870	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 208,500	¥ 160,673	¥ 47,827	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 40,000	¥ 10,000	¥ 30,000	外部講師謝礼 下 正宗氏
	消耗品費	¥ 85,000	¥ 57,142	¥ 27,858	ザリガニ釣り大会 2,970 焼き芋の集い 31,019 凧あげ大会 20,075 インク代 3,078
	使用料及び賃借料	¥ 25,500	¥ 27,000	¥ ▲1,500	焼き芋機レンタル料 16,500 打合せ会場使用料 6回分 10,500
	印刷製本費	¥ 8,000	¥ 13,242	¥ ▲5,242	コピー代 パウチ代
	委託料	¥ 20,000	¥ 22,000	¥ ▲2,000	サツマイモ調理委託
	保険料	¥ 10,000	¥ 4,760	¥ 5,240	行事保険 焼き芋@3,640×1 凧あげ@1,120×1
	食糧費	¥ 0	¥ 1,279	¥ ▲1,279	ザリガニ釣り大会景品用駄菓子
	通信運搬費	¥ 0	¥ 11,000	¥ ▲11,000	調理済サツマイモ配送料
		対象経費の合計 (D)	¥ 188,500	¥ 146,423	¥ 53,077
(その他経費)	食糧費	¥ 20,000	¥ 14,250	¥ 5,750	昼食代1回 飲み物代2回
	その他経費の合計額 (E)	¥ 20,000	¥ 14,250	¥ 5,750	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 208,500	¥ 160,673	¥ 47,827	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 37,870
------------	----------



## 収支内訳書（令和4年度）

冒険山解放委員会

## 【収入】

（単位：円）

区分	科目	金額	
団体	団体拠出金	¥ 8,893	事業費の一部を団体の会計より拠出
	関係団体寄付金	¥ 20,000	近隣町会からの寄付金
	自己資金の合計額	¥ 28,893	
市	市民活動助成金	¥ 131,780	
合計額		¥ 160,673	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	講演会謝礼（外部講師 下 正宗氏）
	消耗品費	¥ 57,142	ザリガニ釣り大会 2,970（景品代 巾着袋200、手ぬぐい風タオル500、フラットポーチ200他6点） 焼き芋大会 31,019（芋代 20,000 木炭 2,195 ガスボンベ 3,000 画鋸 324 ストラックアウト賞品 バット×2 440、買い物バッグ110円、サウンドガン 110 他21点） 凧あげ大会 20,075 （ミニ凧、やっこ凧×35個 17,325 凧糸×25個 2,750） インク代 インク×3個 3,078
	使用料及び賃借料	¥ 27,000	打合せ会場使用料 10,500 中金杉青年館 1,800×4 2,400×1 900×1 焼き芋機レンタル16,500
	印刷製本費	¥ 13,242	コピー代 6,362 パウチ代 6,880
	委託料	¥ 22,000	サツマイモ調理委託 蒸気にて加熱処理
	保険料	¥ 4,760	行事保険 焼き芋@3,640×1 凧あげ@1,120×1
	食糧費	¥ 1,279	ザリガニ釣り大会 景品用駄菓子23点
	通信運搬費	¥ 11,000	調理済みサツマイモ配送料
	対象経費の合計	¥ 146,423	
その他経費	食糧費	¥ 14,250	昼食代1回 飲み物代2回
	その他経費の合計	¥ 14,250	
合計額		¥ 160,673	



金ヶ作歴史散策まっぷプロジェクト事業

金ヶ作歴史同好会

# 活動状況報告書

## 1 事業名称 金ヶ作歴史散策まっぷプロジェクト事業

## 2 実施主体

団体名： 金ヶ作歴史同好会

従事者数： 5人

団体概要：

本会は、金ヶ作を中心に地形や歴史を調査・整理して、自然やその歴史など地域の魅力を発信するとともに、次世代への伝承および会員相互の親睦を図ることを目的とする同好会である。

## 3 事業の実施内容（事業毎に記載）

### (1) 事業内容

#### 金ヶ作歴史散策まっぷの制作

地図を外注するのではなく“まっぷづくり”を通じて地域おこしにつながる多くの協力関係を築くこと。歴史事実を踏まえたまっぷにすること。松戸市域の中心部にある自然と文化と歴史の魅力を発信すること。散策コースは、子供からお年寄りまで楽しんでもらえるようにすることを意識しました。

その暮らしの中でその土地の歴史なら共有できるはず。できれば地域共生につながるひとつになって欲しい、そして未来につなげて欲しいと思い令和4年度市民活動助成事業で制作を始めました。

日付	作業内容
2022.3.26（土） （令和4年度事業に向けての準備）	14:00-16:00 まっぷづくり作業部会キックオフ（コミカフェChoshiYa） 主な議題：顔合わせと今後について、まっぷ制作環境、全体のデザイン、役割分担など、意見交換。 ・歴史事実を踏まえたまっぷにすること。 ・テーマ「森と文化と歴史」を特徴づけるまっぷにするには ・子供からお年寄りまで楽しんでもらえる散策コースとは
2022.4.9（土）	14:00-16:00 故郷を語る会への参加（門前町会集会所） この場を借りてまっぷづくりについての趣旨を説明する。故郷を語る会は、常盤平陣屋前町会、門前町会など「八柱をよくする会」を中心に八柱駅周辺地域の歴史を勉強する会である。
2022.4.23（土）	14:00-16:00 まっぷづくり作業部会（コミカフェChoshiYa） 主な議題：まっぷの割り付け、デザイン、調査項目、その他。 まっぷづくり作業部会は、協力者も加えた制作チームである。
2022.5.14（土）	10:30-16:00 令和3年度実施の成果報告会を傍聴（松戸市役所）中座 14:00-16:00 故郷を語る会への参加（門前町会集会所） 進捗報告、金ヶ作陣屋と周辺、四方石、御成道・鮮魚街道、その他。
2022.5.15（日）	オープンフォレスト・森の公開日 森と文化と歴史のテーマに沿って、八ヶ崎の森、囲いやまの森、野中の森、立切の森・三吉の森の代表者に挨拶まわり。

2022.5.21 (土)	14:00-17:15 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 主な議題：表紙イラストの検討、散策ルートのイントロダクション、その他。
2022.6.3 (金)	15:00-15:40 松戸市立博物館渡辺尚志新館長を表敬訪問 同席者：富澤学芸員、金ヶ作歴史同好会：堀井、飯沼、小山 まっぷづくりの主旨を説明して協力をお願いした。渡辺尚志（わたなべたかし）新館長は、一橋大学名誉教授であり、ご専門は日本近世史、村落史である。地域に根ざした研究や著書が数多くある。
2022.6.11 (土)	14:00-16:00 故郷を語るう会への参加（門前町会集会所） 進捗報告、門前八坂神社の石塔（四方石ほか）について、その他。
2022.6.17 (土)	11:40-12:40 田嶋昌治氏来訪（コミカフェChoshiYa） 「地域の歴史発見」-歩き聞き調べる-崙書房出版の著者である。
2022.6.18 (土)	14:00-16:30 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 主な議題：散策まっぷコースの検討（3コース）、表紙イラストの検討、その他。
2022.6.25 (土)	14:00-16:00 御立場ローカルサミット（コミカフェChoshiYa） 私ほか3名。まっぷづくり作業部会の関連で、ネット上の向こうにいる御立場を語る方々に向けてSNS経由で呼びかけた。
2022.6.26 (日)	11:30 JRA日本中央競馬会競馬学校K教師と野馬やアラビア馬について意見交換。（コミカフェChoshiYa） 解説記事と写真の提供を受ける。
2022.7.9 (土)	14:00-16:00 故郷を語るう会への参加（門前町会集会所） 集合写真贈呈、標柱や解説掲示板の提案、進捗報告、事業紹介パネル展示の件、パソコン未納の件、松戸飛行場無蓋掩体壕を解説、その他。
2022.7.16 (土)	14:00-17:00 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 4名 表紙イラスト案、散策ルート案、史跡等解説案、その他。
2022.8.12 (金)	常盤平陣屋前町会がホームページを作成するのに際して金ヶ作陣屋の解説文とイラストを提供した。
2022.8.20 (土)	14:00-17:00 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 市民自治課協働推進班（2名）訪問。 散策ルート3コース+白地図、まっぷ表紙イラスト、まっぷ裏面の位置まっぷと史跡等の解説案、その他。
2022.9.10 (土)	14:00-16:00 故郷を語るう会への参加（門前町会集会所） 進捗報告、行徳の歴史と町おこしを紹介、金ヶ作陣屋資料紹介。
2022.9.17 (土)	14:00-17:00 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 散策ルート3コース+白地図、まっぷ表紙イラスト、まっぷ裏面の位置まっぷと史跡等の解説案、その他。
2022.10.1 (土)	14:00-14:30 まっぷづくり作業部会(臨時) (コミカフェChoshiYa)
2022.10.8 (土)	14:00-16:00 故郷を語るう会への参加（門前町会集会所） 参加者15名 金ヶ作陣屋敷地図、ときわ平地区文化祭へのパネル展示への参加について。
2022.10.15 (土)	14:00-16:00 まっぷづくり作業部会 (コミカフェChoshiYa) 散策ルート初心者向け3コース+白地図、まっぷ表紙イラスト、まっぷ裏面史跡等の解説と写真、散策コースの試行など。

2022.10.23 (日)	10:00-16:00 第36回ときわ平地区文化会文化祭参加 第74回松戸市文化祭の一環「ときわ平地区文化会文化祭」への展示と解説 会場：松戸市常盤平市民センターホール 時間：10時～16時まで 内容：金ヶ作陣屋をメインにしたパネル展示とする。
2022.10.28 (金)	15:00-15:30 松戸市立博物館渡辺尚志館長に面会 >意見交換と協力をお願い 同席者：中山学芸員、林学芸員、金ヶ作歴史同好会：堀井、飯沼、小山
2022.11.12 (土)	14:00-16:00 故郷を語ろう会への参加（門前町会集会所） 金ヶ作陣屋屋敷。常盤平陣屋前町会ホームページへの協力報告。
2022.11.19 (土)	14:00-15:00 まっぷづくり作業部会（コミカフェChoshiYa） イラストについて
2022.12.10 (土)	14:00-16:00 故郷を語ろう会への参加（門前町会集会所） 金ヶ作陣屋屋敷の配置について
2022.12.17 (土)	14:00-16:30 まっぷづくり作業部会（コミカフェChoshiYa） いまだ地図画像編集用の Mac Studio 入荷なし。☞成果物の変更を決断 茶屋植田屋末裔来訪（オブザーバー参加）。 金ヶ作陣屋建物配置の話題、散策ルート初心者向け3コース+白地図、まっぷ 表紙イラスト、まっぷ裏面史跡等の解説と写真、散策コースの検証（試し歩 ぎ）1月実施3コース立案、その他。
2023.1.14 (土)	14:00-16:00 故郷を語ろう会への参加（門前町会集会所）
2023.1.21 (土)	9:30-12:00 散策コース案の検証 7名参加 ①徳川将軍御鹿狩と鮮魚街道を知ろう散策コース（初心者向け） コース：五香駅～野馬除土手（五香十字路）～御立場～鮮魚街道～子と清 水・子と清水貝塚～字池橋戸・門前公園（金ヶ作陣屋）～門前八坂神社～八 柱駅
2023.1.21 (土)	15:00-16:00 まっぷづくり作業部会（コミカフェChoshiYa） 散策コースの検証3コース、まっぷ表紙イラストチェック、まっぷ裏面史跡等 の解説と写真、タイトル表記とクレジット、その他。
2023.1.25 (水)	9:30-12:00 散策コース案の検証 6名参加 ②歴史と文化を感じる散策コース（初心者向け） 八柱駅～門前八坂神社～門前公園（金ヶ作陣屋）～陣屋溜～松戸市立博物 館～県立西部図書館・森のホール21（旧陸軍鉄道第二連隊演習線跡）～佐野 八坂神社～金ヶ作熊野神社～常盤平駅
2023.1.29 (日)	9:30-12:00 散策コース案の検証 8名参加 ③金ヶ作の自然と歴史を感じる散策コース（初心者向け） 常盤平駅～金ヶ作熊野神社～旧陸軍鉄道第二連隊演習線跡～野中の森・金ヶ 作育苗圃～囲いやまの森～祖光院～金ヶ作自然公園～立切の森・三吉の森～ 旧陸軍鉄道第二連隊演習線跡～分水嶺～野馬除土手（五香十字路）～五香駅
2023.2.11 (土)	14:00-16:00 故郷を語ろう会への参加（門前町会集会所）
2023.2.27 (月)	印刷所と打ち合わせ開始
	見積依頼

2023.3.11 (土)	14:00-16:00 故郷を語ろう会への参加 (門前町会集会所)
2023.3.20 (月) 前後	金ヶ作歴史同好会臨時総会のかわりに持ちまわりで対応。状況報告と配付先の決定を行う。印刷部数は600部とする。金ヶ作歴史同好会会員5×20部、常盤平陣屋前町会×50部、故郷を考える会×50部、松戸市立博物館×200部、予備×200部とする。予備分から広域向けにも配付予定とする。
	印刷所と印刷の際の中心線やノビの調整など検討。
2023.3.27 (月)	校正確認
2023.3.31 (金)	納品
	同日配付。令和4年度市民活動助成事業終了。

## (2)事業内容のふりかえり

今回の事業で大きく影響してしまったのは、中国のゼロコロナ政策・ロックダウンとロシアのウクライナ侵攻とは予想もしていなかった。事業予算には計上できないが、高解像度な地図情報の編集加工にはスペックの高いパソコン環境が必要になる。そのため、2022年4月14日に Apple社の Mac Studio という最新のパソコンを発注したのであるが、いまだに納品されない状況である。昨年の12月には成果物の変更を余儀なくされることになるが、そのため、古いiMac環境 (MacOS X バージョン) で作業をすることになってしまった。そのため予定していた Adobe Illustrator の環境が使えないことも含め、結果的に裏面・史跡等の解説と写真の部分については、総容量が重すぎて組み入れを断念せざるを得なかった。その部分の載せることができなかつたのは、本当に残念であった。

また、当初計画にはなかつたが、地図のテスト印刷をするために想定以上に消耗品を追加購入せざるを得なかつた。

スケジュール管理的には、企画書に従って、(1)地図制作、(2)地図デザイン (レイアウト、イラストを含む) の検討作業、(3)歴史的事実の再検討・洗い出し作業、(4)自然と地形および学術文化資源の検討作業、(5)写真や解説文の検討作業をまっぴづくり作業部会が中核となって進めることができた。現役の高校教諭が加わってくれたのも心強かつた。パソコン到着を待っていた時間ロスがあつて、そのことが印刷発注に遅れを生じさせた要因ではあるが、年度末で印刷所が混み合う中、なんとか年度内に仕上げ配布できたことは喜ばしい。事業内容の報告の中に記載しているが、常盤平陣屋前町会との協力関係も含め、他の関連団体や個人とのつながりができたことが次への糧となるであろう。

なお、まっぴづくり作業部会の会場は、代表が運営するコミュニティカフェChoshiYaを使用したため、使用料は、その他の経費 (対象外) として計上した。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

目標とした成果物、

「金ヶ作歴史散策まっぷ」A2サイズ、両面カラー印刷、四つ折り（A4仕上げ）。

600部印刷して松戸市立博物館など地域の関係機関・団体などに配布。

表紙イラスト。散策コースは初心者向け2時間程度の3コース。裏面は地形図。

散策まっぷの裏面に史跡等の写真と解説を盛り込めなかったことは想定外のことで残念であったが、地域の関係機関・団体や個人レベルでの地元関係者などと絆ができたということにおいては、当初の事業目的および課題は達成できたといえる。印刷部数が少ないので多くに配ることはできないが、松戸市立博物館のロビーにも置いてもらえそうである。

事業に関連して、常盤平陣屋前町会ホームページに挿絵や歴史解説で協力できたこと。第74回松戸市文化祭の第36回ときわ平地区文化会文化祭に地域史で参加出展したこと。歴史事実を明らかにしたことなどが挙げられる。とくに金ヶ作陣屋の敷地については、追跡調査の結果、具体的な所在地を特定できたこと。これはまっぷづくりに関連しての大きな成果となった。

この一年間を通して、歴史という題材で様々な方とつながることができた。そのことについては、門前町会ははじめ個人名は出さないが心から感謝を申し上げたい。

#### 5 今後の事業展開

令和4年度での事業は終了したが、むしろ地域の魅力を発信することも含めて「金ヶ作歴史散策まっぷ」の配布から、次の展開が始まるように感じる。高機能のパソコンが届けば、解説と写真も加えて第2版でリベンジしたいものである。教諭経験者も加わっているので、初等教育の教材レベルになれば理想的である。今回、史跡等の解説と写真を入れられなかった部分については、本会発足の原点でもあるブログ「ChoshiYaの金ヶ作史記」で補うことにしている。今回のまっぷづくりもここが発信元である。また、発展的に金ヶ作歴史同好会のFacebookページを用意することにしている。すでに先輩諸兄の活動実績がある中、これからも金ヶ作歴史同好会にご高配を願いたい。

松戸市域の中でこの地域の魅力や歴史をどう発信するかという点でも、本事業がきっかけで、今度は、21世紀の森と広場で4月29日（祝日）に開催される緑と花のフェスティバル2023の方に参加することになってしまった。「どうする金ヶ作陣屋」でパネル展示することになりそうである。ここの自然という点では、暮らしの中の共生空間「街中の自然」とすることに決めた。楽しくやりたい。



収支決算書

【収 入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 113,776	¥ 71,573	¥ 42,203	事業費の一部は団体の会計より拠出
				0	
				0	
				0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 113,776	¥ 71,573	¥ 42,203	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	0	←精算額
	合計額 (C) = (A + B)	¥ 213,776	¥ 171,573	¥ 42,203	

【支 出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の 交付 対象 経費	消耗品費	¥ 10,000	¥ 25,248	¥ ▲15,248	A4クリップボード¥330、プリンタ用インクカートリッジとガイド旗用プリントできる布¥7,360、ガイド棒¥1,000、ガイド棒用ハトメ・キット¥748、プリンタ用インクカートリッジ6,300円×2個、高画質用スーパーファイン紙とプリンタ用インクカートリッジ不足分(ライトシアン、マゼンダ) ¥3,210
	使用料及び賃借料	¥ 28,776	0	¥ 28,776	地図制作用ソフト Adobe Illustrator 1ライセンスプラン 28,776円/年。その他編集環境は既存のソフトと設備を利用する。
	委託料	¥ 30,000	¥ 30,000	0	金ヶ作歴史散策まっぷ表紙のイラスト作画代
	使用料及び賃借料	¥ 30,000	0	¥ 30,000	コミュニティカフェChoshiYaを使用のためその他経費として計上
	印刷製本費	¥ 100,000	¥ 92,055	¥ 7,945	金ヶ作歴史散策まっぷ(第1版) 600部 ¥91,300、勉強会配布資料コピー代 131枚 ¥755
	対象経費の合計(D)	¥ 198,776	¥ 147,303	¥ 51,473	
そ の 他 経 費 ・ 対 象 外	お茶代	¥ 15,000	0	0	
	消耗品費	0	¥ 5,720	¥ ▲5,720	SSD-USBメモリ250GB×5,720円
	印刷製本費		¥ 6,050	¥ ▲6,050	事業紹介パネル展示向けポスター¥4,400、ときわ平地区文化祭向けポスター¥1,650
	使用料及び賃借料	0	¥ 12,500	¥ ▲12,500	会議室使用料 @500×25時間=12,500円 まっぷづくり作業部会
	その他経費の合計額 (E)	¥ 15,000	¥ 24,270	¥ ▲9,270	
	合計額 (F) = (D + E)	¥ 213,776	¥ 171,573	¥ 42,203	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 00
-----	------

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 71,573	事業費の一部は団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 71,573	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 171,573	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	消耗品費	¥ 25,248	A4クリップボード（3個） ¥330、プリンタ用インクカートリッジ6色パックとガイド旗用プリントできる布A4サイズ ¥7,360、歴史散策のガイド棒¥1,000、ガイド棒用ハトメ・キット¥748、プリンタ用インクカートリッジ6,300円×2個、高画質用スーパーファイン紙とプリンタ用インクカートリッジ不足分（ライトシアン、マゼンダ） ¥3,210
	委託料	¥ 30,000	金ヶ作歴史散策まっぷ表紙のイラスト作画代
	印刷製本費	¥ 92,055	金ヶ作歴史散策まっぷ（第1版）の印刷 コート紙、A2サイズ、両面カラー印刷、4つ折り（A4） 600部 ¥91,300、勉強会向け配布資料コピー代131枚 ¥755
	対象経費の合計	¥ 147,303	
そ の 他 経 費	消耗品費	¥ 5,720	SSD-USBメモリ250GB×5,720円
	印刷製本費	¥ 6,050	事業紹介パネル展示向けポスター¥4,400、ときわ平地区文化祭向けポスター¥1,650
	使用料及び賃借料	¥ 12,500	会議室使用料 @500×25時間=12,500円 まっぷづくり作業部会
	その他経費の合計	¥ 24,270	
	合 計 額	¥ 171,573	

ぶどうの家 ふれあいコンサート・イベント事業

特定非営利活動法人 葡萄の家

## 活動状況報告書

1 事業名称      ぶどうの家 ふれあいコンサート・イベント事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人 葡萄の家

従事者数： 6人

団体概要： 当法人は、障がい者やその関係者の人たちに対して、障害者総合支援法に基づくグループホーム（共同生活援助）の設置運営事業や障害に関する人材育成、相談、普及啓発事業などの事業を行い、全ての人々が安心して普通に暮らせる社会づくりに寄与することを目的とする。

地域の人たちに楽しんでもらう企画を提供します。障がい者や子供、高齢者で遠くに行けない人たちに演奏会やイベントを開催します。

3 事業の実施内容      （事業毎に記載）

(1) 事業内容

① おもしろ実習教室の実施

日 付	作 業 内 容
4月7日	事業企画 打ち合わせ・・・コロナ禍の為、中止を検討
8月7日	開催できないか、講師の日本技術士会の方と相談したものの、コロナ収束の見通しがたたない為、多くの人たちが集まって、準備・製作をする事が難しいと判断。また、日本技術士会の方は、それぞれ個人での仕事もある為に、8月以外の日程は、難しいとの事なので、やむなく今年の「おもしろ実習教室」は中止とする事にしました。

② ふれあいコンサートの実施

日 付	作 業 内 容
4月1日	事業企画 打合せ
4月7日	会場予約 森のホール21 レセプションホール
7月15日	チラシ・パンフレットの企画及び作成      案内状の企画
7月28日	松戸市社会福祉協議会の後援が決定

8月3日	松戸市教育委員会の後援が決定
8月22日	月刊ハローにイベント記事を掲載
9月6日	案内状の作成
9月20日	朝日れすかPLUSにイベント記事を掲載
10月1日	広報まつどにイベント記事を掲載
10月22日	ふれあいコンサート開催 森のホール21 レセプションホール 演奏者：ジョーバン・バロック・アンサンブル 84名参加（招待 14名・一般70名） プログラムと共に、アンケートを配布

## (2) 事業内容のふりかえり

### ①おもしろ実習教室

講師の日本技術士会の方と相談し、コロナ収束の見通しがたたない為、多くの人たちが集まって、準備・製作をする事が難しいと判断し、今年の「おもしろ実習教室」は中止とする事にしました。日本技術士会の方は、それぞれ個人での仕事もある為に、8月以外の日程は、難しいとの事なので、やむなく中止にしました。

### ②ふれあいコンサート

柏市・流山市・市川市の広報へ記事の掲載依頼を出しましたが、その市でメインに活動している団体のイベントが優先的に掲載されるために、残念ながら選ばれませんでした。

演奏の始まる前に葡萄の家から、「障がいは、とっても身近な存在です。適切な支援があれば、とても過ごしやすくなります。」とアナウンスをしました。

養護学校や障がい者の作業所などに案内状を配り、障がい者、小学生以下、高齢者の方を30名の無料招待を計画していましたが、当日キャンセルなどもあり、無料招待は14名でした。

体の不自由な方も入りやすいように、段差のないフラットな会場を選びました。

全席自由席にしたので、来場した方が自分の好みの席に座れるようにしました。

レセプションホールでは、計画通りに進み、トラブルや混乱などは起きずに無事終了しました。

障がいのあるかたは、10人ほど来ていました。

一緒の空間で、同じ体験をした事で、障がいのあるなしに関係なく、お互いが身近な存在である事を理解していただいたと思います。

報償費については、出演者と内容を打ち合わせした結果、演奏者謝礼額が予算より一人あたり3,000円増額しました。

消耗品費について、おもしろ実習教室分は中止のため使用しませんでした。ふれあいコンサート実施にあたり、案内状を作成したほか感染対策が必要となったため、予算にはない体温計、ビニール手袋を購入しました。

アンケートの結果は、「気軽に参加出来て、良かった。」「近くで聞けたので、音色が味わえた。」「また、次回も聞きに行きたい。」などでした。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

##### ① おもしろ実習教室

中止になってしまったので、「1回の講座で50人を集める。1日3回の講座をひらく。」の目標は達成できませんでしたが、人気のイベントなので、開催すれば達成出来ると思います。

##### ② ふれあいコンサート

「1回の公演で、50人以上の来場者を目指す。」の目標は達成できました。

「障がいも一つの個性と理解してもらいたい。」の目的・課題は、演奏の始まる前に葡萄の家から、「障がいは、とっても身近な存在です。適切な支援があれば、とても過ごしやすくなります。」とアナウンスをしました。アナウンスが終わった時に、来場者の方々がおおきくうなずかれていたので、少しでも理解をしていただけたかなと思いました。

演奏終了後に楽器や奏者の方との間近に触れ合える時間を設けることで、沢山の方が楽しんでいる様子が見受けられました。障がい者と付き添いの方の参加もあり、障がいのあるなしに関係なく、身近な隣人の様に、皆さんそれぞれの方法で音楽を楽しまれていました。

#### 5 今後の事業展開

##### ① おもしろ実習教室

消毒・感染対策をしっかりして、コロナが収束する事を願いつつ、多くの方に科学工作の楽しさを体験してもらいます。

##### ② ふれあいコンサート

昨年までは、コロナ禍で外出制限などがある中開催し、100名の参加者が来場されましたが、今年は外出制限が緩くなり、私達のイベント以外にも様々なイベントが開催されたので、従来通りの広報では思ったような集客ができませんでした。このため、もう少し早めに、広報に取り掛かりたいと思います。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 9,544	¥ 1,572	¥ 7,972	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	友人・知人より寄付
	コンサート収入	¥ 70,000	¥ 70,000	¥ 0	チケット代 1,000円×70人 (無料招待14名含まず)
				¥ 0	
	自己資金の合計(A)	¥ 84,544	¥ 71,572	¥ 12,972	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額(C) = (A+B)	¥ 184,544	¥ 171,572	¥ 12,972	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 65,000	¥ 54,000	¥ 11,000	演奏者謝礼 18,000円×3人
	消耗品費	¥ 5,000	¥ 9,837	¥ ▲4,837	チラシ作成のインク・体温計・ビニール手袋
	印刷製本費	¥ 1,000	¥ 0	¥ 1,000	おもしろ実習教室 チラシ印刷 5円×200枚
	委託料	¥ 14,000	¥ 6,265	¥ 7,735	ふれあいコンサート チラシ・プログラムのデザインと製作、印刷を含む
	使用料及び賃借料	¥ 82,004	¥ 79,926	¥ 2,078	コンサート会場 77,924円×1回 森のホール レセプションホール・小会議室 / マイク音響貸出2,002円
	通信運搬費	¥ 5,040	¥ 3,544	¥ 1,496	案内状等
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 172,044	¥ 153,572	¥ 18,472	
(その他経費)	食糧費	¥ 5,000	¥ 9,000	¥ ▲4,000	会員の昼食代 1,500円×6人
	交通費	¥ 5,000	¥ 6,000	¥ ▲1,000	会員の交通費 1,000円×6人
	保険料	¥ 2,500	¥ 3,000	¥ ▲500	ボランティア活動保険 500円×6人
	その他経費の合計額(E)	¥ 12,500	¥ 18,000	¥ ▲5,500	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 184,544	¥ 171,572	¥ 12,972	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 1,572	事業費の一部を団体の会計より拠出
	コンサート収入	¥ 70,000	チケット代 1,000円×70人
	自己資金の合計額	¥ 71,572	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
合計額		¥ 171,572	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 54,000	演奏者謝礼 18,000円×3人
	消耗品費	¥ 9,837	チラシ作成のインク（ブラック：708円）（カラー：1944円） 非接触型体温計2本（5667円）・ビニール手袋50枚入り2箱（1518円）
	委託料	¥ 6,265	ふれあいコンサート チラシ・プログラムのデザインと製作、印刷を含む
	使用料及び賃借料	¥ 79,926	コンサート会場 森のホール レセプションホール・小会議室（77,924円） マイク音響、演奏用椅子貸出、持込器具電源料（2,002円）
	通信運搬費	¥ 3,544	案内状等の郵送費 33通
	対象経費の合計	¥ 153,572	
その他 経費	食糧費	¥ 9,000	会員の昼食代 1,500円×6人
	交通費	¥ 6,000	会員の交通費 1,000円×6人
	保険料	¥ 3,000	ボランティア活動保険 500円×6人
	その他経費の合計	¥ 18,000	
計 額		¥ 171,572	



四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

小金原みんなでわくわくする会

## 活動状況報告書

1 事業名称 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業

2 実施主体

■団体名： 小金原みんなでわくわくする会

従事者数： 10名

団体概要： 本会は、次に掲げる活動を行うことにより、地域における身近な課題を住民の意思に基づき自主的に解決し、もって良好な地域社会の維持及び地域の発展に資することを目的とする。

- 1) 四世代全員参加の地域活動を通じた「ありがとう！」の街づくり
- 2) 現在の地域活動を SDGs 観点から整理、推進すること
- 3) 地域の SWOT (強み弱み) 分析による活動の絞り込み

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

1) SDGs の理解と現活動の整理・進化

① 外部講師を招いて「SDGs x 地域活動」をテーマとした勉強会を実施

日付	作業内容
2月3日	SDGs 勉強会講師の選定・依頼 (R4 年度事業の準備として R3 年度中に団体独自で実施)
5月4日	SDGs 勉強会開催案内の配布 (三丁目町会役員) 及びポスター掲示
6月12日	SDGs ビューティフル松戸参観
6月18日	第1回 SDGS 勉強会 (18名参加)、外部講師
9月10日	第2回 SDGS 勉強会 (13名参加)、外部講師
11月19日	第3回 SDGS 勉強会 (10名参加) SWOT 分析発表、外部講師
2月25日	第4回 SDGS 勉強会 (11名参加) SWOT の項目整理と活動テーマ選定、外部講師

② SDGs3、11 項に関係した地域活動を見直すワークショップの実施

日付	作業内容
4月2日、5月22日	ごみ箱清掃整理及び不適合ごみの警告ラベル作成
5月29日	バーベキュー大会支援 受付、除菌対応
6月、8月	ごみ箱アンケート調査及びごみ箱清掃用具設置 ・アンケートとその結果分析の説明を通して、ごみ管理は住民であることの認識を明確化した。

8月2日	市民活動事業紹介用パネルポスター作成
10月3日	グリーンスローモビリティ試乗講習会参加、運転資格取得
2月11日～20日	「敬老の集い」準備打合せ、冊子の作成
2月26日	三丁目「敬老の集い」演奏者調整、受付、除菌対応等 ・閉会后、「シニア世代」だけの催しは町会全体のあり方として見直し、各世代を集めた合同の催しを進めることを計画する。

## 2) 町内会の SWOT (強み弱み) 分析作成による活動マトリックス

日付	作業内容
11月19日 および 2月25日	①SWOT 分析勉強会：第3回 SDGs 勉強会で実施 ②全世代を入れて、町内会の良い点、悪い点を書き出す：2グループに分けてブレインストーミングを行い、意見抽出 ③各項目を整理し、活動テーマを4項目に絞る i. グリスロの活用化 (SDGs 3, 11)、 ii. 高齢者対策 (SDGs 11) iii. 生ごみたい肥活用化 (SDGs 7, 11, 12)、 iv. 町会館の活用化 (SDGs 11,)
3月5日	SWOT 分析結果の説明と4項目に絞って具体的活動を進めることを小金原3丁目町会の会議にて住民34名に対し、発表した。

### (2) 事業内容のふりかえり

<p>1) ①・講師選定の経緯：他団体が実施する SDGs の勉強会に出席した際に懇切、判り易い発表で、グローバルな活動をされており、松戸市在住の先生なので、身近な市民活動の共有化が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初 SDGs といっても横文字は判らない (!) というアレルギーから始まったが、SDGs の勉強会を合計4回開催により、SDGs に対する理解は、ある程度浸透した。</li> <li>・しかしながら、参加者が13名前後と残念ながら、広まっていない。若年層の参加も期待しているが、今のところ限定的。</li> </ul> <p>②・町内会活動の支援として、バーベキュー大会、ごみ箱の美化整頓、「敬老の集い」冊子準備、受付、除菌対策等は、上手く連携できた。ごみ分別の徹底については、SDDs 11, 12 の活動の原点として、意識付けができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ箱の管理については、アンケートの結果、「ごみ箱は、市が管理するもの」と誤解している方も多く、市はごみの運搬はするが、ごみ箱は町会費で準備したもので、ごみの仕分け、整頓管理は、町会、住民の仕事・義務であることを6月の町会で説明し、認識してもらった。</li> </ul> <p>2) ・SDGs 活動は各市町村レベルで始まっているが、多くの住民は SDGs という言葉すら知らないことが判明し、その基本理解に時間を要した。そのため、小金原地区の SWOT</p>
--

分析と、具体的活動テーマ設定まではできたが、活動体制の具体化は次年度に持ち越した。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

1. SDGs の趣旨と概要については理解できた。勉強会参加者（平均）：構成員 8/10 名、地域住民 5/50 名
2. SDGs 勉強会開催案内、ごみ箱整理、アンケート結果について小金原地区掲示板 4ヶ所掲示、町会役員・本部役員に説明し、合計 46 名（内訳：構成員 10 名、住人 36 名）にアンケート結果配布。
3. SWOT 分析手法を使って、地域の強み・弱みを分析・整理した（勉強会参加者（平均）：構成員 8/10 名、地域住民 5/50 名）。
4. SWOT 分析結果について、町会役員・本部役員合計 46 名（内訳：構成員 10 名、住人 36 名）に対し、説明および配布。
5. SWOT 分析結果から立案した具体的改善活動は、未着手。四世代の参画を目指しているが、若年層の取込みができていないため、その仕組みつくりと PR 強化について、次年度画策する。
6. 若年層にとって“地域活動は、親やシニアがやるもの”、という認識で、参画意識が低く、また、その機会も限定的である。今後、若年層も参加する世代交流音楽会（仮称）等催し時に PR 活動をし、SWOT による活動テーマ 4 項目の浸透を図る。

#### 5 今後の事業展開

- 1) SWOT 分析から具体的活動テーマのリーダー選任（23 年度第 1 回 5/21 勉強会）
- 2) 改善テーマ活動計画の作成（目標・成果、予算、日程）と実行（23 年度第 2 回 5 勉強会）  
防災センター見学会(23/8)、小学生、高齢者も入れた世代交流音楽会（仮称）を計画し、SDGs 活動 PR による若年層の取込を図る。
- 3) 小金原在住学生の取込。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 47,095	¥ 12,905	事業費の一部を団体会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 60,000	¥ 47,095	¥ 12,905	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 80,869	¥ 19,131	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 160,000	¥ 127,964	¥ 32,036	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	¥ 80,000	¥ 0	外部講師謝礼：80,000
	消耗品費	¥ 11,240	¥ 9,855	¥ 1,385	インクカートリッジ：4,146 コピー用紙：3,399 ボールペン他文具：2,310
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	プリンターにて作成
	使用料及び賃借料	¥ 20,760	¥ 0	¥ 20,760	
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 132,000	¥ 89,855	¥ 42,145	
(その他) 経費	食糧費	¥ 28,000	¥ 12,460	¥ 15,540	参加者お茶代：12,460
	報償費	¥ 0	¥ 20,000	¥ ▲20,000	外部講師謝礼 (自己負担分)
	使用料及び賃賃料		¥ 5,649	¥ ▲5,649	会場使用料：5,628、延長コード使用料：21
	その他経費の合計額 (E)	¥ 28,000	¥ 38,109	¥ ▲10,109	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 160,000	¥ 127,964	¥ 32,036	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 19,131
------------	----------

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 47,095	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 47,095	
市	市民活動助成金	¥ 80,869	
	合 計 額	¥ 127,964	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 80,000	講師謝礼 佐藤秀樹先生：20,000x4回（交付対象分）
	消耗品費	¥ 9,855	コピー用インクカートリッジ：2,166、1,980 ボールペン、模造紙、マジックペン他：2,090、220 コピー用紙(両面用A4 2500枚)：3,399
	対象経費の合計	¥ 89,855	
その他経費	食糧費	¥ 12,460	参加者お茶代 第1回SDGs勉強会：2,177 第2回SDGs勉強会：2,177 第3回SDGs勉強会：2,540 第4回SDGs勉強会：2,540 推進打合せ：2,021、1,005
	報償費	¥ 20,000	外部講師謝礼（自己負担分）
	使用料及び賃借料	¥ 5,649	小金原市民センター使用料 第1回SDGs勉強会：1,666 第2回SDGs勉強会：1,666 第3回SDGs勉強会：2,296 機材使用料 延長コード：21
	その他経費の合計	¥ 38,109	
	合 計 額	¥ 127,964	

みんなで育て、みんなで作る  
沿道での食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

## 活動状況報告書

1 事業名称            みんなで育て、みんなで作る 沿道での食べられる景観事業

2 実施主体

■団体名： エディブルウェイプロジェクトチーム

従事者数： 15名

団体概要： 沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりをし、収穫物を使った共食活動やものづくり活動を行うことで、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。

3 事業の実施内容 （事業毎に記載）

(1) 事業内容

① プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動（4-5月・9-10月）

日 付	作 業 内 容
4/5	活動に関する打ち合わせ（千葉大学）
4/20	参加者への植え替え案内・今後の活動に関するアンケート（メール、ポスティング・郵送回収）
4/23	講座・植え替え打ち合わせ、シルクスクリーン作業（メンバー宅）
5/4	新規参加希望者へ既存プランター配達
5/15	苗植え講座・タネ苗配布会・植え替え活動実施 講師：佐々木佑典氏 参加者：講座8名・タネ苗配布会22名（松戸三丁目東自治会館）
7/18	まつど市民活動サポートセンターLet's 体験マッチング会参加
9/3	植え替え活動・タネ苗配布交換会の打ち合わせ（松戸市民会館）
9/7	参加者への植え替え案内・意向アンケート（メール、ポスティング・郵送回収）
9/23	植え替え活動・タネ苗配布交換会・クラフト修理会実施、Let's 体験（青少年向けボランティア体験講座）受け入れ 参加者：タネ苗配布交換会18名・ボランティア8名（松戸三丁目東自治会館）
3/7	苗植え講座企画打ち合わせ（講師拠点）

② 子ども向けクラフトワークショップの開催（6・11月）

日 付	作 業 内 容
10/22	ワークショップ企画打ち合わせ（講師拠点）
11/10-30	チラシ作成、チラシポスティング、掲示板への掲示、店舗・施設配架依頼、子供会・エディブルウェイ LINE グループへの配信



12/17	クラフトワークショップ実施、講師：林（渡辺）瑠璃氏、参加者：11名（岩瀬自治会館）
1/3	ワークショップ・展示企画打ち合わせ（こでまり）
1/10-16	チラシ作成、チラシポスティング、掲示板への掲示、店舗配架依頼、子供会・エディブルウェイ LINE グループへの配信
2/18	クラフトワークショップ実施、講師：林（渡辺）瑠璃氏、参加者：8名（こでまり）
2/21-3/8	クラフト作品、プロジェクト展示（こでまり）
2/21-25	お話会にむけた紙芝居作成
2/26	お話会 参加者：6名（こでまり）
3/9	クラフト作品展示 撤収（こでまり）

### ③ ハーブクラフト講座（7・12月）

日 付	作 業 内 容
7/8	10月企画打ち合わせ（講師サロン）
9/1	1月企画打ち合わせ（千葉大学）
9/2-9/10	チラシ作成、チラシポスティング、掲示板への掲示、店舗配架依頼、子供会・エディブルウェイ LINE グループへの配信
10/2	ハーブクラフト講座（アロマバーム）実施、講師：渡辺直子氏、参加者10名（松戸三丁目東自治会館）
12/26-1/3	チラシ作成、チラシポスティング、掲示板への掲示、店舗配架依頼、子供会・エディブルウェイ LINE グループへの配信
1/7	講座打ち合わせ（松戸市民会館）
1/22	ハーブクラフト講座（ハーブスワッグ）実施、講師：東山早智子氏、参加者10名（松戸市民会館）

### ④ 情報発信

日 付	作 業 内 容
4/18-25、7/18-25、10/24-31、1/23-30	みどりの回廊通信（千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループが発行する瓦版）作成
5/2、8/1、11/7、2/6	みどりの回廊通信発行 配布、Facebook 配信

### ⑤ アウトプット作成

日 付	作 業 内 容
1/7	編集会議（松戸市民会館）
2/1-3/20	冊子の作成、編集、印刷
3/25-26	参加者へポスティング、関心のある方への配布開始

## (2) 事業内容のふりかえり

・計画した事業内容について、①4-5月の講座開催・植え替え活動は、実施しましたが、9-10月は、講師依頼の調整ができず、講座を実施せず、運営メンバーで植え替えの方法をデモンストレーションしました。また、計画時は、オンライン参加の希望があり、会場・オンラインのハイブリッド開催を予定しておりましたが、ニーズがなかったこと、会場設定が困難であったことから、会場での開催としました。

・②、③のワークショップは、②6・11月→12・2月、③7・12月→10・1月とスケジュールを変更して実施しました。スケジュール変更となった理由としては、予定していた講師と打ち合わせの中で、実施内容や、時期について調整がつかず、今年度の依頼を断念し、改めて別の講師を探し、再調整する流れで、スケジュール変更となりました。外部講師を依頼することが団体として初の試みで、依頼したい候補はあげていましたが、想定より時間がかかりました。来年度は、この経験を活かして、スケジュール通りに実施できるように取り組みたいと思います。また、予算では、材料費を一人あたり500円程度としていましたが、講師とワークショップ内容について相談したところ、材料費が想定よりかかることがわかったため、消耗品費が計画時より増えており、ワークショップの参加費も材料費に合わせた金額に設定変更しています。また、ワークショップの作業として、素材を貼る、束ねる、まぜる内容で、刃物や怪我の恐れがある作業は発生しなかったため、保険には加入しませんでした。

・②子ども向けクラフトワークショップ(2月)について、絵本をテーマにしたスペース「こでまり」(2017年より、エディブルウェイの栽培活動に参加している方が運営)で実施することになり、ワークショップでつくる作品の展示、エディブルウェイに関連する野菜や園芸活動、みどりのまちづくりをテーマにした絵本の読み聞かせをするお話会を開催することに発展しました。これまでの子ども向けワークショップでは、プロジェクトの説明はしていましたが、クラフトづくりがメインとなっており、参加する子どもたちへ、もっとプロジェクトの理解を深め、親しんでもらえたらという思いがありました。お話会では、エディブルウェイの説明を紙芝居にしたものと関連絵本の読み聞かせをしました。結果、お話会に参加した2組の親子が栽培活動へ興味を示し、来年度からの参加を希望されました。今後も、絵本からプロジェクトへの関心につなげるため、関連絵本を購入し、こでまりにて、常設することになりました。

・④千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループで発行する瓦版が、毎月発行から季刊(5・8・11・2月)に変更となりましたが、掲載を実施しました。千葉大学生協、学生ホール、ラ・マシア、ルウアンタイ、クリーニングミュキ、片付け本舗、こでまり各所で配布、Facebook、LINEオープンチャットで配信しました。

・⑤これまでの活動内容をまとめた冊子を作成し、各活動の参加者、地域住民や食べられる景観づくりに関心のある市民に共有し、身近な地域環境づくりの啓蒙活動につなげました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

・沿道プランター栽培の参加者が10世帯（目標10世帯）増え、目標を達成できました。そのうちの1世帯は、マンション自治会での参加で、沿道から見える駐車場にプランターを置いて、子育て5家族とシニア2家族で協力して栽培活動をしており、新たな参加形態で、今後の世代交流の活動が期待できます。今年度新しく設けたサポーター会員（ベランダ栽培で、菜園活動のSNSでの発信、沿道の高齢者参加者の植え替えやイベントに協力）としては、0世帯（目標15世帯）で、目標は達成できませんでしたが、沿道での参加者で、SNSでの発信の協力、植え替えのサポートに参加してくれる方がおり、サポーター会員としての枠組みである必要はないのかもしれないかもしれません。また、2月の子ども向けワークショップで栽培に興味を持った参加者市内6世帯へプランターを提供し、4月からの栽培に参加していただきます。

・講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招いたことで、講座の内容が充実しました。ハーブクラフト講座では、クラフトを作るだけでなく、生活の中で、気軽にハーブを使うポイントを教えていただき、学びが多くあるとともに、栽培活動への意欲にもつながりました。また、プロジェクト対象である松戸駅周辺地域以外の松戸市内の地域からも参加があり、プロジェクトを市内の他の地域の方にも知っていただくきっかけとなりました。

・9月の植え替え活動は、苗タネの配布だけではなく、交換会という形をとりました。家に余っているタネや、ハーブの挿し穂、増えた苗などを持ってきてくれる参加者が6名いて、助成金がなくなったあとの継続性に貢献できる取り組みができたと思います。交換会は、参加者同士の交流にもなりました。

#### 5 今後の事業展開

・沿道での新規参加者の参加のきっかけは、昨年度の情報発信に加え、既存の参加者の誘いや、紹介によるものでした。参加の輪が広がるためには、外への情報発信とともに、参加者の既存のつながりが重要であることを実感しました。

・来年度より、自立的な活動運営のために、各家庭で育てたタネや苗の配布・交換会を開催し、お金をかけずに活動を継続する仕組みづくりを計画しています。9月の植え替え活動は、配布・交換会という形で試行しました。タネなどを持ち寄って分け合う以上に、植物に関する知識やエピソードで話が盛り上がり、参加者同士の交流のきっかけやつながりづくりとしても期待できると実感しました。

・各講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招くことで、景観づくりとしても、学びの場づくりとしても、より充実した講座を提供し、地域に知識や技術を蓄積し、プロジェクトの継続性につなげたいと考えています。

・こでまりさんの協力により、ワークショップで作った作品の展示、絵本の読み聞かせや、エディブルウェイ紙芝居のお話会への発展がありました。子どもたちが、景観づくりや栽培活動に楽しく参加できるしかけも引き続き検討していきたいと考えています。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 13,540	¥ 11,948	¥ 1,592	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント(WS・講座)参加費	¥ 60,000	¥ 57,500	¥ 2,500	5/15 講座参加者7名 500円*8人 10/2 講座参加者10名 1500円*10人 12/17 ワークショップ参加者11名 1500円*11人 1/22 講座参加者10名 1000円*10人 2/18 ワークショップ参加者11名 1500円*8人
	自己資金の合計(A)	¥ 73,540	¥ 69,448	¥ 4,092	
市	市民活動助成金(B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
合計額(C) = (A+B)		¥ 373,540	¥ 369,448	¥ 4,092	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ 75,000	¥ 15,000	外部講師謝礼 15000円*5回
	消耗品費	¥ 143,300	¥ 169,791	¥ ▲26,491	・シルクスクリーン版5枚組 3850円、インク100g 1799円*2個 ・種(サラダミックス217円*3、マリーゴールド162円*3、千日紅159円*2)、トレイ483円*6、ポット536円*4個) ・関連絵本(6冊8580円) 他
	使用料及び賃借料	¥ 25,200	¥ 5,800	¥ 19,400	会場使用料 ・松戸三丁目東自治会館 400円*2時間 他
	食糧費	¥ 12,600	¥ 4,175	¥ 8,425	参加者(18名)お茶お菓子代 860円 参加者お茶代(10名) 972円 他
	通信運搬費	¥ 4,200	¥ 4,410	¥ ▲210	アンケート回収用切手 84円*30人、63円*30人
	印刷製本費	¥ 62,000	¥ 76,570	¥ ▲14,570	瓦版印刷代1050円*2回、1110円*2回(A4カラー両面100枚) 冊子 137.38円*500部(A5 20ページカラー) 他
	保険料	¥ 2,240	¥ 0	¥ 2,240	
				¥ 0	
		対象経費の合計(D)	¥ 339,540	¥ 335,746	¥ 3,794
(その他経費)	お弁当代	¥ 12,000	¥ 8,600	¥ 3,400	5/15 サポートスタッフお弁当(500円*6個) 9/26 サポートスタッフ・ボランティアお弁当(400円*14個) □
	交通費	¥ 17,000	¥ 17,454	¥ ▲454	・学生スタッフ講座当日交通費(314円*1人+1360円*1人)×6回 他
	使用料及び賃借料	¥ 5,000	¥ 7,648	¥ ▲2,648	・ホームページサーバーレンタル年間 3960円 ・ホームページドメイン年間 1848円 他
	その他経費の合計額(E)	¥ 34,000	¥ 33,702	¥ 298	
合計額(F) = (D+E)		¥ 373,540	¥ 369,448	¥ 4,092	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 11,948	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント(WS・講座)参加費	¥ 57,500	5/15 講座参加者7名 500円*8人 10/2 講座参加者10名 1500円*10人 12/17 ワークショップ参加者11名 1500円*11人 1/22 講座参加者10名 1000円*10人 2/18 ワークショップ参加者11名 1500円*8人
	自己資金の合計額	¥ 69,448	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
	合 計 額	¥ 369,448	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 75,000	講師謝礼 佐々木佑典氏 15,000円*1回 渡辺直子氏 15,000円*1回 林(渡辺) 瑠璃氏 15,000円*2回 東山早智子氏 15,000円*1回
	消耗品費	¥ 169,791	事業用消耗品 ・シルクスクリーン(スクリーン版5枚組 3850円、インク100g 1799円*2個) ・種(サラダミックス217円*3、マリーゴールド162円*3、千日紅159円*2、トレイ483円*6、ポット536円*4個) ・クラフト用具(こどもハサミ318円*5、左利きハサミ354円*1) ・関連絵本(6冊8580円) 他
	使用料及び賃借料	¥ 5,800	会場使用料 5/15 苗植え講座・タネ苗配布会 松戸三丁目東自治会館 400円*2時間 9/23 タネ苗配布交換会 松戸三丁目東自治会館 800円*2時間 10/2 ハーブクラフト講座 松戸三丁目東自治会館 400円*1時間 12/17 ワークショップ 岩瀬自治会館 1000円*3時間
	食糧費	¥ 4,175	9/23 参加者お茶お菓子代 860円 10/2 参加者お茶代 972円 12/17 参加者お茶お菓子代 1475円 1/22 参加者お茶代 868円
	通信運搬費	¥ 4,410	アンケート回収用 84円*30件(4月)、63円*30件(9月)
	印刷製本費	¥ 76,570	瓦版印刷代4・7月 1050円*2回(A4カラー両面100枚) 瓦版印刷代10・1月 1110円*2回(A4カラー両面100枚) 講座・活動広報 1510円(A4カラー両面100枚) アウトプット冊子137.38円*500部(A5 20ページ) 活動、講座参加者配布用(100部)、希望者配布用(100部)、地域住民配布用(100部)、市内イベント配布用(200部) 他
	対象経費の合計	¥ 335,746	
	その他経費	お弁当代	¥ 8,600
使用料及び賃借料		¥ 7,648	・ホームページサーバーレンタル年間 3960円 ・ホームページドメイン年間 1848円 ・9/3 松戸市民会館 240円*2時間 他
交通費		¥ 17,454	・スタッフ講座当日交通費 JR常磐線 亀有一松戸(片道157円) 314円×1人×6回 松戸→(新京成線)新津田沼=津田沼→(JR総武線)千葉→(外房線)鎌取(片道680円)1360円×1人×6回 ・植え替え資材運搬レンタカー代(1回) 5940円 ・10/2 ワークショップ資材・道具類の配送(1470円)
その他経費の合計		¥ 33,702	
	合 計 額	¥ 369,448	



親子で安心、子ども達が楽しく育つ  
居場所づくり事業

なないろのもり

## 活動状況報告書

1 事業名称 親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業

2 実施主体

■団体名： なないろのもり

従事者数： 5名

団体概要：子育て世代を中心に親子で一緒に楽しめるイベントを定期的開催。

人と人が繋がる場所をつくることで孤立することなく、地域とつながり、今しかない子育て時期を楽しめる環境づくりを目指し活動。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①親子で一緒に参加できる夏のワークショップ・夏まつりの実施

【感染対策を実施し、なないろのもり夏休み3daysとして、夏まつり1日、ワークショップ2日間で開催。夏まつり予定会場が、ワクチン接種会場となり、矢切幼稚園にご協力いただき、会場を変更して事前予約制3部入れ替え制で開催】

日 付	作 業 内 容
4月7日～	事業企画打ち合せ・開催方法の検討・資料作成・協賛者探しなど 年間活動計画、活動チラシ作成、配布などPR開始。 コロナ禍でチラシ配布が難航し、一部地域新聞折り込み依頼
5月10日～19日	会場依頼・打ち合せ・内容決定
5月27日～	講師依頼、イベント出展者、協賛者募集、チラシ作成、SNS発信
7月1日～7月7日	矢切幼稚園、ワークショップ講師陣との打ち合せ
7月8日～29日	告知・チラシPR活動・事前予約開始・準備
7月30日 8月2日 8月4日	夏まつり (申込者615名・来場者564名) 矢切幼稚園 (遊びコーナー併設、遊び券を50名分販売) 夏ワークショップ2日間(申込者45名・来場者87名) まつど市民活動サポートセンター ワークショップ6講座・白玉講座 (外部講師：株式会社川光商事)・ おかたづけ講座 (内部講師)・立体標本づくり (外部講師：路上博物館)・ サステナブルWS (ママ講師：kotakota・菱沼氏)・リボンクラフト (ママ講師：M <sup>2</sup> ・野村氏)・食品サンプルづくり (ママ講師：one in the world・佐藤氏)・マーケット同時開催 3日間、見守り・イベントスタッフ (7名)・看護スタッフ・熱中症対策講師 (平川氏)
8月10日	ふりかえり



②子ども達と子育て世代の居場所づくり 居場所の通年開催

【昨年度から継続している未就園児とママたちの居場所「おやこのにわ」と、子育て世代を中心に多世代の地域の人たちが繋がれる居場所「みんなのにわ」、親子で楽しめる新たな居場所イベント「ななもりのにわ」を今年度から新たに開催】

日 付	作 業 内 容
4月7日～	事業企画打ち合せ・開催方法の検討・協賛者募集など
4/14. 28. 5/12. 26. 6/6. 23. 7/14. 28. 8 /25. 9/8. 22. 10/13 . 11/10. 12/8. 1/12 . 2/9. 3/9	おやこのにわ定期開催 毎月1.2回木曜日9:30～11:30 対象:0歳児～未就園児と保護者 場所:椿の庭 (開催17回、来場延べ107名) 見守りスタッフ4名(内部スタッフ)
8月～	多世代交流の屋外居場所開催準備スタート。打ち合せ・準備など
10月27日	みんなのにわ プレ開催 場所:ご協賛者の庭 (来場者延べ12名) 見守りスタッフ4名(内部スタッフ)
11月17日	おやこのにわ・みんなのにわ合同開催 毎月1回木曜日13:30～15:30 対象:0歳児から高齢者まで 場所:ご協賛者の庭 (来場者16名) 見守りスタッフ4名(内部スタッフ) ※コロナ状況やスタッフ家族感染、気候等の諸事情により、12月、1月中止。
12月～	みんなのにわの中止により、寒い季節での屋内での開催、週末の開催などのご要望の声などをいただき、代替案として、新たな企画
2月4日	ななもりのにわプレ開催(アイシングクッキー講座:外部講師もぐペコはうす・宮崎氏) 場所:まつど市民活動サポートセンター (来場者32名) 見守りスタッフ(3名・内部2名)

③クリスマスフェスティバルの実施

【昨年度同様完全予約・入場3部入替え制など開催方法を変更して実施】

日 付	作 業 内 容
10月13日～	イベント企画打ち合わせ
10月18日～	チラシの企画及び作成・イベント協賛者の依頼
27日～11月13日	チラシの校正・印刷・オンライン予約フォーム作成
11月14日～	チラシ PR 活動(市内と近隣幼保・小中学校や商店・地域新聞折込み) コロナ禍でチラシ配布が難航し、一部地域新聞折込み依頼 協賛者説明会(対面・ZOOM併用で個別対応) 来場予約受付スタート
11月10日・17日・ 24日～12月2日	スタッフ事前打ち合せ、準備など
12月3日	クリスマスフェスティバル まつど市民活動サポートセンター (来場者600名・(イベントスタッフ8名) 遊びコーナー併設、遊び券を30名分販売しました。
12月22日	ふりかえり

## (2) 事業内容のふりかえり

・今年度もいずれの事業やイベントも、市のガイドラインに沿って、対応し検討を重ね慎重に開催し、子ども達の楽しい時間や空間を確保できるようにと、活動継続することを最優先にしました。

・ワークショップについて、引き続き人数制限や感染対策のため、日程や時期を分けて開催しました。地域の企業や子育て世代の大人達を講師に招き、子ども達が様々な体験ができる機会となりました。今年度は親子で一緒に参加したり、赤ちゃんを家族に預けて、ママが1人で参加したりと、幅広い年代の方の参加が増えました。

・夏まつりは当初まつど市民活動サポートセンターでの開催予定でしたが、急遽ワクチン会場となってしまい、別の市内施設で代替開催など検討を重ねましたが、地区や内容を大きく変更する事になってしまうため難しく、また屋外での開催は特に、警備や安全対策についての課題が多く、一団で開催することは難しいとの判断で開催が危うくなりました。

しかし、活動に協賛いただいている矢切幼稚園にご相談したところ、地域のみなさんのためにと、会場をお借りし、当日のサポートまでしていただき無事に開催することができました。慣れない会場なので、幼稚園のみなさんのサポートがなければ、開催は難しかったです。また、夏の暑い時期だったので、熱中症の対策なども重なり、救護のために看護師さんのサポートをお願いしたり、対策に苦慮した点多かったです。しかし、新たな場所での開催は、参加者の幅も広がり、地域の様々な世代の方への認知度も益々上がったと思います。

・居場所の開催は「おやこのにわ」の毎週の定期開催を目指しておりましたが、会場代の負担と内部スタッフの負担が重くなってしまうため、開催回数は減らしました。その代わりに協賛いただける方のお庭をお借りしたり、サポートセンターの利用を増やしたりして、開催場所を増やし、地域の多世代交流が可能な「みんなのにわ」や「ななもりのにわ」という、子育て世代が地域の多世代の方々と繋がれる居場所づくりへと進化しました。

それによって、今年度は新しくハロウィンイベントをプレ開催することができ、このイベントには地域商店 10 店のご協力を得て、当初の予定を上回る大きなイベントとなりました。

・クリスマスフェスティバルは、今年度は舞台発表のみと、コロナ禍前に戻し、オンライン観覧は行いませんでした。

・昨年同様、コロナの影響で予定していたチラシの学校配布が一部できなくなったり、人数分散のために、ワークショップの開催日数を分けて実施したことにより、保険料や消耗品代などの変更が出てしまいました。

・当初夏まつり、クリスマスの景品を消耗品と計上しておりましたが、予算の都合によりお菓子を用意することになったため、食糧費として費用を使用することになりました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

昨年同様、コロナの感染状況がどのような状況においても、安全第一に柔軟に対応し、制限はある中ではありますが、子ども達の家庭や学校、習い事以外の遊び・学びの場づくりの確保のための活動は止まることなく、さらに拡大、地域の多世代交流の機会を広げることができました。

1. 夏まつり・ワークショップの参加人数は（目標：120名→結果：651名）
2. 居場所事業の開催は、未就園児と保護者のみならず、地域交流の居場所へと進歩してきました。（目標：150人→結果：167名）
3. クリスマスイベントのべ来場人数は（目標：400人→結果：600人）感染対策を講じながら、安全第一に、人数制限、完全予約3部制にし、今年度はすべて対面開催でき、参加者の延べ人数は150%の達成となりました。

#### 5 今後の事業展開

助成事業として4年間実施できたことで、認知度は格段に広がり、基盤ができていく団体へ成長できたと思います。コロナ禍においても活動を継続してきたことで、今年度はどのイベントも早々と予約が埋まり、キャンセル待ちが多数出てしまいました。

また、参加者のみなさんから、こんな場所をもっと開催してほしい。次のイベントはいつになりますか。などと嬉しいお問合せを多数いただいています。快いご協賛をいただける地域の方々をはじめ、幼稚園や小学校、商店の方々、またイベント開催時のサポートをお願いできるボランティアの方々も増え、大変ありがたいのです。

その一方で一市民団体だけで活動を継続していく厳しさや限界も実感しています。

主力の運営メンバーの負担は変わらず、志だけで各自の家庭や仕事と両立しつつ、この活動を支えていることには、変わりません。今後も地域の子どもの未来のために、できる限りの事を続けていきたいので、今も試行錯誤を繰り返し継続できる手立てを探っております。

なないろのもりが掲げてきた、親子で安心できる、子ども達が楽しい居場所づくりの活動の継続はこれからも地域にとって、松戸市にとってとても重要な活動であると認識しています。このような活動を評価していただき、現実的に継続できるような具体的なサポートや働きかけをいただける事が可能であれば更に事業拡大できるかと思っています。

収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 88,000	¥ 88,000	¥ 0	サポーター年間登録料 個人2000円×18 地域商店3000円×4 企業5000円×8
		¥ 48,000	¥ 36,000	¥ 12,000	ワークショップ参加費 800円×45名
		¥ 18,000	¥ 15,000	¥ 3,000	夏まつりあそび券300円×50名
			¥ 9,000	¥ ▲9,000	Xmasあそび券300円×30名
	自己資金の合計(A)	¥ 154,000	¥ 148,000	¥ 6,000	
市	市民活動助成金(B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	←精算額
	合計額(C) = (A+B)	¥ 454,000	¥ 448,000	¥ 6,000	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 129,000	¥ 77,500	¥ 51,500	夏まつり講師謝礼5000円(平川氏) 夏イベントスタッフ謝礼3000円×1 夏ワークショップ講師謝礼12000円×2(路上博物館・川北商事) 夏サポータースタッフ謝礼2000円×4(7/30) 2000円×2(8/4) Xmasイベントスタッフ謝礼3000円×8 ワークショップ講師謝礼5000円(宮崎氏) ワークショップイベントサポーター1500円×3
	委託料	¥ 40,000	¥ 51,912	¥ ▲11,912	年間・夏まつり・Xmasチラシデザイン制作費5000円×3 イベント装飾デザイン費2500円×2 居場所チラシデザイン制作費5000円×1 地域新聞折り込み代 年間チラシ16187円 Xmas10725円 (年間リーフレット5450枚・Xmas2500枚)
	消耗品費	¥ 55,100	¥ 85,792	¥ ▲30,692	コピー用紙400円 プリンターインク 6080円(2点) 5382円(1点) 夏まつり用具107円 15040円(水風船他) 1760円(エアープンプ他) 660円 夏まつりイベント感染防止グッズ他5665円(消毒液他) ワークショップ消耗品1637円 夏まつり装飾材料費2500円×2 ワークショップ材料費2459円(8/2お片付け講座資料他)12000円(8/4立体標本材料他) Xmasイベント用具357円 1760円(アロマオイル)11522円(ラミネートフィルム他) 583円(バッグ) ワークショップ材料費 15400円(小麦粉・アイシング材料他)
	印刷製本費	¥ 39,340	¥ 38,180	¥ 1,160	なないろのもり年間チラシ(10000部×1枚1.803円 18030円) イベントチラシ夏まつり・ワークショップ(2500部×1枚2.432円 6080円) イベントチラシXmas(6000部×2.345円 14070円)
	使用料及び賃借料	¥ 148,600	¥ 66,920	¥ 81,680	イベント打合せ・準備施設使用 (第一会議室他 220円×8回1760円 440円×4回1760円 660円×5回3300円 820円×1回 880円×2回 1760円 1520円×1回) 矢切幼稚園夏まつり会場使用料 5000円 居場所フリースペース使用料51000円(3000円×17回)
	保険料	¥ 14,560	¥ 29,680	¥ ▲15,120	イベント保険 夏まつり・WS560人×28円 15680円 Xmas500人×28円 14000円
	食糧費	¥ 6,400	¥ 43,789	¥ ▲37,389	おやこのにわ 飲み物1460円 おやこのにわ 飲み物1273円 夏ワークショップ参加者飲み物1706円 夏まつり景品4368円 3542円 熱中症対策品1758円 Xmas景品 29682円(くじ引き2800円×6 他)
	対象経費の合計(D)	¥ 433,000	¥ 393,773	¥ 39,227	
	(その他経費)	報償費	¥ 10,000	¥ 3,000	¥ 7,000
消耗品費		¥ 0	¥ 28,027	¥ ▲28,027	スタッフユニフォーム17640円 イベント材料費2832円 2500円 イベント景品2765円 2290円
食糧費		¥ 6,000	¥ 18,200	¥ ▲12,200	夏ボランティア・スタッフ(熱中症対策用品・飲み物他) 5145円 ボランティア軽食代5211円 Xmasボランティア・スタッフ飲み物2058円 Xmasボランティア・スタッフ前日準備 当日軽食代5786円
交通費		¥ 5,000	¥ 5,000	¥ 0	交通費1000円×5名
その他経費の合計額(E)		¥ 21,000	¥ 54,227	¥ ▲33,227	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 454,000	¥ 448,000	¥ 6,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 0
-----	-----

## 別紙1

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	事業収入	¥ 88,000	サポーター年間登録料 個人2000円×18 地域商店3000円×4 企業5000円×8
		¥ 36,000	ワークショップ参加費 800円×45名
		¥ 15,000	夏まつりあそび券300円×50名
		¥ 9,000	Xmasあそび券300円×30名
	自己資金の合計額	¥ 148,000	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
	合計額	¥ 448,000	

## 【支出】

科目	金額	内訳・説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 77,500 夏まつり講師謝礼5000円(平川氏) 夏イベントスタッフ謝礼3000円×1名 夏ワークショップ講師謝礼12000円×2(路上博物館・川光商事) 夏サポートスタッフ謝礼2000円×4(7/30) 2000円×2(8/4) Xmasイベントスタッフ謝礼3000円×8 ワークショップ講師謝礼5000円(宮崎氏) ワークショップイベントサポーター1500円×3	
	委託料	¥ 51,912 年間・夏まつり・Xmasチラシデザイン制作費5000円×3 イベント装飾デザイン費2500円×2 居場所チラシデザイン制作費5000円×1 地域新聞折り込み代 年間チラシ16187円 Xmas10725円 (年間リーフレット5450枚・Xmas2500枚)	
	消耗品費	¥ 85,792 コピー用紙400円 プリンターインク6080円(5090円×1、990円×1) 5382円(5382円×1) 夏まつり用具107円 15040円(ミニきんぎょ×2(1,452円)、ヨーヨー24個入(1,214円)、ヨーヨー25入(1,265円)、ヨーヨーセット100入×3(3,960円)、金魚袋100入824円、スーパーボールセット(6,325円)、1760円(ポンプ×2(220円)、ちりはたき×2(220円)、LED懐中電灯×2(220円)、LEDろうそく(110円)、サングラス×2(220円)、スプレー×2(220円)、キッズサングラス×4(440円)、ひも付ピンチ(110円) 660円 夏まつりイベント感染防止グッズ他5665円(98×8(784円)、消毒スプレー×3(1,734円)、消毒液詰替×2(996円)、ばんそうこう(98円)、冷却バック(468円)、冷却シート(249円)、乾電池(598円)、乾電池(238円)、外税(500円) ワークショップ消耗品1637円(ゴミ袋(437円)、キッチンクロス(173円)、スポンジ(130円)、キッチンペーパー×2(214円)、アルコール除菌(295円)、キッチンラップ(107円)、洗剤(151円)、キッチンラップ(130円)) 夏まつり装飾材料費2500円×2 ワークショップ材料費 2459円(8/2お片付け講座資料他)12000円(12人分材料費(1000円×12人)8/4立体標本材料他) Xmasイベント用具357円 1760円(アロマオイル) 11522円(ラミネートフィルムA4×2(1598円)、コピー用紙×2(658円)、ペン(899円)、テツキ30L(229円)、ペン5本入(450円)、ボールペン5P(599円)、フェアラインBP5P(299円)、巻白上質紙(199円)、模造紙(259円)、塗装養生テープ×10(4490円)、布粘着テープ×5(795円)、税(1047円)) 563円(バッグ128円×4(512円)、外税(51円)) ワークショップ材料費 15400円(材料費700円×22人 小麦粉・アイシング材料他)	
	印刷製本費	¥ 38,180 なないろのもり年間チラシ(10000部×1枚1,803円 18030円) イベントチラシ夏まつり・ワークショップ(2500部×1枚2,432円 6080円) イベントチラシXmas(6000部×2,345円 14070円)	
	使用料及び賃借料	¥ 66,920 イベント打合せ・準備施設使用 (第一会議室他 220円×8回 440円×4回 660円×5回 820円×1回 880円×2回 1520円×1回) 矢切幼稚園夏まつり会場使用料 5000円 居場所フリースペース使用料3000円×17回	
	保険料	¥ 29,680 イベント保険 夏まつり・WS560人×28円 15680円 Xmas500人×28円 14000円	
	食糧費	¥ 43,789 おやこのにわ 飲み物1460円 おやこのにわ 飲み物1273円 夏ワークショップ参加者飲み物1706円 夏まつり景品 4368円(63円×58、39円×10、税324円) 3542円(64円×45、40円×10、税262円) 熱中症対策品1758円(168円×2(336円)、58円×10(580円)、178円×3(534円)、178円×1) Xmas景品 29682円(280×3(840円)、20円×20(400円)、16円×30入(480円)、16円×30入×2(960円)、くじ2800円×6(16800円)、75円×2(1500円)、1280円×1(1280円)、9.6円×50入×2(960円)、20円×24入×2(960円)、8円×50入(400円)、30円×60入(480円)、9.6円×30入(288円)、9.6円×30入×2(288円)、ツイスト9.6円×30入×2(576円)、8円×30入×2(480円)、8円×30入×2(480円)、税(2510円))	
	対象経費の合計	¥ 393,773	
	その他経費	報償費	¥ 3,000 内部講師料3000円
		消耗品費	¥ 28,027 スタッフユニフォーム17640円 イベント材料費 2832円 2500円 イベント景品2765円 2290円
食糧費		¥ 18,200 夏ボランティア・スタッフ(熱中症対策用品・飲み物他)5145円 夏ボランティア軽食代5211円 Xmasボランティア・スタッフ飲み物2058円 Xmasボランティア・スタッフ事前準備 当日軽食代5786円	
交通費		¥ 5,000 交通費1000円×5名	
その他経費の合計		¥ 54,227	
	合計額	¥ 448,000	



松戸市ご当地漫画&アニメ制作事業

超普通スタジオ

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市ご当地漫画&アニメ制作事業

2 実施主体

■団体名： 超普通スタジオ

従事者数： 13名

団体概要： 2020年4月に設立したご当地動画制作サークル。  
地域活性化を目的とした動画を制作する団体。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

①プレスリリースやSNSを利用し、制作する漫画・アニメの舞台やテーマとなる松戸の魅力・情報を広く募集し、同時に参加者も募る。

日 付	作 業 内 容
4/1～4/30	・サークル TK へ松戸の魅力情報収集ページ制作依頼の実施 (第1次)
5/1～6/30	・松戸の魅力情報募集ポスターの作成・掲示 ・松戸の魅力情報収集の実施 (第1次) <メールやSNSの投稿、直接聞き込みで情報収集>
8/1～11/30	・サークル TK へ松戸の魅力情報収集ページ制作依頼の実施 (第2次) ・松戸の魅力情報収集の実施 (第2次) <メールやSNSの投稿、直接聞き込みで情報収集>

②集まった情報から、より詳細がわかるよう取材を実施 (Zoomまたは直接)

日 付	作 業 内 容
7/1～9/30	・第3話 (子育て) 脚本取材・脚本執筆
11/1～1/31	・第4話 (祖光院)・第5話 (松戸運動公園) 脚本取材・脚本執筆

③PR漫画・アニメを制作する。

日 付	作 業 内 容
10/5	・第3話音声収録 【出演 (谷始央理、月野もあ、ちはる、青山奈樹) / 収録地：プラチナムガレージ】
2/7	・第4話・第5話音声収録



	【出演（谷始央理、月野もあ、冷水優果、大島忍、眞塩藍咲）/収録地：プラチナムガレージ】
--	---

④完成した漫画をHPやSNSで公開、アニメを、YouTubeなどの動画サイト・SNSで公開。

日付	作業内容
9/23～10/21	・第3話漫画公開（HP、Twitter、Facebook、Instagram）
2/26	・第3話アニメ公開（HP、Twitter、YouTube）
3/1～3/31	・第4話・第5話漫画公開（HP、Twitter、Facebook、Instagram）
4月頭（予定）	・第4話アニメ公開（HP、Twitter、YouTube）
4月末（予定）	・第5話アニメ公開（HP、Twitter、YouTube）

(2)事業内容のふりかえり

<p>① プレスリリースやSNSを利用し、制作する漫画・アニメの舞台やテーマとなる松戸の魅力・情報を広く募集し、同時に参加者も募る。 →当初の計画では、連携希望の方募集という内容で進める予定でしたが、市と相談し、助成金で1企業の宣伝になる可能性があり、松戸の魅力・情報を発信するための募集という主旨に添わない可能性があるため、「松戸の魅力情報収集」という形への変更となりました。ネットのみでなく、街頭での情報収集を行い、情報は126件集まりました。</p> <p>② 集まった情報から、より詳細がわかるよう取材を実施（Zoomまたは直接） →情報を基に21世紀の森と広場、子育て、祖光院、松戸運動公園（スポーツ）に関する内容制作と決め、21世紀の森と広場の管理事務所、松戸市子ども政策課、祖光院、松戸市公園整備課に取材を行いました。</p> <p>③ PR漫画・アニメを制作する。</p> <p>④ 完成した漫画をHPやSNSで公開、アニメを、YouTubeなどの動画サイト・SNSで公開。 →第2話の内容について、クラウドファンディング支援者が出演する内容を自主事業として制作。市と相談し、全3作の作品制作に関して、年度内には2作の完成で進め、4月中に全3話を完成見込み。</p>
---

4 事業成果について

- ・目標の達成と課題の解決について

A. 連携を希望する方、情報、スタッフの募集【応募数合計：100件】

連携希望者募集という内容はとりやめた。その結果、松戸の魅力情報収集という内容で募集。126件の情報を収集しました。

B. 漫画の閲覧数&アニメの閲覧数【3話合計:30,000回】(HP、Twitter、Facebook、Instagram)

第3話漫画 (6,312View)

第3話アニメ (17,056View)

第4話漫画 (6,877View)

第4話アニメ (公開前)

第5話漫画 (公開前)

第5話アニメ (公開前)

未公開の漫画・アニメがあるものの現時点でのHP・SNSの閲覧数合計で30,245viewを獲得しました。少しずつではありますが、継続して漫画・アニメを公開することで、少しずつ知名度の向上ができており、次回作への期待のコメントやメッセージをいただけるようになっています。今後も継続して制作することで、松戸市の魅力を伝える作品に昇華し、地域の方々が松戸に興味・愛着をもってもらい、共同で一つのモノづくりを行うことで、地域住民同士の交流を深め、松戸愛のある市民を増やせるようになります。

5 今後の事業展開

今後は、松戸市内の企業や団体と連携し、松戸市をPRする作品を継続して制作します。

松戸市内の様々な人たちとつながり、認知度の向上を行います。

また、定期的なライブ配信やテレビ放送を行い、多くの人に愛される作品にします。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 186,020	¥ 120,910	¥ 65,110	事業費の一部を団体の会計より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 186,020	¥ 120,910	¥ 65,110	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 286,020	¥ 220,910	¥ 65,110	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 125,000	¥ 105,000	¥ 20,000	谷始央理(7,000円+7,000円)、月野もあ(33,000円+22,000円)、ちはる(5,000円)、青山奈樹(5,000円)、冷水優果(10,000円)、大島忍(10,000円)、真塩藍咲(6,000円)
	消耗品費	¥ 6,000	¥ 6,660	¥ ▲660	インク代(5,780円)、プリンタ用紙(880円)
	印刷製本費	¥ 5,020	¥ 0	¥ 5,020	
	使用料及び賃借料	¥ 60,000	¥ 19,250	¥ 40,750	スタジオ使用料・収録機材使用料(11,550円+7,700円)
	委託料	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	松戸の魅力募集ページ制作費(30,000円)
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計(D)	¥ 226,020	¥ 160,910	¥ 65,110	
(その他経費)	経費	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	脚本制作費、漫画・イラスト制作費
				¥ 0	
				¥ 0	
	その他経費の合計額(E)	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	
	合計額(F) = (D+E)	¥ 286,020	¥ 220,910	¥ 65,110	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(A)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団 体	団体拠出金	¥ 120,910	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 120,910	
市	市民活動助成金	¥ 100,000	
	合 計 額	¥ 220,910	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 105,000	谷始央理(7,000円+7,000円)、月野もあ(33,000円+22,000円)、ちはる(5,000円)、青山奈樹(5,000円)、冷水優果(10,000円)、大島忍(10,000円)、眞塩藍咲(6,000円)
	消耗品費	¥ 6,660	インク代(5,780円)、プリンタ用紙(880円)
	印刷製本費	¥ 0	
	使用料及び賃借料	¥ 19,250	スタジオ使用料、収録機材使用料(10月5日分 11,550円、2月7日分 7,700円)
	委託料	¥ 30,000	松戸の魅力募集ページ制作費(30,000円)
	対象経費の合計	¥ 160,910	
その他経費	経費	¥ 60,000	脚本制作費、漫画・イラスト制作費
	その他経費の合計	¥ 60,000	
	合 計 額	¥ 220,910	

ときわだいらオープンアトリエ事業

特定非営利活動法人

ディープデモクラシー・センター

## 活動状況報告書

1 事業名称           ときわだいらオープンアトリエ事業

2 実施主体

■団体名： 特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター

従事者数： 14名

団体概要： この法人は、社会の多様性を重視し、自治・自律・自給型地域づくりを推進する個人、市民団体に対してその活動の助言、支援に関する事業、および、その人材の育成に関する事業を行い、もって住民参加による市民社会の成熟、発展に寄与することを目的とする。

3 事業の実施内容

(1) 事業内容

①ときわだいらくらしラボ オープンアトリエの実施

日 付	作 業 内 容
6 月	事業企画打ち合わせ・講師打ち合わせ
7 月 15 日	チラシデザイン依頼
7 月 18 日	チラシ印刷
7 月 20 日～31 日	広報活動として作成したチラシを市内公共施設などへ 3,000 配布
8 月 19 日	オープンアトリエ第 1 回実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 11 名 テーマ 「画材を知る」
9 月 5 日	オープンアトリエ第 2 回実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 13 名 テーマ 「自分を知る」
10 月 3 日	オープンアトリエ第 3 回実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 10 名 テーマ 「街を知る」
11 月 7 日	オープンアトリエ第 4 回実施

	会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 8名 テーマ 「人を知る」
2月12日	オープンアトリエ第5回実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 7名 テーマ 「街を作る」
2月19日	オープンアトリエ第6回実施 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 8名 テーマ 「空間を作る」

## ②オープンアトリエ・スタッフ養成講座の実施

日 付	作 業 内 容
6月	事業企画打ち合わせ・講師打ち合わせ
7月	チラシデザイン・印刷、広報
10月16日	オープンアトリエ・スタッフ養成講座実施（講師・こまちだたまお） 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 こまちだたまおさん 参加者 7名
2月26日	オープンアトリエ・スタッフ養成講座実施（講師・内部講師） 会場 ときわだいらくらしラボ 講師 加納基成 参加者 4名

## (2) 事業内容のふりかえり

### ○オープンアトリエのふりかえり

地域に表現の場を作るという新しい試みだったが、いろいろな属性の方の参加があり、家庭や職場、学校以外に、こういう場が求められていることを、参加者の反応から実感することができた。回を重ねるごとに、参加者のなかにあった表現に対する「自制」のようなものが消えていき、より本能的に表現に関わるようになっていく姿を見ることができたことも大きな手応えとなった。

### ○養成講座のふりかえり

これまで、福祉的な表現の場づくりや、コミュニティにおける表現の場づくりについての、人材育成的な講座がなかったこともあり、県外からの参加者が中心となったが、今後も市内での人材育成を継続することで、より多くの表現の場づくりにつながることを実感した。

#### ○全体のふりかえり

当初は、毎月違った講師に、毎月違った表現方法の体験を依頼することにより、表現の多様性に触れてもらうことを企画していたが、常盤平という街に、みんなで、あらたに表現の場を作ることを重要視し、同一講師による連続講座に変更し、毎月、表現のテーマを変えながら、地域に開かれた表現の場を作っていくことに変更した。

新型コロナウイルスの感染拡大によるスタッフ感染などで、スケジュール変更はあったものの、地域のなかに、誰もが参加できる表現の場をつくる、という目的は達成でき、予想以上の反響と、今後の展開が期待されるものとなった。

スタッフの新型コロナウイルスの感染により、ときわだいらオープンアトリエの第5回、第6回のスケジュールが2月に変更になり、オープンアトリエスタッフ養成講座の2回目のスケジュールが2月に、講師が外部講師から内部講師へと変更になったが、全体の総まとめとしての養成講座が実施でき、次年度以降へつなげることができたように思う。

予算執行については、市内各施設へのチラシの配架に変更したため、無料でできたことにより郵便代が不要となった(-8,400円)こと、外部講師から内部講師への変更のため、報償費(オープンアトリエスタッフ養成講座)1回分が不要となった(-30,000円)こと、印刷製本費の領収書が支払いから6ヶ月以内しか入手できず決算計上できないため(-20,000円)不要となった。

## 4 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

#### オープンアトリエの参加者

目標：のべ100人 結果：のべ57人

結果57名だったため目標は達成できなかったが、より広範の属性の方の参加を実現できた。

#### 養成講座の参加者

目標：のべ30人 結果：のべ11人

結果11名だったため目標は達成できなかったが、実際に各地で活動している方々の参加があり、今後に向け、ネットワークの構築ができた。

#### 参加者アンケート

目標：今後も参加したい75%、今後、関わっていききたい70%

結果：今後も参加したい90%、今後、関わっていききたい90%

結果90%だったため、目標を達成できた。このことにより今後の展開への確信が得られた。

常盤平という街において、社会的な孤立に抗っていききたい、という思いでスタートした事



業ですが、ずっと団地に住んでいる方、最近移り住んできたけどあまり知り合いがいないという方、障害のある方、引きこもりがちの方、生活困窮からの生活再建中の方、刑余者の方、LGBT といわれる方、DV 被害に遭われた方、など多様な人々が、表現という共通項の元に、空間と時間を分かち合うことができました。

#### 5 今後の事業展開

今後は、よりパーマネントな場として、ときわだいらオープンアトリエを展開し、表現の場としてはもちろん、地域の困りごと解決や、助け合い支え合いの拠点として、活用していきたいと考えます。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 66,400	¥ 86,600	¥ ▲20,200	事業費の一部を団体の会計より拠出
	オープンアトリエ参加費 (材料費)	¥ 20,000	¥ 11,400	¥ 8,600	@200×57人
	養成講座参加費	¥ 30,000	¥ 11,000	¥ 19,000	@1000×11人
				¥ 0	
	自己資金の合計 (A)	¥ 116,400	¥ 109,000	¥ 7,400	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 252,000	¥ 48,000	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 416,400	¥ 361,000	¥ 55,400	

【支出】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の 交付対象 経費	報償費	¥ 180,000	¥ 180,000	¥ 0	オープンアトリエ講師謝金@30,000×6回
	報償費	¥ 60,000	¥ 30,000	¥ 30,000	養成講座講師謝金@30,000×1回
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	チラシ印刷外注
	委託料	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	チラシデザイン@10,000×2種
	通信運搬費	¥ 8,400	¥ 0	¥ 8,400	
	消耗品費	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 0	絵の具@1,000×15' パステル@1,500×15' 粘土@400×15' 木材@100×30 文具、用紙 3,500
				¥ 0	
				¥ 0	
	対象経費の合計 (D)	¥ 338,400	¥ 280,000	¥ 58,400	
(そ の 対 象 外 経 費)	講師交通費	¥ 18,000	¥ 21,000	¥ ▲3,000	講師交通費@3,000×7回
	交通費	¥ 40,000	¥ 40,000	¥ 0	当日スタッフの交通費 1,000円×5人×8回
	食料費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	当日スタッフの昼食代 500円×5人×8回
	その他経費の合計額 (E)	¥ 78,000	¥ 81,000	¥ ▲3,000	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 416,400	¥ 361,000	¥ 55,400	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 48,000
------------	----------

## 別紙 1

## 収支内訳書

## 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 86,600	事業費の一部を団体の会計より拠出
	オープンアトリエ参加費	¥ 11,400	参加費（材料費）@200×57人
	養成講座参加費	¥ 11,000	@参加費1000×11人
	自己資金の合計額	¥ 109,000	
市	市民活動助成金	¥ 252,000	
	合 計 額	¥ 361,000	

## 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 180,000	オープンアトリエ講師謝金 講師・こまちだたまお@30,000×6回
	報償費	¥ 30,000	養成講座講師謝金 講師・こまちだたまお@30,000×1回
	委託料	¥ 20,000	チラシデザイン料@10,000×2（「ときわだいらオープンアトリエ」「オープンアトリエスタッフ養成講座」）
	消耗品費	¥ 50,000	絵の具@1,000×15 ' パステル@1,500×15 ' 粘土@400×15 ' 木材@100×30 文具、用紙 3,500
		対象経費の合計	¥ 280,000
その他経費	講師交通費	¥ 21,000	講師交通費@3,000×7回
	交通費	¥ 40,000	当日スタッフの交通費 1,000円×5人×8回
	食料費	¥ 20,000	当日スタッフの昼食代 500円×5人×8回
	その他経費の合計	¥ 81,000	
	合 計 額	¥ 361,000	



松戸市民向け SDG s 普及啓発促進事業

まつど地域活躍塾つながりの会

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市民向け SDGs 普及啓発促進事業

2 実施主体

■団体名： まつど地域活躍塾つながりの会

従事者数： 39名

団体概要：

2017年松戸市で開催した「まつど地域活躍塾」の修了生有志によって2019年に立ち上がった団体で、活躍塾の目標を実現するため、修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としている。

当会では、2019年4月からSDGs推進メンバーが中心となって松戸市民がSDGsにより関心を持ち、個々の行動につながることを目指し、市内の活動団体・企業と連携した普及啓発活動を行っている。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

① SDGs 参画団体の拡大募集および意見交換・勉強会(3回程)

日付	作業内容
2022年 4～6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つながりの会 SDGs 推進メンバーとの打合わせ(オンライン、メール)</li> <li>・ 前年度(2021)の SDGs ネットワーク団体への参加確認・協力依頼レター作成・送付</li> <li>・ 新規 SDGs ネットワーク団体への声掛け・協力依頼レター作成・送付</li> <li>・ 第1回 SDGs ネットワーク会議の資料づくり</li> <li>・ SDGs ネットワーク団体への会議開催に関する連絡等</li> </ul>
6月12日	<p>【第1回】SDGs ネットワーク会議の実施(オンライン開催) 参加者6名(構成員:4名、SDGs ネットワーク団体:2名)</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回 SDGs ネットワーク会議の資料づくり</li> <li>・ SDGs ネットワーク団体への会議開催に関する連絡等</li> </ul>
9月18日	<p>【第2回】SDGs ネットワーク会議の実施(まつど市民活動サポートセンターとオンラインによる開催) 参加者11名(構成員:6人、SDGs ネットワーク団体:5人)</p>

② 松戸市民向け SDGs 教材の開発・試行

日 付	作 業 内 容
2022年4月～ 2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりの会 SDGs 推進メンバーとの打合わせ(メール)</li> <li>松戸版 SDGs 普及啓発教材の内容検討・作成</li> </ul>

③ 地域への SDGs 普及啓発の推進(5 回程<2 か月に 1 回程度>)

日 付	作 業 内 容
2022年 4～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年度「松戸市消費生活パネル展」の SDGs 展示パネル作成</li> </ul>
6～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>つながりの会 SDGs 推進メンバーとの打合わせ(メール)</li> <li>SDGs 普及啓発の学習会開催を呼びかけるためのチラシ作成・印刷・市の施設に配布(1000 枚)</li> <li>SNS による広報</li> </ul>
7月29日	SDGs 普及啓発の学習会開催を呼びかけるためのチラシを SDGs ネットワーク団体である自治会に送付
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で SDGs を普及啓発するための資料づくり(パワーポイント)</li> </ul>
8月26日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第1回】 Let's 体験 2022</b>(まつど市民活動サポートセンター)で「ゲームで体感する SDGs の世界」の勉強会開催 参加者: 中・高校生 3名</p>
9月22日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第2回】 SDGs 勉強会</b> 参加者: 女性グループ 5名(八柱市民センター)</p>
10月4日～ 10月14日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第3回】</b>「松戸市消費生活パネル展」の SDGs パネル展示(「SDGs でつながる未来の松戸へ、参加・体験で SDGs の理解を!」)による普及啓発活動 展示場所: 松戸市役所ホームページ、市役所 1 階本館新館連絡通路</p>
12月10日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第4回】</b>まつどみらいカイギでの SDGs 普及啓発ポスターの展示(まつど市民活動サポートセンター) 参加者: 100名程 ※ポスターは、本助成事業を紹介する既存のものを使用</p>
12月16日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第5回】 SDGs 勉強会</b> 参加者: 女性グループ 12名(松戸市健康福祉会館ふれあい 22)</p>
2023年 2月5日	<p><b>【SDGs 地域普及啓発-第6回】 SDGs 勉強会</b> 参加者: 牧の原団地 自治会 30名程(牧の原団地自治会会議室)</p>

④ SDGs 応用編講座開催(1回)

日 付	作 業 内 容
2022年 8月6日、23日	・ つながりの会 SDGs 推進メンバーによる打合せ(オンライン)
9月	・ 講座のプログラムの企画・内容作成 ・ 講座開催のための会場確保
10～11月	・ 講座参加を募るためのチラシ作成・印刷・市の施設等に配布(1000枚) ・ SNSによる広報 ・ 講師との連絡調整等 ・ 参加者への講座開催案内
11月26日、27日	<b>【SDGs 応用講座の開催】</b> 内容: SDGs の概要について学ぶ座学+SDGs スタディツアー 参加者: 15名 (内訳: 構成員 15名、一般参加者 0名 (2日間合計)) (1日目: 五香市民センター、2日目: 午前-JR 松戸駅西口周辺のごみ拾い、午後-市民による太陽光発電所の視察)

⑤ SDGs 写真コンテストと展示会の開催<1回>

日 付	作 業 内 容
2022年 12月	・ つながりの会 SDGs 推進メンバーとの打合わせ(メール) ・ SDGs 写真コンテストのプログラムの企画・内容作成 ・ SDGs 写真コンテストの表彰式・写真展示の会場確保
2023年 1月	・ SDGs 写真コンテストの応募を募るチラシ作成・印刷・市の施設等に配布(2000枚)、SNSによる広報 応募作品: 37作品 ・ SDGs 写真コンテストの応募作品の評価方法の確認
2月	・ SDGs 写真応募作品の評価 ・ 表彰者や応募者への写真コンテストの表彰結果の報告、SDGs 写真展・表彰式の開催案内
2月23日	<b>【SDGs 写真コンテスト展示会と表彰式の開催】</b> 内容: SDGs の概要説明、SDGs ゲーム体験、表彰式(最優秀賞、優秀賞、特別賞の3名が受賞)(まつど市民活動サポートセンター) 参加者: 15名
2月24日	SDGs 写真展の最優秀者に対し、賞状と景品の送付を行った。



## (2)事業内容のふりかえり

全体としては、計画していた 5 つの取組みについて、ほぼスケジュール通りに実施できたが、その活動内容が一部に留まった取組みもあった。以下に、5 つの取組みの詳細について記述する。

### 1) SDGs 参画団体の拡大募集および意見交換・勉強会(3 回程)

SDGs ネットワーク団体との意見交換会・勉強会を 2 回開催した。SDGs ネットワーク団体との意見交換会・勉強会では、2021 年度の SDGs 普及啓発の活動について振り返りを行った上で、2022 年度の事業概要の共有、協力依頼や最近の SDGs の動向や松戸市の SDGs 未来都市に関する進捗状況について理解を深めた。新規の参加団体については、2021 年度にリストアップした団体・組織や SDG ネットワーク団体からの助言等により、つながりの会 SDGs 推進メンバーが声掛けを行った。その結果、新規 6 団体が参加を表明し、既存の 13 団体と加えて合計 19 の団体・組織・個人が SDGs ネットワーク団体として参画した。本取組みはほぼスケジュール通りに進めることができたが、コロナウイルス感染拡大の影響があったことからオンラインを活用して会議を進めた。

### 2) 松戸市民向け SDGs 教材の開発・試行

松戸市民向けの SDGs 教材開発は内容の構想のみに留まり、教材の活用した普及啓発の試行までは実施することができなかった。その理由としては、教材開発を実行に移すためのマンパワー不足が挙げられる。なお、教材の内容としては、下記の通りである。

- 1 松戸を象徴する歴史・文化や街並みと関連した SDGs17 個のクイズ
- 2 松戸 SDGs スタディツアーマップ
- 3 松戸における SDGs の取組み

なお、本活動では教材の印刷費を計上していたが、教材の完成には至らなかったため、その支出は発生しなかった。

### 3) 地域への SDGs 普及啓発の推進(5 回程<2 か月に 1 回程度>)

SDGs の理解を深めるための資料(パワーポイント)を作成し、計 6 回に渡る地域社会での SDGs 学習会やその普及啓発の取組みをほぼスケジュール通りに実施することができた。地域での SDGs 普及啓発を図るためには、松戸開催の市民イベントを活用してそこへ出展をすることや、広報資料(チラシ)を作成して市の施設等に配布、SNS での発信をし、問い合わせ頂いたことで SDGs 勉強会の開催につなげることができた。

### 4) SDGs 応用編講座開催(1 回)

本応用講座へ参加した人は 15 名(2 日間合計)であったが、それらはつながりの会、SDGs ネットワーク団体やまつど地域活躍塾 6 期生の実習生であり、全くの一般から参加者はいなかった。1 日目(2022 年 11 月 26 日)は、SDGs の概要を知るための講義を実施し、参加

者は **SDGs** と日常の暮らしを結びつけるアクションプランの作成を行った。2 日目(2022 年 11 月 27 日)の午前は、メイク松戸ビューティフルが主催する JR 松戸駅西口周辺のごみ拾いに参加し、午後からは銀座環境会議が実施している市民による太陽光発電所の視察を行った。本応用講座は、スケジュール通りに進めることができた。なお、1 日目の座学では講師謝金代を予算に計上していたが、講師は **SDGs** 推進メンバーで務めたため、支出はなかった。また、一般の参加者がいなかったため、参加料はとらなかった。

#### 5) **SDGs** 写真コンテストと展示会の開催<1 回>

**SDGs** 写真コンテストには、37 作品の応募があった。2023 年 2 月 23 日の **SDGs** 写真コンテスト展示会・表彰式では、**SDGs** の概要に関する講義、**SDGs** ゲーム体験や表彰式(最優秀賞、優秀賞、特別賞の 3 名が受賞)を開催した。**SDGs** 写真コンテストの評価については、当会の **SDGs** 推進メンバー4 名で行った。本活動は、当初計画したスケジュール通りに進めることができた。なお、講師謝金代を予算に計上していたが当日の講師は **SDGs** 推進メンバーが務めたこと等により、支出はなかった。

また、予算に計上していなかったが、表彰した市民が社会の中で **SDGs** 普及啓発活動を牽引してくれるキーパーソンになると考え、各賞の景品(最優秀賞: すごろく、優秀賞: かるた、特別賞:**SDGs** 書籍)を用意した。最優秀賞受賞者については当日参加の都合がつかなかったため、翌日、賞状と景品を郵送した。

## 4 事業成果について

### ・目標の達成と課題の解決について

今回の申請では、「松戸市において、①多様なステークホルダーとの **SDGs** ネットワークの連携・能力強化、地域での **SDGs** 普及促進、②教材の開発・試行、講座開催やイベントを通じた **SDGs** 学習の促進・理解度の向上を通じて、市民参加型の **SDGs** の浸透・定着を目指すこと」を目的として実施した。事業の計画通り、松戸の市民社会の中で **SDGs** の普及啓発活動を展開して一定の理解を得ることはできたと感じるが、市民の浸透・定着までには到達しなかった。

また、5 つの取組みごとに関する活動の成果は、下記の通りである。

#### 1) **SDGs** 参画団体の拡大募集および意見交換・勉強会(3 回程)

本活動の目標①としては、「既存 13 の市民団体や企業等に加え、計 20 の組織が **SDGs** ネットワークに参加する」であったが、あらたに 6 つの団体・個人が追加。19 団体・個人となり、当初の目標をほぼ達成した。

##### 【既存団体】

- ① 岩瀬自治会
- ② 松戸里やま応援団七喜の会

- ③ まつど NPO 協議会
- ④ とうかつ草の根フードバンク
- ⑤ 松戸子育てさぽーとハーモニー
- ⑥ て to てナビ
- ⑦ 外国人の子供のための勉強会
- ⑧ メイク松戸ビューティフル
- ⑨ MamaCan
- ⑩ まつど SDGs ノウエン
- ⑪ 松戸地域猫スタートサポート
- ⑫ まつど地域活躍塾つながりの会
- ⑬ 株式会社新松戸造園(企業)

【新規加入】

- ① 銀座環境会議
- ② 小金原みんなでわくわくする会
- ③ きたまつどごみゼロウエスト
- ④ まつどゼロウエスト
- ⑤ グローバルコミュニティまつど
- ⑥ LEC コンポスター(個人)

また、本活動の目標②である「松戸市で SDGs の普及啓発をより促進していくための具体的なアイデアが 5 つ以上出される」であるが、こちらは、SDGs ネットワーク団体から特に具体的な内容やアイデアをだすことはできなかった。

しかしながら、SDGs 写真コンテストには積極的に応募する SDGs ネットワーク団体やその関係者がいたこと、並びに地域の普及啓発では SDGs ゲーム(市販のすごろく、カルタ等)の実施が好評であったことから、SDGs を盛り上げて促進していくための一つの進め方としてイベント形式が有効な手段であると言える。

2) 松戸市民向け SDGs 教材の開発・試行

松戸市民向け SDGs 教材の開発・試行については、下記 3)の活動成果にもあるように地域での SDGs 普及啓発を実施する際に独自の学習資料を作成して進めた。従って、試行までは達成できなかったが、本活動で目標としていた「SDGs 教材を用い、市内のイベントにて SDGs 啓発の場として提供される」の一部は達成することができたと考えられる。

3) 地域への SDGs 普及啓発の推進(5 回程<2 か月に 1 回程度>)

本取組みの目標である「松戸市内の自治会や団体・組織等に対して SDGs をテーマとした対話の場や会合が 5 回程開催される」は、6 回に渡り実施することができたことから、当

初の目標を上回る成果を達成することができた。

#### 4) SDGs 応用編講座開催(1回)

松戸市の 2 日目にスタディツアーの現場体験プログラムを取り入れたことで、参加者からは SDGs の理解を深めることができたとの意見をもらった。従って、本活動の「松戸市での SDGs スタディツアーの開催を通じて、参加者は現場での取組みと SDGs とのつながりについて理解することができる」の目標は、達成することができた。なお、アンケートについては一般の参加者がいなかったため、今回はアンケートをとらなかった。市民社会の中で SDGs 普及啓発の参画を図るための課題を残した。

#### 5) SDGs 写真コンテストと展示会の開催<1回>

目標の 50 作品には届かなかったが、37 作品の応募があった。SDGs の各目標と人、自然、暮らし、市民・企業活動等と関連づけた多様な写真の応募があり、写真から SDGs と私たちの生活との接点を考えてみることの重要性を汲取ることができた。以上から、「50 点以上の写真応募を目指す。市民の SDGs に対する視点を把握することで、SDGs 普及啓発をより促進していくための示唆を得る」の目標は、ほぼ達成できたと言える。

### 5 今後の事業展開

今回の活動期間にて、当会が直面した事業内容に関する課題は下記の通り 3 つである。

- 1 松戸市は、2022 年 5 月 20 日に国の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」に選ばれた。しかし、松戸の市民社会を見る限りは、市民の SDGs に対する理解が依然として不足しており、SDGs に関する考え方が十分に浸透・定着しているとは言えない。
- 2 SDGs の視点を取入れた市民活動や地域社会での取組みは少ない。
- 3 松戸版 SDGs の取組みやその情報が整理されていない。

当会としては、市民社会での SDGs に対する考え方をより深め、市民の SDGs 行動へ促していくための機運を醸成していく地道な活動が大切だと考える。また、今回、開発できなかった松戸版に特化した SDGs 教材について、これまでの松戸市における SDGs 普及啓発活動の実績を活かした上で、その開発・試行をしていきたいと考えている。

今後は、松戸市の協働事業提案制度をして、松戸市とまつど地域活躍塾つながりの会との連携・協働による市民社会での SDGs の一層の浸透・定着ならびに行動意識を高める以下の活動を実施する予定である。

- 1 SDGs 情報発信の拡大：SDGs ネットワーク参加団体の協力を得ながら、松戸版 SDGs 活動事例集の作成・ウェブサイトでの公開
- 2 SDGs の地域学習の促進：松戸市役所および SDGs ネットワーク団体を講師として連携・協働した SDGs 地域学習会の開催。

3 SDGs 行動意識の向上: 松戸版 SDGs アクションプラン企画コンテストの開催

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	講座参加料	¥ 30,000	¥ 0	¥ 30,000	
	団体拠出金	¥ 9,550	¥ 10,163	¥ ▲613	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 39,550	¥ 10,163	¥ 29,387	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 55,463	¥ 44,537	←精算額
合計額 (C) = (A + B)		¥ 139,550	¥ 65,626	¥ 73,924	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 42,000	¥ 20,000	¥ 22,000	外部講師 10,000円×2回 (11/27)
	消耗品費	¥ 10,000	¥ 7,321	¥ 2,679	SDGs写真コンテスト展示会・表彰式 景品 (SDGsすごろく・かるた3,071円、SDGs書籍1,250円) 文房具1,210円・消毒液506円・紙用紙514円など
	食糧費	¥ 900	¥ 0	¥ 900	コロナ感染対策として講師への飲料提供中止
	印刷製本費	¥ 49,000	¥ 25,805	¥ 23,195	普及啓発チラシ印刷 (1000部) 2,330円 応用講座チラシ印刷 (1000部) 5,570円 他
	使用料及び賃借料	¥ 20,250	¥ 7,730	¥ 12,520	応用講座で五香市民センター (1回) 2,120円 松戸市民活動サポートセンター (3回) 5,610円
	通信運搬費	¥ 7,400	¥ 770	¥ 6,630	普及啓発チラシ郵送代 250円 写真展賞状他郵送 520円
				¥ 0	
対象経費の合計 (D)		¥ 129,550	¥ 61,626	¥ 67,924	
(その他) 経費	保険料	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
	会員講師他の謝礼		¥ 4,000	¥ ▲4,000	4,000円×1回 (11/26)
				¥ 0	
その他経費の合計額 (E)		¥ 5,000	¥ 4,000	¥ 1,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 134,550	¥ 65,626	¥ 68,924	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 44,537
------------	----------

## 収支内訳書

## 【収入】

区分	科目	金額	内訳・説明事項
団体	講座参加料	¥ 0	
	当団体拠出金	¥ 10,163	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額	¥ 10,163	
市	市民活動助成金	¥ 55,463	助成金対象総費用¥61,626の90%=¥55,463のため、¥100,000との差額¥44,537返金
	合計額	¥ 65,626	

## 【支出】

	科目	金額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	応用講師謝礼 1. メイク松戸ビューティフル 10,000円 (11/27) 2. 銀座環境会議 10,000円 (11/27)
	消耗品費	¥ 7,321	文房具1,210円・消毒液506円・コピー用紙514円・マグネット、画紙等770円 SDGs写真展景品 4,321円
	印刷製本費	¥ 25,805	普及啓発チラシ印刷 (1000部) 2,330円 応用講座チラシ印刷 (1000部) 5,570円 写真展チラシ印刷 (1000部) 4,185円 他は配布資料コピー
	使用料及び賃借料	¥ 7,730	応用講座で五香市民センター (1回) 2,120円 11/26 松戸市民活動サポートセンター (3回) 5,610円 8/26・9/18・2/23
	通信運搬費	¥ 770	普及啓発チラシ郵送代 250円 写真展賞状他郵送代 520円
		対象経費の合計	¥ 61,626
その他経費	会員講師他の謝礼	¥ 4,000	応用講座カードゲーム謝礼金 銀座環境会議 4,000円×1回 (11/26)
	その他経費の合計	¥ 4,000	
	合計額	¥ 65,626	





松戸市民も命を大切にしてみます事業

松戸地域猫スタートサポート

## 活動状況報告書

1 事業名称 松戸市民も命を大切にしてみます事業

2 実施主体

■団体名： 松戸地域猫スタートサポート

従事者数： 5名

団体概要： 市民を対象に、地域猫活動の普及の為に地域でのセミナー相談会を開催し、屋外猫調査等を参考に参加者へ捕獲機の合法的な使い方と基礎から指導し、環境教育、地域猫活動をはじめとした環境保護の普及啓発に関する事業を行い、地域の生活環境と自然環境の改善に努める事で人と調和がとれた環境社会づくりに寄与する事を目的とする。

3 事業の実施内容 (事業毎に記載)

(1) 事業内容

I 地域相談会の実施 参加者合計70名

日付	開催場所、参加人数
2022年 4月17日	小金原市民センター 開催 参加人数5人
9月4日	明市民センター 開催 参加人数5人
11月27日	明市民センター 開催 参加人数6人
2023年 1月29日	明市民センター 開催 参加人数4人
2月5日	明市民センター 開催 参加人数4人
2月13日	笑顔のおうちクリニック開催 参加人数6人
3月4日	東部民センター 開催 参加人数5人
3月5日	市民会館 開催 参加人数4人
3月11日	明市民センター 開催 参加人数5人
3月12日	小金原市民センター 開催 参加人数0人
3月18日	勤労会館 開催 参加人数5人
3月19日	北松戸会館 開催 参加人数8人
3月22日	根本倶楽部 開催 参加人数11人
3月25日	北松戸会館 開催 参加人数6人
3月27日	北松戸会館 開催 参加人数4人
3月29日	北松戸会館 開催 参加人数5人
2022年4月～ 2023年3月	電話相談(猫)46件(増えている・助けたい・譲渡会など) 電話相談(犬)3件(犬の譲渡会について)

	電話相談（その他） 8件（体調・人間関係・子育て・他）
--	-----------------------------

## II 各地域包括支援センターの協力開催と町会での地域猫相談会の開催について

2022年4月	地域包括支援センター15か所に通知
7月	地域包括支援センターへ説明（コンタクトを受けたセンターのみ）
8月～11月	明第二西高齢者いきいき安心センターさんと話し合い
2023年1月	・地域包括支援センター（明第二西高齢者いきいき安心センター） 印刷と付近の住民に周知の為ポスティング（3000枚） ・町会長へのお知らせ発送
2023年2月13日	笑顔のおうちクリニックさんの部屋をお借りして開催
2月	コンタクトのあった町会長と開催の打ち合わせ

## III 毎月定期的に作業

日付	作業内容
随時	チラシの企画及び作成
随時	お知らせチラシのコピー（コンビニコピー機）
随時	ポスティング
随時	市民センター開催・翌月の開催について事業企画打ち合わせ
随時	チラシのポスティング・PR活動
随時	チラシの企画及び作成
開催日前	チラシ A4 両面カラー印刷注文
開催日前	A4 両面カラーチラシポスティング
開催日前	チラシ折り込み委託（2/5, 2/8, 3/10, 3/17, 3/23）

### (2) 事業内容のふりかえり

<p>相談会・DVD講義鑑賞などは昨年度と同様に開催を実現しました。今年度はステップアップの目標でもあった地域包括支援センターとの共同開催を実現し、明第2西高齢者いきいき安心センターさんの協力で共同開催をしました。地域包括支援センターは多くの猫問題を抱えていますが、真剣に考えて下さった明第2西高齢者いきいき安心センターさんの手厚い協力を得ることができました。高齢者の抱える問題としては、猫の事は後回しになってしまっていますが、問題が起きてから動く方が多くてとても問題になっています。少しでも地域包括支援センターの利用者の皆様に準備の知識を学んでいただき前もって理解してもらえれば高齢者が世話をされているペットに対して、世話ができなくなった時の予防策にもなり、何かあってから困るより先に知識をつけておく必要性をお伝えしました。開催して参加してくれた利用者様も納得して頂き開催は大成功でした。</p>
---

2023年3月は地域猫活動を地域レベルでお勧めし御理解していただいた北松戸町会の協力により、4回の相談会開催が出来て大成功いたしました。参加された地域の方からも近くで開催してくれて有難いという意見を多く頂きました。

外部経験者の相談会参加依頼についても今年度は成功して、参加者にも感謝して頂きました。

今年度は地域猫活動のドキュメンタリー映画上映も成功して、相談会に参加して下さった方も上映会に参加してくれて、多くの方と久しぶりの再会で状況報告会も出来ました。

当初には無かった映画上映の実施は、事業を始めた初年度から多くの参加者さんの希望、意見であり、当団体の最終助成事業の集大成として実施しました。

参加者から誰がスタッフか見て分かるように団体Tシャツを着なさいとの意見で実施。

開催したのは毎年4月から確実に猫問題が増えるので、その前に認知を高めて欲しいと考え、経験上2月と3月に集中して4月前の月に開催することが重要と考え計画しました。

#### 4 事業成果について

##### ・目標の達成と課題の解決について

- ① 市民センターでの相談会1回の参加人数8名以上という目標ですが、結果は16回の開催で平均5.2人でした。中学生から80代の方まで幅広く参加していただきました。
- ② 地域包括支援センター明第二西高齢者いきいき安心センターの共同開催は大成功で、参加者さんの送迎までしていただきました。
- ③ アンケートで「地域猫活動を理解した」を80%以上の目標のアンケート結果は、理解できた方が100%となりました、これは当団体事業の集大成として有難い結果です。電話相談と市民センターでの相談会と2つで行いました、会場でのアンケートは予め作成してあるアンケート用紙に記入頂き、電話ではアンケート用紙の内容を読み上げて答えてもらいました。

参加された方への屋外猫を合法的捕獲する方法と不妊手術の悩み相談、多々ある疑問や不安などの精神的な問題も含めて活動をより長く続けていくため必要な事に対するの悩み解消は、今回も事業は大成功して100%解消したとなり、多くの方が前向きな意見をされて、とても意義のある活動でした。初年度から前年度までの99.9%より向上しました。

私達の団体の目標でもあった相談会、地域包括支援センター明第二西高齢者いきいき安心センターさんとの共同開催。町会単位での周知も実際に北松戸町会等さんなどのご参加や協力もあり大成功でした。少しずつですが市民の皆様に伝わって来ている事が開催側として安心になり、活力の源泉にして頑張りたいと思います。

相談の電話が増えて、それだけ問題がまだまだ沢山あるという事で、今後も活動は続いていきます。高齢者の飼っている猫をはじめ動物のトラブルになる飼い方や今後

のペットが何かあったとき、その時になってから困り果てるよりは多くの方に先に意識や行動等動物との暮らしの予防策や前知識を身につけられるよう活動協力を多くの市民の方に働きかけていきたいです。

#### 5 今後の事業展開

命あるものを相手にする問題は直ぐに解決をしたいと多くの皆様が当然考えていて相談会の開催日まで待ってられない状況の方は相談会に参加する前に電話での相談をされます。もちろん季節やご時世により変動があるとは思いますが、年々即座に解決したいと行動される方が増えてきています。それだけ市民の皆様の意識が変わってきて、今までは心で思うだけで終わっていた人が、どうしたら一つの命を小さな命を救えるには何をすれば良いかと考えて行動されるようになってきている事だと感じました。松戸市内には動物の命の大切さを知っている市民はもっともっと沢山いらっしゃると思います。活動をもっともっと多くの皆様に知っていただき、地域猫活動を知らない方にきちんと届くように周知活動にも更に力を入れていきたいと考えています。

## 収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 144,390	¥ 149,225	¥ ▲4,835	対象事業費の一部を団体会員より拠出
				¥ 0	
				¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金の合計額 (A)	¥ 144,390	¥ 149,225	¥ ▲4,835	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	¥ 300,000	¥ 0	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 444,390	¥ 449,225	¥ ▲4,835	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 52,040	¥ 54,060	¥ ▲2,020	市民センター (明 5回 4,900円、東部 1回 1,170円、小金原 1回 1,160円) 市民会館 1回 1,800円 勤労会館 1回 3,330円、北松戸会館 4回 10,000円 根本倶楽部 1回 3,000円、DVD上演使用料 18,700円
	報償費	¥ 15,000	¥ 15,000	¥ 0	3名×5,000円 (3月11日・3月18日・3月19日)
	印刷製本費	¥ 107,250	¥ 108,166	¥ ▲916	チラシ A4両面カラー印刷14000枚36463円 チラシ A4両面カラー印刷5500枚17387円 他
	消耗品費	¥ 20,000	¥ 16,226	¥ 3,774	プリンター76色1セット・Tシャツ2枚5,530円・CD1枚3300円・ボールペン、ノート・クリップ・他
	食糧費	¥ 32,400	¥ 32,328	¥ 72	参加者用お菓子代 ペットボトル飲料 60本ほか計72点9,570円 お菓子代 2/5 4,168円、3/4 2,160円、3/5 1,315円、3/11 1,180円、3/17 4,325円、3/21 3,380円、3/27 4,946円、3/27 966円
	通信運搬費	¥ 14,600	¥ 14,259	¥ 341	定形郵便 (63円×1枚/84円×154枚) 12,999円 切手15.5g(9通) 756円 (6通) 504円
	委託料	¥ 122,100	¥ 122,100	¥ 0	チラシ配布委託 (4.07×30000枚分)
		対象経費の合計 (D)	¥ 363,390	¥ 362,139	¥ 1,251
(その他) 対象経費	食糧費	¥ 40,500	¥ 32,000	¥ 8,500	1000×16回×2人
	交通費	¥ 40,500	¥ 22,400	¥ 18,100	700×16回×2人
	印刷製本費	¥ 0	¥ 28,838	¥ ▲28,838	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー 11300枚
	使用料及び賃借料	¥ 0	¥ 3,680	¥ ▲3,680	小金原市民センター1520円 (2022/4/17)
	通信運搬費	¥ 0	¥ 168	¥ ▲168	84×2通
		その他経費の合計額 (E)	¥ 81,000	¥ 87,086	¥ ▲6,086
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 444,390	¥ 449,225	¥ ▲4,835	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

<b>精算額</b>	¥ 0
------------	-----

## 収支内訳書

### 【収 入】

区分	科 目	金 額	内訳・説明事項
団体	団体拠出金	¥ 149,225	対象事業費の一部を団体会員より拠出
	自己資金の合計額	¥ 149,225	
市	市民活動助成金	¥ 300,000	
合 計 額		¥ 449,225	

### 【支 出】

	科 目	金 額	内訳・説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 54,060	市民センター（明 5回 4,900円、東部 1回 1,170円、小金原 1回 1,160円） 市民会館 1回 1,800円 勤労会館 1回 3,330円、北松戸会館 4回 10,000円 根本倶楽部 1回 3,000円、DVD上演使用料 18,700円
	報償費	¥ 15,000	3名×5,000円（3月11日・3月18日・3月19日）
	印刷製本費	¥ 108,166	チラシ A4両面カラー印刷14000枚36463円 チラシ A4両面カラー印刷5500枚17387円 チラシ A4両面カラー印刷4500枚14645円 チラシ A4両面カラー印刷2000枚7890円 チラシ A4両面カラー印刷2500枚6259円 チラシ A4両面カラー印刷5500枚17387円 コンビニコピー 7015円 コンビニプリント代 1120円
	消耗品費	¥ 16,226	プリンターインク6色1セット・Tシャツ2枚5,530円・CD1枚3300円・ボールペン、ノート・クリップ・他
	食糧費	¥ 32,328	参加者用お茶菓子代 ペットボトル飲料 60本ほか計72点9,570円 お菓子代 2/5 4,168円、3/4 2,160円、3/5 1,315円、3/11 1,180円、3/17 4,325円、3/21 3,380円、 3/27 4,946円、3/27 966円
	通信運搬費	¥ 14,259	定形郵便（63円×1枚/84円×154枚）12,999円 切手15.5g(9通) 756円（6通）504円
	委託料	¥ 122,100	チラシ配布委託（4.07×30,000枚分、2/5 4,070円、2/8 14,652円、3/10 40,700円、3/17 4,070円、3/23 58,608円）
	対象経費の合計	¥ 362,139	
その他経費	食糧費	¥ 32,000	1000×16回×2人
	交通費	¥ 22,400	700×16回×2人
	印刷製本費	¥ 28,838	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー 11300枚
	使用料及び賃借料	¥ 3,680	小金原市民センター1520円（2022/4/17）
	通信運搬費	¥ 168	84×2通
	その他経費の合計	¥ 87,086	
合 計 額		¥ 449,225	